観光庁「官民連携した魅力ある観光地の再建・強化事業」

「ふるさとの温もり・にかほット！島めぐり」

実施報告書

2014 年 3 月

国土交通省　東北運輸局

目次

1. はじめに・・・

１．はじめに

今回、観光庁主催の「官民協働した魅力ある観光地の再建・強化事業」を通じて取り組んだ活動は、にかほ市が地域への「誘客」について様々な課題を認識する機会となった。
本事業をスタートするにあたり、他地域との差別化を図る上で主役となる地域資源を「九十九島」に置いたが、平成 24 年度の観光客数は、松尾芭蕉ゆかりの蚶満寺や奥の細道についての文献が残る象潟郷土資料館を併せても 51,897 人である。にかほ市の全観光客数の 2.5%に過ぎないという現実からみると、極めて挑戦意欲をそそる目標設定であった。
九十九島を主役に据える一方で脇役の布陣を考える場合、地域認知度は低いものの、にかほ市には様々な地域資源が存在する。松尾芭蕉をはじめとする歴史文化に加え、霊峰鳥海山の自然環境は観光産業の下支えとなっている。5 月初旬まで見ることのできる残雪は、豊富な伏流水の源になり、山や海に豊富な地域食材をもたらす。にかほの海は暖流と寒流に加え、この伏流水により独特の魚場が形成され、様々な魚貝類を味わうことができる。また、古く室町時代から続く老舗酒造の「飛良泉」は、伏流水と山田錦や美山錦の産地米を使って作られており、通好みの酒として知られる。最近では、鳥海山は山頂への登山だけでなく、山麓に広がる森林湿原地帯の水辺を歩く旅に女性を見る機会も多くなった。
このように、鳥海山の恩恵から得られる地域資源は豊富にあるのだが、その魅力を生かせないまま現在に至っている。
にかほ市は年々逓減を続けている人口問題に加え、昨今は地域を支えてきた大手企業の撤退もあり、地域の再生が待たれている。今回「観光」という手段をもってどのように地域活性化を図るかという命題に対し、その過程では様々な課題を見つけることができた。
本事業で行われた活動を通じ、今後魅力ある地域資源をどのように訴求できるかについて、様々に見地を拡げながら次年度への活動に繋げていきたい。

２．にかほ市の地域概要

<u>にかほ市は他地域と同様に人口減少傾向にある一方、第一次産業と第三次産業の均衡が求められている。</u>

にかほ市は秋田県最南部に位置し、北は由利本荘市、南は山形県遊佐町に隣接する人口 27,000 人の地域である。東に鳥海山、西に日本海を擁し大自然の恩恵を受けているが、この町の発展は、電子部品製造の大手企業 TDK によるところが大きい。にかほ市は TDK 創始者斎藤宇一郎の出身地であり、古くは昭和 15 年より工場が設立され、戦後も大きく発展した。各地域の駅周辺には大小の工場が立ち並ぶ一方、地域経済の成長と共に古くからの家並みは消え、現在では新興の住宅群に姿を変えている。
にかほ市は旧仁賀保町、旧金浦町、旧象潟町による合併市である。TDK による製造業を柱に、建設業や農業、漁業を中心に生活は営まれてきたが、昨今は人口減少が続いている。秋田県は全国でも最も少子高齢化が進む地域とされ、にかほ市も例外ではない。

表１　にかほ市人口予測（秋田県資料　単位：人）

平成 22 年	平成 27 年	平成 32 年	平成 37 年	平成 42 年	平成 47 年	平成 52 年
27,554	26,005	24,441	22,828	21,201	19,592	18,008

※　30 年間で 9,536 人（34.6%）の減少予測

表 2　にかほ市労働力人口の推移（秋田県資料　単位：人）

昭和 55 年	昭和 60 年	平成 2 年	平成 7 年	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年
17,108	17,619	17,430	17,261	16,377	15,119	13,909

※就業者＋未就業者のみ

表 3　にかほ市労働力人口と高齢者人口の予測（秋田県資料）

平成 22 年		平成 52 年	
15~64 歳	65 歳以上	15~64 歳	65 歳以上
58.9%	29.0%	49.3%	42.1%

にかほ市は、約 30 年後に現在の人口の 35%にあたるおよそ 9,500 人が減少し（表 1）、高齢化率も 13 ポイント上昇する予測（表 3）が立てられている。同様に労働力人口も減少の一途を辿っている（表 2）。今後は第二次産業人口が大きく減少する中、第一次産業と第三次産業の是正を図らなければならない。とりわけ飲食事業者数が極めて多いため、是正と同時に来訪者数の増加対策も必要である。

※　産業別人口　第一次産業　9.9%、第二次産業　44.5%、第三次産業　45.7%　（平成 20 年）

【にかほ市における第一次産業規模】

農林水産業の基本指標

■ 面積

総土地面積	24,065 ha (2.1%)
耕地面積	3,720 ha (2.5%)
田耕地面積	3,300 ha (2.5%)
畑耕地面積	423 ha (2.2%)
林野面積	16,292 ha (1.9%)

■ 人　口

総人口	27,544 人 (2.5%)
農業就業人口	1,251 人 (1.7%)
漁業就業人口	227 人(18.0%)

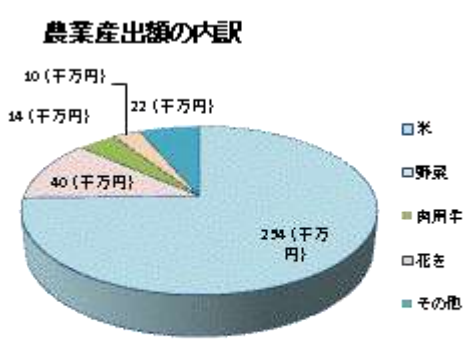
■ 世帯等

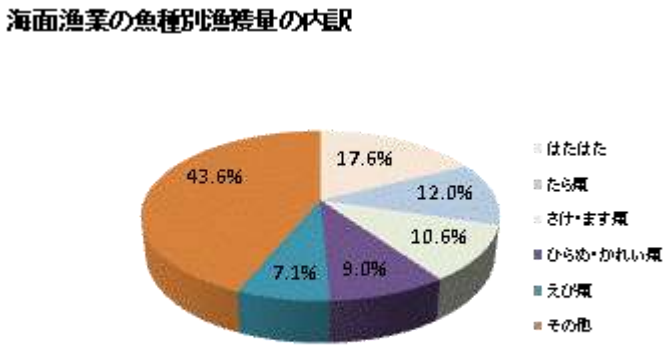
総世帯数	9,203 世帯 (2.4%)
農業経営体数	1,135 経営体 (2.3%)
総農家数	1,335 戸 (2.2%)
自給的農家数	211 戸 (1.7%)
販売農家数	1,124 戸 (2.4%)
主業農家数	184 戸 (1.8%)
準主業農家数	424 戸 (2.9%)
副業的農家数	516 戸 (2.3%)
林業経営体数	93 経営体 (1.9%)
漁業経営体数	151 経営体(15.6%)

■ 地域

農業集落数	70 集落 (2.5%)
農産物直売所数	6 施設 (3.1%)
漁港数	4 港(18.2%)
漁船隻数	218 隻(16.3%)

注1：耕地面積についてはH24年値、漁港数についてはH23年値、漁業就業人口、漁業経営体数、漁船隻数についてはH20年値、その他はH22年値。
注2：( )内は都道府県内でのシェア。





■ 農業産出額		■ 販売農家数
合計	340 千万円	1,124 戸
耕種計	314 千万円	
米	254 千万円	1,085 戸
麦類	-	2 戸
雑穀	0 千万円	73 戸
豆類	4 千万円	310 戸
いも類	3 千万円	80 戸
野菜	40 千万円	266 戸
果実	2 千万円	31 戸
花き	10 千万円	39 戸
工芸農作物	-	7 戸
種苗・苗木類・その他	2 千万円	
畜産計	26 千万円	
肉用牛	14 千万円	41 戸
乳用牛	6 千万円	6 戸
うち生乳	5 千万円	
豚	2 千万円	-
鶏	X	
うち鶏卵	X	2 戸
うちブロイラー	-	-
その他畜産物	X	
加工農産物	0 千万円	

注1:販売農家数についてはH22年値、農業産出額についてはH18年値。
注2:販売農家数の合計は実数。内訳は延べ数。
注3:( )内は都道府県内でのシェア。

■ 海面漁業の魚種別漁獲量(うち上位10種)

	合計	1,694 t (17.9%)
1	はたはた	298 t (15.0%)
2	たら類	204 t (19.1%)
3	さけ・ます類	180 t (43.1%)
4	ひらめ・かれい類	153 t (24.1%)
5	えび類	120 t (78.9%)
6	貝類	116 t (25.7%)
7	たこ類	84 t (27.5%)
8	ほっけ	81 t (23.1%)
9	あじ類	76 t (11.3%)
10	さめ類	59 t (56.2%)

注1:漁獲量はH23年値。
注2:( )内は都道府県内でのシェア

（出典：平成 23 年データ　農林水産省）

農林水産資源をみると、米中心の農業であることがわかるが、にかほ市の地域産品に米がうたわれることは殆どない（にかほ市は秋田県に所属しながら、生産される米は「ひとめぼれ」種ではなく、宮城系の「ササニシキ」種である）。また秋田臨海地域の中でも、はたはたやたら等の水産物は、過去よりにかほ市の生活に密接に関係するところが多く、水産物を祀る祭事や 100 年以上続く老舗加工店などが多くみられる。
最近では、TDK の廃工場を植物工場として野菜の栽培にも取り組み始めた。露地物との差を直接比較することができるのも、今後地域特性の一つに加えられるかもしれない。

３．にかほ市の観光概要

<u>にかほ地域の観光産業に求められるものは、周辺地域との連携と差別化である。</u>

にかほ市の年間観光客数は 204 万人、宿泊客数は 63,000 人となっており、宿泊率が約 3.1%と通過観光型の地域となっているが、大小併せて 26 もの宿泊機関があり、利用率を上げるための方法が待たれている。
殆どの宿泊機関は提供部屋数が 5 つ以上あり、旅館の形態をとっているが、少人数による家族経営となってい

るため提供できるサービスに限界があるとされる。しかしながら「小さい」の意味を利便性の欠如とするのではなく、他地域の事例を参考とし、「小さい」を魅力に繋げるキーワードとするような意識の転換が必要である。

表 4　平成 24 年（にかほ市観光課集計　単位：人）

	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	計
観光客数	74,793	68,860	78,483	199,236	221,988	175,097	265,299	415,092	195,046	188,058	92,985	70,712	2,045,649
宿泊者数	3,286	3,405	3,951	3,364	4,778	4,959	7,995	11,148	6,020	6,352	4,301	3,526	63,085

※観光客数のうち秋田県集計では、1,663 千人となっている。

表 5　にかほ市観光客数推移（秋田県資料　単位：人）

平成 18 年	平成 19 年	平成 20 年	平成 21 年	平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年
1,705	2,037	2,861	2,214	2,180	1,583	1,663

表 4 の実数とは異なるが、秋田県統計による観光客数の推移が表 5 である。平成 20 年をピークに減少傾向に転じているのがわかる。滞在型観光と同様に、実は通過型観光を含めた絶対量を増やさなければならない背景も伺える。

【周辺環境】

にかほ市の観光客数は、年間約 200 万人に留まっているものの、山形県側の庄内地域には年間 1,222 万人の観光客があり、にかほ市に隣接する遊佐町は 348 万人となっている。一方、関東圏から秋田県を目的とする観光客は逓増しているものの、若年層のシェアは下がっており、中高齢者層の固定化傾向が伺える。

また、首都圏からの旅行者が利用する交通機関を比較した場合、航空、鉄道ともに一定の利用者層が見込まれるが、到達時間をみると航空は約 1 時間、鉄道は約 4 時間となっており、訪問者の観光形態は、目的地域を周遊する場合の航空利用と、経由地を楽しみながら最遠地をめざす鉄道利用とに分かれることが予測できるため、近隣地域との連携を目指す場合、利用目的に合わせた誘客についての検討が必要である。

一方、レンタカーやマイカーなどの自動車を利用する場合でも、昨年、秋田空港からにかほ市内まで専用自動車道が開通し、所要時間が約 60 分となったことに加え、遊佐・象潟間の専用自動車道建設のための測量もスタートしたため、将来的な庄内方面からの利用客増の可能性も出てきている。従前より「きらら日本海羽越観光圏」が成立し、新潟から秋田側への誘客促進が期待されていることもあり、地域間ネットワークの土壌づくりが待たれている。

近隣地域との連携を図ることと同時に、地域性の差別化もまた必要である。隣接する遊佐町は鳥海山を共有するのどかな地域であるが、にかほ市の 1.6 倍の観光客数を誇っている。その差が生まれる理由を調べ、観光客が県境を越え、にかほ市へも誘客が図れるようにしなければならない。

平成 24 年　近隣地域（庄内・由利本荘）観光客数（山形県・秋田県資料　単位：千人）

鶴岡市	酒田市	庄内町	三川町	遊佐町	由利本荘市
5,382	3,004	114	252	3,485	2,148

※庄内地域（鶴岡市、酒田市、庄内町、三川町、遊佐町）計　12,237 千人

平成 23 年、24 年、都道府県別観光入込シェア（秋田県資料）

	北海道	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	関東	東京	中部	近畿	中四国	九沖	外国
H23	1.2%	7.6%	8.0%	9.2%	41.9%	8.5%	2.3%	9.7%	5.6%	2.9%	1.4%	1.1%	0.5%	0.1%
H24	0.6%	6.4%	7.3%	8.5%	42.9%	7.2%	2.7%	10.9%	5.9%	3.9%	2.1%	0.9%	0.6%	0.1%

※　関東は東京を除く

※平成 23 年（東北圏 77.5%・関東圏 15.2%）・平成 24 年（東北圏 75.0%・関東圏 16.8%）

平成 23 年、24 年、観光入込者年代シェア（秋田県資料）

	10 歳未満	10 歳代	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代	80 歳以上
平成 23 年	0.4%	1.1%	10.1%	19.1%	15.0%	20.7%	23.8%	9.0%	0.7%
平成 24 年	0.5%	1.3%	7.5%	17.2%	18.0%	19.2%	25.6%	10.0%	0.7%

平成 24 年度駅 1 日当たり乗車人数（JR 東日本資料　単位：人）

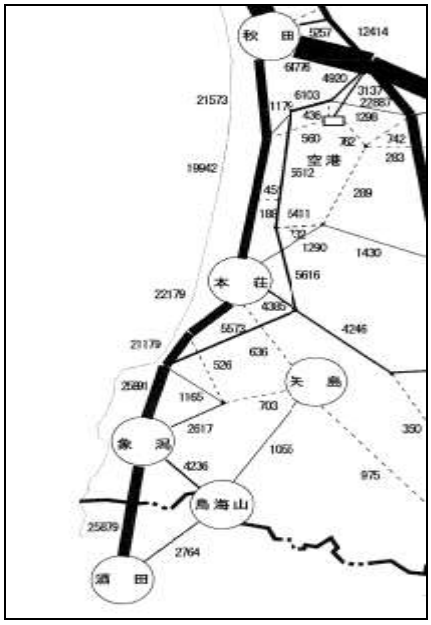
	遊佐駅	象潟駅	金浦駅	仁賀保駅	羽後本荘駅
定期外	46	64	23	51	293
定期	182	206	288	310	1,008
計	228	270	311	361	1,301

※生活利用者以外にもにかほ市内（象潟、金浦、仁賀保）合算で 138 名/日の鉄道利用者がいる。

生活圏間流動　秋季 1 日あたり（平成 22 年　国土交通省　単位：人）

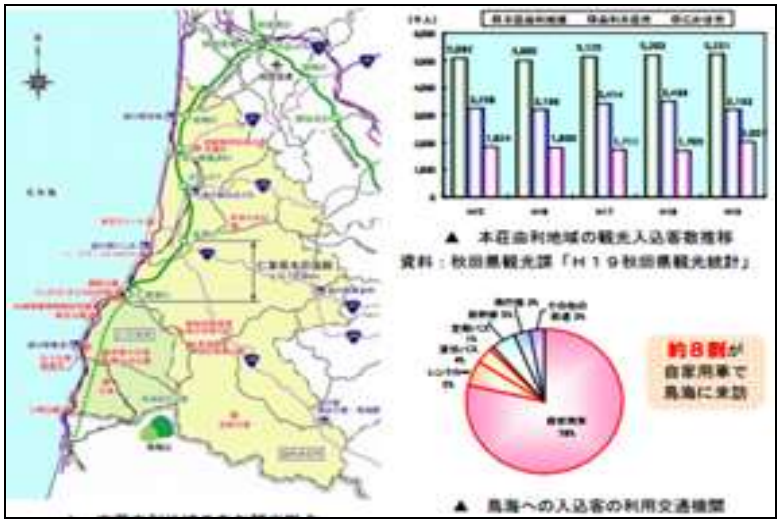
	代表交通機関	平日	休日
首都圏⇒秋田臨海	航空	639	785
	鉄道	718	1,092
首都圏⇒庄内	航空	308	346
	鉄道	203	552

※　交通手段は行程移動上、複数の中から主要に利用されたものをさす。



秋田から酒田までの交通需要は、年間を通じて一定量が見込まれる。またこの結果からは、鳥海山へのルートも酒田ルートより象潟ルートを利用する人数が多く見られた。旅行商品を作る上でも、秋田から酒田を結ぶ定番ルートを作成し、観光圏を形成する新潟や庄内からも観光意識の醸成を促進したい。

（平成 22 年　秋田県観光量調査より抜粋）



鳥海地域を訪ねる約８割が、自動車利用となっている。

（国土交通省資料より抜粋）

観光客の来訪に合わせたコンスタントな売り上げ傾向はまだ伺えない。

（平成 25 年　にかほ市観光関連月別売上　国土交通省　）

４．本事業における活動

「にかほ市観光プロジェクトチーム」を柱に地域の結束をもって活動することからスタートした。

4-1　業務体制と事業行程

今回、秋田県にかほ市観光課を柱に観光協会との連動のもと「にかほ市観光振興プロジェクトチーム」を発足し、地域が裾野を広げられるよう多くの団体、組織が参加する体制づくりを目指した。

にかほ市観光振興プロジェクトチーム構成
担当者名　今野　伸二（にかほ市産業建設部観光課） 所在地：秋田県にかほ市金浦字花潟 93-1 電話番号：0184-38-4305　FAX 番号：0184-38-2303 E-Mail　sinzi-k@city.nikaho.ne.jp
○　にかほ市観光協会 ○　にかほ市商工会 ○　観光振興プロジェクトメンバー

・　秋田県漁業協同組合
・　秋田しんせい農業協同組合
・　由利地域食農観推進グループ
・　にかほ市教育委員会
・　にかほ市旅館ホテル業組合
・　にかほ市女性団体協議会

○　東日本旅客鉄道株式会社秋田支社

○　秋田県にかほ市産業建設部観光課
（観光アドバイザー及びシニアアートディレクターの支援を含む）

○　株式会社 ANA 総合研究所

記載の組織のもとで、本事業の活動をスタートしたが、冒頭で述べたとおりテーマは「九十九島」である。九十九島は、俳人松尾芭蕉が「奥の細道」の中で松島と並び最遠の目的地とした象潟にある。芭蕉が訪ねた時は、潟地の入江に多くの島があり、松林とのコントラストや鳥海山の遠望が美しかったとされるが、1804 年の象潟地震により地層が隆起し、海に浮かぶ島は陸地となった。陸地に浮かぶ島の景色となっても、田植えの時期に九十九島から鳥海山を望む景色は美しく、現代でも写真家の木村伊兵衛や土門拳、小説家の司馬遼太郎がこの地を訪れ、その景観を作品に残している。

その一方で周辺地域の景観の維持については、かなりの努力が必要とされる。文化としても由緒あるものを維持し観光に結び付けるためには、行政のみならず地域団体や地域住民の協力がなければ成し得ない。東の松島に比べると、西の象潟の景観づくりには、一層の努力が必要であるという認識は参加者の中で一致していた。一寺とともに鳥海山を背景にした九十九島の自然美を醸し出す地道な活動を目指した。

【全体スケジュール】

以下に掲げたスケジュールに則り、にかほ市観光課が主体となって定期的にプロジェクト会議を行った。

年間スケジュール（ふるさとの温もり・にかほット！島めぐり）

番号項目	目的	スケジュール										
		5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1．プロジェクト会議	本事業計画の確認とキックオフ	31日										
	年間スケジュール及び事前調査事業内容の検討		11日									
	各事業項目の番号確認及び課題の対応		14日									
	事前調査事業のアンケート結果を前提とした課題の検討			4日								
	モニターツアーにおける企画提案①二次アクセス			中旬								
	モニターツアーにおける企画提案②地域発祥メニュー				上旬							
	モニターツアーにおける企画提案③イベントコンテンツ				下旬							
	モニターツアーにおける造成・募集①全体課題対応					上旬						
	モニターツアーにおける造成・募集②全体課題対応					下旬						
	モニターツアー実施に伴う会議①						上旬					
	モニターツアー実施に伴う会議②						中旬					
	モニターツアーの結果を前提とした課題の抽出と対応の検討							上旬	上旬			
	観光地域合同事業の調整及び来年商品化への検討									中旬		
2．事前調査事業	地域内外からみた地域コンテンツの魅力再発		27-28日									
3．市民集会	地域住民を対象とした観光交流の必要性を説明				中旬							
4．おもてなし研修会	地域観光関連業者を対象とした接遇の必要性を理解		13日・21日	中旬	中旬							
5．ルートサイン制作	主要アクセスポイントにおけるサインの制作及び設置			■	■	■						
6．送客制作	モニターツアーに係る効果的な送客の検討と制作			■	■	■						
7．モニターツアー実施	地域観光の造成に伴う一連のプロセスの検証						2回※					
8．観光総合同事業（東京）	本事業における観光地域合同事業への参加										1-2日	
9．マルシェ	来年商品化に向けた都市部における認知度向上										上旬	
10．報告書作成	本事業のプロセス検証と来年商品化に向けた報告										■	
11．来年商品化に向けた調整	2014年度来年商品化に向けた調整							■	■	■	■	■
	※　日刊自然地域観光協会　参加A	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	0回	1回
	参加B	1回	1回	1回	0回	0回	1回	1回	0回	0回	0回	0回

事業を開始するにあたり、以下の項目が課題として掲げられた。6 月末に実施する事前調査事業までに課題を明確化し、都市圏から観光の専門家を招聘した際に意見交換ができる内容を整えることとした。

【事業行程】

	活動項目	市観光課	観光協会	目利き（主）及事務局	目利き（副）及事務局	地域団体
6 月	おもてなし研修会	◎		○		○
	地域資源の確認	○		◎		
	事前調査事業	◎	○	○	○	○
7 月	旅行業人材育成		○		◎	
	モニターツアー主催調整	○	○	◎		
	ルートサイン原案	◎		○		
	媒体製作	◎	○	○		
8 月	旅行業人材育成		○		◎	
	モニターツアー企画造成	○	○	◎	○	
	ルートサイン調整	◎		○		
	媒体製作	◎	○	○		
9 月	市民集会	◎	○	○	○	○
	モニターツアー募集・調整	○	○	◎	○	
	ルートサイン完了	◎		○		
	媒体製作	◎	○	○		
10 月	モニターツアー実施	◎	○	◎		○
11 月	モニターツアー成果と反省	◎	○	○		
	旅行商品化への取組み	○	○	◎		
12 月	旅行商品化への取組み	○	○	◎		
1 月	旅行商品化への取組み	○	○	◎		
2 月	タビカレ学園祭	○	○	○	◎	
	ANA マルシェ	○			◎	○
	報告書関連事務	○			◎	
	旅行商品化への取組み	○	○	◎		

◎：主担当　○：副担当

・各活動における進捗は、目利き（主）及事務局担当者と市観光課の協働で管理、運営。

・出納管理、庶務業務については、目利き（副）及事務局担当者が担当。

・東北運輸局との連携業務は、目利き（主）及事務局担当者が担当。

・タビカレ事務局と発生する業務は、目利き（副）及事務局担当者が担当。

4-1-1　進捗報告の方法について

「首長強化した魅力ある観光地の再編・強化事業」
【別紙】
実施状況報告

事業名	ふるさとの誇りにかがやく島めぐり		
調査実施者	株式会社ANA総合研究所		
担当者	福原光男・衣幡征治	連絡先（TEL）	[illegible]
目利き	福原光男・衣幡征治		
対象期間	2013年5月30日～2013年5月31日	報告日	2013年6月1日

具体的な実施内容（実施期間内における取組内容について課題や成果等が明確となるよう簡潔に記載すること）

取組事項

【5月31日　事前打合せ調査】
① 事前調査事業の日程・見積
② 10月進行のモニターツアー必携案
③ モニターツアー進行と評価調査のスケジュール

取組の概要

【5月31日　事前打合せ調査】
参加：にかほ市観光協会（4名），にかほ市観光課（2名），ANA総研（2名）
① 事前調査事業の日程・見積
○ 期間は6月27日（木）～28日（金）1泊2日
○ 対象は、地域内の観光事業、飲食業者及び観光関連の職員等者とし、地域と顧客の双方から地域観光業務における評価を聞き出せる。
○ 人数は4名程度
② 10月進行のモニターツアー必携案
○ 今回のキーワードである「食（歴史・文化）」「自然資源魅力発掘（自然・環境）」「地域金利（文化）」の観点をお問題するだけの見出しなく、「おさかな時間を掛けてゆっくり地域を訪れるために心ときめくような企画やコンテンツが必要かつ「地域の工夫」「観光サインのデザイン」等の見地を調査に活用される。
○ 地域観光旅行業者が「にかほ市観光協会」が主催を実施する場合、飲料空間や室内空間、飲料類、温泉郷を地域にするこどができないため、その場合の集客対策を早急に考えなければならない（実施主催先を絞り等）。
③ モニターツアー進行と評価調査のスケジュール
○ 二次交通の整備が遅れ駅における情報発信・市役所観光課窓の観察調査（飲料・飲料類からのヒアリングの条件ヒアリング・ラウンドプランの実施調査）。
○ 地域資料を通じたにかほ地域の認知度向上を目的とするANAマルシェの開催検討
○ 地域人材育成を目的とした地域内シンポジウムとおもてなし研修会、市民集会の開催

目利きの活動状況
主担当（福原）、副担当（衣幡）を中心に関係プロジェクト会議に参加。

現在の課題

今後の予定

備考（その他の報告事項等を記入。取組において本日報告がある場合は費目と数量、金額を記入すること。）

●現地会議（6月31日）に係る旅費費
●現地会議（6月31日）に係る宿泊費
※必要な場合は、記入欄を適宜調整すること。

「業務遂行中における業務内容に関する報告」については、毎月 1 日、15 日に観光庁指定の様式に基づき、東北運輸局に報告した。
（左記は 6 月 1 日提出したもの。同様に 2 月 28 日分まで定期報告を行った）

4-1-2　目利きの紹介と活動

以下の 2 名を目利きに選定し、主担当を福原氏、副担当を衣幡氏に置き活動した。主担当は、にかほ市観光プロジェクトチームの活動と常に連動するものとし、適宜アドバイスを行い、特に仙台在住の地の利を生かし、仙台地域に拠点を置く旅行会社と地域の橋渡しを行う一方、首都圏における旅行会社との折衝をサポートした。また、にかほ市観光課スタッフと地域を歩き、注目されるべき地域資源の発掘にも傾注した。副担当は必要に応じた形をとり、事業では、にかほ市観光協会における旅行業人材育成を中心に活動した。

【目利きの紹介】

氏名：福原　光男（主担当）

年	実績等
昭和 48 年	全日本空輸（株）入社
平成 3 年~	ANA 仙台支店にて 16 年間、宮城県を中心に東北エリア内の自治体と連携を取り、地域の活性化と着地型観光業務を行った。
平成 24 年~	ANA 総合研究所より仙台に派遣され、地域活性化サポーターとして活動開始。県内外の震災地・自治体を訪問し実情把握。平成 25 年にかほ市の他に松島町に提言実施。
平成 24 年~	宮城県産学官のメンバーで構成する、宮城観光創造アカデミー理事に就任。県民挙げてのおもてなし運動を展開し、平成 25 年 2 月、「宮城県タクシー協会」の経営者におもてなし講座を ANA 総研で実施。今後も対象を広げる為の活動中。
平成 24 年～	宮城大学事業構想学部研究生で、観光を広範囲な視点から学んでいる。
平成 25 年	平成 25 年春をめどに宮城県物産協会、岩手県宮古市への首都圏マルシェを実施予定。

氏名：衣幡　征治（副担当）

年	実績等
平成 3 年	（株）JTB 入社
平成 12 年	ANA セールス（株）の前身である全日空トラベル入社
平成 21 年~	ANA セールス松山支店にて営業マネジャー業務を行う一方、愛媛県との地域振興業務及び愛媛県宇和島市との着地型観光業務を担当する。
平成 22 年~	ANA 総合研究所・価値創造グループにおいて韓国からのインバウンド観光研究に参加、その中で現地旅行会社（旅行博士）と連携を行い、韓国人に日本の地域を紹介するモニターツアーを企画、57 名の韓国人を宮城と新潟に送客しモニタリングを行う。
平成 23 年~	ANA 総合研究所・地域観光グループにおいて鹿児島県鹿児島市との連携事業「鹿児島市観光農業公園」における開園準備及び集客支援を担当する。ANA 総合研究所での地域振興事業を行う傍ら、週 2 日間、移住・交流推進機構（JOIN）へ出向し、官民連携による地域観光、地域交流、地域定住の促進を図る事務局業務を担当、現在に至る。

【秋田県にかほ市事業　目利き出張日程】

（福原）

	日程	業務日数	内容
1	5 月 31 日	1	「プロジェクトチーム発足」会合及びにかほ市観光課打合せ
2	6 月 11 日	1	今般の事業の細部詰め及び次回会議の準備
3	6 月 14 日	1	観光課・協会関係者と①事前調査事業まで②モニターツアーまで③終了までの３段階に分け実施項目概要の意思統一
4	6 月 26 日～28 日	3	事前調査事業実施及び参加者間での意見交換実施
5	7 月 4 日～5 日	2	事前調査事業結果を受けての分析・磨き上げ項目、作業分担の打合せ
6	7 月 22 日～23 日	2	分担者毎に進捗・対策確認会議及びモニターツアーの重要な交通機関になるレンタカー会社へ観光課と訪問し協力要請
7	7 月 25 日	1	食・農・観の「観光振興プロジェクト会議」出席
8	7 月 31 日～8 月 2 日	3	観光課にて資源改善、売り出し方法、告知方法等詰め。意思疎通強化
9	8 月 19 日	1	モニターツアー商品発表に備え、受け地作業状況打合せ
10	8 月 28 日	1	モニターツアー受入最終体制の打合せ
11	9 月 12 日	1	東北運輸局長澤専門官を交え意見交換、モニターツアー最終調整
12	9 月 24 日	1	にかほ市観光市民集会に出席
13	10 月 13 日～14 日	2	モニターツアー参加・実施状況確認
14	10 月 19 日	1	モニターツアー参加・実施状況確認
15	11 月 12 日	1	モニターツアーの反省と商品化について打ち合わせ
16	11 月 25 日～26 日	2	作成した分析・対応シートを基に今後の事業の方針について打合せ
17	12 月 19 日	1	官民協働事業の最終まで及び将来の姿を観光課長と打合せ

18	12 月 24 日～25 日	2	リクルートと共に残された①まち歩き、中小旅館予約対応打合せ　及び　観光面で連携する由利本荘市観光課訪問
19	1 月 24 日～25 日	2	２月１・２日のタビカレ学園祭及び ANA マルシェの打合せ
20	1 月 31 日～2 月 1 日	2	①首都圏旅行代理店に対し、にかほ市と来年度商品化依頼へ同行及び　②タビカレ学園祭参加
計		31	

（衣幡）

	日程	業務日数	内容
1	5 月 31 日	1	「プロジェクトチーム発足」会合及びにかほ市観光課打合せ
2	6 月 14 日	1	観光課・協会関係者と①事前調査事業まで②モニターツアーまで③終了までの３段階に分け実施項目概要の意思統一
3	6 月 27 日～6 月 28 日	2	事前調査事業実施及び参加者間での意見交換実施
4	7 月 19 日	1	観光協会スタッフへのワークショップ実施
5	8 月 7 日	1	仙台地区旅行会社とのモニターツアー打合せ
6	8 月 8 日	1	にかほ市観光課及び観光協会との事業進捗のための打合せ
7	9 月 4 日～9 月 5 日	1.5	9/4）にかほ市観光課打合せ（3 時間） 9/5）観光課及び観光協会との事業進捗のための会議
8	11 月 12 日～11 月 13 日	2	11/12）モニターツアーの反省と商品化について打ち合わせ 11/13）庄内地域旅行商品連携のための訪問（鶴岡市、酒田市）
9	11 月 25 日～11 月 27 日	2.5	11/25）夜、ANA 庄内支店との旅行商品打合せ（3 時間） 11/26）にかほ市及びにかほ市観光協会にて会議 作成した分析・対応シートを基に今後の事業の方針について打合せ 11/27）にかほ市及び ANA 秋田支店、秋田市立千秋美術館にて旅行商品についての打合せ、ヒアリング
計		13	

4-1-3　事前検討課題

【地域資源の見直し】

地域資源については、蚶満寺や九十九島に代表される歴史文化の他、地域を代表する獅子ヶ鼻湿原や元滝伏流水の森林と水辺の自然環境、鳥海山の伏流水の恩恵を受ける山海の地域食材が上げられた。その他に、里山集落の生活風景や仁賀保高原に並ぶ風力発電施設、温水路などによるエネルギー環境施設、さらには個人が経営するイングリッシュガーデンなども加えられた。ガーデンの運営者は、長野県のバラクライングリッシュガーデンや毎年 5 月に埼玉県で開催される国際バラとガーデニングショーへ足を運ぶなど、専門性を追求している。また、園芸界で人気のある英国人ベネシア・スタンリー・スミス氏と親交があり、2013 年 10 月には同氏をにかほ市へ招聘しガーデニング講座を開催、約 300 名の参加があった。

この他ににかほ市が取り組む「街歩き」観光への魅力開拓についての提案もあり、6 月に実施する事前調査事業における日程に盛り込み、評価を受けることとなった。

【にかほ市観光協会】
社団法人にかほ市観光協会は、平成 25 年 4 月より第 3 種旅行業登録を受け、隣接する市町村からの発着に対してのみ募集型企画商品を販売することが可能となったが、現実的に由利本荘市や遊佐町から出発する観光客をターゲットにすることはできず、他機関との連携や不特定多数の観光客に対し、にかほ地域内発着でプログラムを販売することとした。
都市圏の第 2 種旅行業者との連携とその販売対象の開拓、そして地域内発着の旅行者をどのように囲い込むかが大きな課題であり、さらに旅行者に繋がるような会員組織や蓄積情報もなかったため、本事業を通じ新たに始めることとした。

【誘客ターゲット】
都市部における女性、シニア、小さな子供を持つ夫婦を対象に設定した。九十九島は、俳句など趣味のグループを対象に平成 24 年度の集客をみても、年間 50,000 人である。俳句を趣味としたグループへの訴求と共に、脇役を演じる、にかほ市の地域資源が、女性、シニア、小さな子供を持つ夫婦層に受け入れられるための「工夫」が検討課題であった。

【二次交通】
象潟駅より約 2km、九十九島の先に鳥海山を望む一方、日本海の大海原に面する場所に道の駅「ねむの丘」がある。この地域を訪れる観光客は、圧倒的に自動車或いは大型バスが占めており、また、秋田・庄内間を結ぶ国道にあるため交通の要衝としての機能をもっている。この施設を地域発の情報発信・交流拠点として成長させることで、観光を手段に地域課題の対応に繋げ、拠点から地域観光プログラムをスタートさせたいといった意見が多くあった一方、遊佐・象潟間の専用自動車道が完成することによる素通りの可能性や、昨年近隣に完成した秋田県全域の土産物販売や飲食施設を備えた中規模複合施設との競合などの課題も含んでおり、本事業を通じて完結はしないものの、時間をかけて取り組むこととなった。

【宿泊機関】
大小併せて 26 もの宿泊機関があるが、多くの施設は長い年数を経た感が否めない。全体的に規模の小さな旅館が多いため、観光客を迎えるための演出が求められる。地域の旬の素材を使った食事はもとより、ロビースペースや照明、敷地内で野菜を作り食事で提供するなど様々な意匠を検討すると同時に、WEB などに対する抵抗感を取り除くことが必要である。宿泊機関や観光機関を対象に勉強会（おもてなし研修会）を実施し、モニターツアーの事前準備活動に加えた。

4-2　事前調査事業
●日程　　平成 25 年 6 月 27 日（土）~28 日（日）1 泊 2 日
●参加人数　34 名（都市部からの招聘　8 名、地域参加　26 名）

日次	内容
6 月 27 日（土）	庄内空港――元滝伏流水――象潟郷土資料館――笹乃井（昼食）――白瀬南極探検隊記念館――象潟駅～（商店街散策）～蚶満寺・九十九島――小砂川・松本旅館（泊）
6 月 28 日（日）	松本旅館――獅子ヶ鼻湿原散策――ねむの丘（道の駅）――土田牧場（昼食）――仁賀保高原ひばり荘（風力発電施設・意見交換会）――秋田空港

地域として観光客に訴求したいコンテンツを行程に盛り込み、宿泊は、今後取組みが必要な小規模旅館の中から松本旅館を選定した。松本旅館は奥の細道で芭蕉が歩いた道の傍らに位置し、日本海越しに夕陽を美しく眺めることができる場所にある。コンテンツが「場所」への執着に留まり、「活動」に至っていない部分に不安が残るが、提起された課題をモニターツアーに反映することとして実施した。都市圏や秋田市内より有識者を招き、今回の行程についてアドバイスをもらうとともに、地域観光業者へは今後展開する事業への協力体制づくりを促した。

【行程作成上の目的】

以下に掲げた目的をもって事前調査事業の日程を作成した。

○元滝伏流水は、平成の名水百選に認定されている。にかほ市では獅子ヶ鼻湿原と合わせ 2 ヶ所が選ばれているが、旅行者に名水の印象を伝えたく 1 日目の最初の見学地に指定した。獅子ヶ鼻湿原は所要に 3 時間の散策を要するため、2 日目の朝に設定した。

○蚶満寺・九十九島は今回の主役の場所である。回遊性が生まれるよう、象潟駅からの街歩きの延長上に盛り込んだ。さらに事前に詳細を伝える目的のもと、象潟郷土資料館を含むこととした。
街歩きでは、にかほ市が力を入れているスイーツを休憩時に提供することで反応を図った。

○年間 11 万人の観光客を誇る土田牧場では、人気のある乳製品とジャージー牛の焼肉を提供し、評価をもらうこととした。

○にかほ市には、獅子ヶ鼻湿原と元滝伏流水を案内する専属ガイドがいるが、蚶満寺・九十九島についても最近になってガイドを付けるようになった。そのため案内については勉強中であるものの、評価をもらうこととした。

○笹乃井は和食割烹の店であるが、にかほ市のオリジナルどんぶりを作っており、その評価を仰いだ。

○小砂川地区は、にかほ市の中で最も日本海の海流と鳥海山の伏流水が交じり合う場所とされているため、魚料理が堪能できる場所として、また芭蕉が見たであろう日本海の景観を見ることができるため選択した。

【全体意見/アンケート結果より】

回収アンケートは 19 枚であった。尚、にかほ市観光課及び観光協会スタッフ、目利き 2 名は除いている。また途中参加及び離団が発生しているため、合計数は必ずしも 19 とはなっていない。

●元滝伏流水

○景観について

とても良かった	良かった	普通	良くなかった	無回答
6	6	0	0	5

○ガイドの案内について

とても良かった	良かった	普通	良くなかった	無回答
3	4	2	0	8

○全体意見

・以前に訪れたときよりも水量が少ないと思われる。天気が良くて良かった。マイナスイオンや水の透明感等の清涼感があり、心身ともに洗われた。元滝は危険で見られなくなったのでしょうか。案内人の案内がついてこそのツアーと思います。
・ここだけを見に行くだけでなく、何かとセットだと良い。
・春夏秋ともに素晴らしい元滝です。改善すべき点は駐車場を整備する点だと思います。
・年配の方でも楽しめる初心者向けのハイキングコースがとても良い。奥にある元滝までの道を整備し更に楽しめる初心者向けのコースにしたら魅力が増すのではないか。
・天気、気候、季節により良し悪しの評価が分かれる。
・2 コースが整備されていて、選択できるのが嬉しい。
・杉林が景観を邪魔している感じがある。
・鳥海山の歴史を感じ、パワースポットとしての癒し空間。是非コースに入れたい場所です。
・もっと積極的な説明がほしい。
・以前訪ねた時は夕暮れ時であったため、大きく印象が変わり、今回の方がはるかによかった。
・今回 2 班に分け、上周りと下周りに分かれたが、上周りのほうが突然景観が変わるのでドラマチックであると思う。
・単に早道コースで案内するのではなく、個人旅行向けにオススメの周り方を案内してはどうか。

●象潟郷土資料館

○施設の展示物について

とても良かった	良かった	普通	良くなかった	無回答
0	9	3	0	5

○ガイドの案内について

とても良かった	良かった	普通	良くなかった	無回答
3	8	1	0	5

○「象潟・九十九島」の歴史についての説明

よく分かった	分かった	よく分からなかった	無回答
3	9	0	5

○施設見学の後、街歩き、九十九島散策を行う導入について

繋がった	必要ない	無回答
7	1	9

○印象に残った展示物について（全体意見）

・潟の全体を模型で見ることができて良かった。
・九十九島の歴史や昔の状態を理解する上では、良い資料館だと思います。
・首都圏からの誘客を図る場合、更に充実して頂く必要があります。
・資料館名に「九十九島」を入れた方がよい。
・旅客集による象潟を訪れた文人たち、象潟図屏風六曲一双、鮭千本供養塔等が印象的であった。
・規模は小さいが、象潟に特化した展示は評価できる。

○館内の印象（全体意見）

・説明があればこそだと思います。興味をそそる語り口はいろいろと想像することができ、歴史を好きな人向きだと思いますが、映像を流す工夫があれば尚良い。もう少し時間がほしかった。
・説明を九十九島に特化したほうがよいかと思います。その他の説明は希望に応じて選択できるとよい。
・各市町村にある地元向けの資料館と同じ。充実を図ってもらいたい。
・展示、パネル等が質素単純で有料館としては不足。
・素晴らしいものが多数展示されている。
・学芸員の方が常時いるとは限らないため、ここだけは見て欲しい見所マップがほしい。
・説明がなければ普通の資料館といった印象。
・版画のポストカードを販売するなど、若い女性を意識した見せ方の工夫がほしい。
・九十九島については、資料館、ねむの丘展望台、散策の順が分かりやすいのではないか。
・内部が薄暗いため、近づかないと良く見えない。
・象潟への思いは深く伝わってくる

●笹乃井

○料理（蛸どんぶり他）について

満足	普通	不満	その他	無回答
5	8	1	0	3

○値段設定（1,250 円）について

高い	妥当	安い	無回答
2	１１	2	2

○おもてなしについて

とても良かった	良かった	普通	良くなかった	無回答
2	4	6	0	5

○全体意見

・全体的に良いものだったが、生だこは好き嫌いが分かれるので、選択できるようもう一つ地元メニューを考案して欲しい。
・とろろ、ネカブ、ギバサ、モズク、納豆など食感がネバネバするものはご飯の上にかけず、別の器で提供したほうがよい。
・味噌汁は、お客様が着席してから、お出ししたほうが良い。

・女性従業員の方の声がとても感じがよかった。
・料理を提供する際の説明がほしい。
・どんぶりを 2 種にすると女性の満足度は上がると思います。「にかほ・幻の島めぐり、どんぶりセットと九十九島に合わせた九の副菜などを提供すると、メディアも取り上げやすい。限定 20 食などの限定感を出すことも。料理は最上級ですので、後は演出やアイデアだと思います。
・100%を地元食材にしなくてもよいのではないだろうか。
・蛸以外の食材で丼ものを提供してもよい。

●白瀬南極探検隊記念館

○展示物について

とても良かった	良かった	普通	良くなかった	無回答
2	4	4	0	7

○内容について

とても良かった	良かった	普通	良くなかった	無回答
2	4	5	0	6

○説明について

よく分かった	分かった	よく分からなかった	無回答
2	8	0	7

○にかほ市と南極の繋がりについて

知っていた	知らなかった	白瀬、観測船は知っていた	無回答
7	3	1	6

○全体意見

・白瀬さんのドラマチックな人生は興味深かったです。「周囲を巻き込んだ処世術」が小説やビジネス本になると、ブームがおきるかもしれません。
・オーロラ上映と雪上車
・英雄たちの足跡スクリーン
・木造の現物大の開南丸、雪上車、プロローグゾーンの案内スクリーン。
・映像は内容を理解する上で大変わかりやすい。
・ペンギンの画面。
・アカデミックな部分とエンターテイメントな魅力の両方があったが、九十九島や鳥海山トレッキングで来た観光客には南極の氷をさわったり、越冬隊の毛皮スーツを羽織ってみたり、体感できるものや演出がもっとあると楽しめるのではないでしょうか。
・バスから降りた場所からすぐトイレがわかるとよい
・家族でも楽しめる良い施設だと思う。
・施設を作った建築家の説明も加えてみては。
・エントランスの大画面は大きすぎて、見るに耐えない。
・販売スペースに、もう少しセンスがほしい。
・南極探検資料がたくさんあり興味深かった。
・オーロラドームについては、もっと効果的な宣伝が必要。

・また行きたいと思わせるプラスアルファがほしい。
・夏シーズンの集客目的として「涼しい」をテーマに南極気温体験や涼しくなるイベント、ここでしか食べることのできない、オリジナル南極アイスの販売などで話題づくりを行ってもよい。

●象潟街歩き

○印象に残った点

歴史	風景	案内	その他	無回答
4	2	3	1	7

○改善すべき点

案内標識	案内	道等の整備	コース設定	その他
4	2	0	3	8

○このまま旅行商品として

売れる	売れない	どちらとも言えない	無回答
0	7	1	9

○全体意見

・楽しめそうなネタが弱い（松尾芭蕉に興味がないと、観光として楽しめる要素がない）。近隣の県民・市民向けに、にかほ市を深く知るのにはよいと思う。
・歴史的な建造物に欠ける。立て看板の案内だけでなく、実際に歴史的な建造物を一つでも整える必要がある。商店街の活気もないので正直難しい。
・ターゲットを明確にし、ネーミングを再考する。サプライズやサプライズスポットがあれば飽きない。
・芭蕉の足跡が全て看板表示のみとなっているためやりにくさがある。三崎峠とセットにすると改善されるのでは。
・コース上に、にかほ独特のチョイ食べ店や体験できるところがあれば、九十九島と合わせて街中ウォーキングプランにしてもよい。
・誰に何を案内したいのかを明確に。
・一般的に広く受け入れられるには、芭蕉を体系的にみせて説明する必要がある。
・当時の地形、歩いている場所が海であったことや、船着場であったことが伺い知れる、想像できるアイテムが必要では。
・一般観光客と市民・芭蕉好きと 2 つの対象を区別し、その上で、地域の食文化とのふれあい、歩きながらの秋田弁講座など観光客の興味をくすぐる、共感されやすい内容にする必要がある。
・B 級グルメを開発し知名度を上げ、商店街を訪れてもらう基盤づくりが必要。
・歴史フリークに特化する。
・JR 旅市の商品に導入する。
・中年の女性をターゲットにしたウォーキング商品。
・ウォーキングの見所マップを作成し、ねむの丘で最後に入浴。
・電柱に当時の水位を表示する。或いは入り江を想起させる貝殻跡をみせるなど想像力を駆り立てる。

●象潟九十九島・蚶満寺について

○印象に残った点

歴史	風景	案内	その他	無回答
5	6	4	0	2

○改善すべき点

案内標識	案内	道等の整備	コース設定	その他
3	2	2	2	8

○このまま旅行商品として

売れる	売れない	どちらとも言えない	無回答
5	2	1	9

○全体意見

・JR が企画している駅からハイキングでは好評である。
・獅子ヶ鼻湿原は目玉になりえても、街歩きや九十九島を単体で販売するのは難しい。
・能因、西行、芭蕉の関連、パネルや絵での演出など想像力を駆り立てるアイテムをつくる。
・歩行距離が長いので、カートを使った九十九島散策やイベントが必要ではないか。
・ゲーム性の楽しみを加味する。
・歩く九十九島として売るには、各島の説明案内板、鳥海山の展望が良い場所での案内表示が必要と思われる。また実際に歩く前に高台から九十九島を見せる。休耕田の田んぼは草を刈るか水をはる。
・知名度は高くないので、「百聞は一見にしかず」など宣伝の仕方を考える。
・各島を LED が囲み、新夜景スポットとして売り出してはどうか。
・蚶満寺はもう少し手入れをしたほうがよい。
・想像力をフル活用できるアイテムや、イギリス発祥のフットパスを活用した島巡りはどうか。タニシ、めだか、ドジョウを活用した昭和の田舎の風景＋島の歴史など。

●松本旅館

○松本旅館の印象

満足	普通	不満	その他	無回答
2	7	1	0	7

○値段設定について（10,500 円/1 泊 2 食）

高い	妥当	安い	無回答
2	6	2	7

○おもてなしについて

とても良かった	良かった	普通	良くなかった	無回答
2	2	4	1	8

○全体意見

・玄関前の土埃、駐車場に車を止める際、玄関前を通るので表示等の配慮が必要かと思う。
・夕日や海岸の風景は最高でした。
・接客時に笑顔があればさらにいいのでは。
・家庭的でアットホームな印象をもっとだしてほしい。

・料理のお品書きがあるとよい。食べ方など食事を提供する際に説明がほしい。
・「日本海の和のオーベルジュ」として販売してみては。
・食事の量が多かったので、量を減らし、販売価格に反映させることができればよい。
・価値を上げるのであれば、玄関先の安っぽいのぼり旗や、安そうな飾り物を再考する必要がある。
・地元食材に拘りすぎている。
・食事の量を減らして、接客や会話もサービスのひとつとしてみては。
・部屋には女将のメッセージ、お茶菓子の説明、鏡、ティッシュが必要。
・食事後に旅館の方々と会話ができれば、地元での情報交換に繋がる。大きなホテルではできないサービスがほしい。

●一日目の全体的な感想

・かなりハードな内容だったが、九十九島という資産をもっと活用した観光振興には可能性を感じた。
・料理は昼・夜共に良かった。
・他が真似できない九十九島の訴求については県と市の宣伝、観光コースの磨き上げが必要。
・象潟さんぽみちのパンフは文字が小さい。読み手の目線も大事にしてほしい。
・ねむの丘 6 階で鳥海山や鳥海山麓の全景をみること、資料館で予備知識をしっかりもつことからツアーをスタートする。
・「歩く」ことが主となるので商品化については「歩く」視点からのアプローチが重要と感じた。アウトドアが多い構成となるため、雨天時の代替プランや設備の課題克服が必要と感じた。

●獅子ヶ鼻湿原

○景観について

とても良かった	良かった	普通	良くなかった	無回答
9	4	0	0	4

○ガイドの案内について

とても良かった	良かった	普通	良くなかった	無回答
9	4	0	0	4

○全体意見

・自然もさることながら、様々な点を案内人より聞くことができた。
・木道の整備が素晴らしく、屋久島と比べても歩きやすかった。
・最も期待していた場所だが、マリモ群生地では、多くの枯葉が溜まっていたのが残念だった。
・初心者向けのハイキングコースとしては、素晴らしい素材だった。

●ねむの丘（道の駅）

○お土産の購入場所として

とても良かった	良かった	普通	良くなかった	無回答
2	3	3	9	0

○商品構成について

とても良かった	良かった	普通	良くなかった	無回答
0	5	3	0	9

○全体意見

・海に近いのでもっと充実しているかと思っていたが、品揃えは少ない。
・秋田県の素材をもっと売ることができる工夫がほしい。
・地元のものが少ない。
・6 階から眺める九十九島は、とても印象的だったが、説明がほしかった。
・九十九島と海が一望できて素晴らしい。
・トイレにウォシュレットが無いのは今時としてはマイナス。

●土田牧場

○料理について

満足	普通	不満	その他	無回答
6	6	1	1	3

○値段設定について（1,500 円）

高い	妥当	安い	無回答
6	8	0	3

○おもてなしについて

とても良かった	良かった	普通	良くなかった	無回答
5	1	2	１８	8

○全体意見

・食べ方によっては全てがジンギスカンになってしまう。
・牛乳とヨーグルトがついて 1,500 円は十分満足した。
・味野菜がもう少しほしい。
・自分の好みで食べることができてよい。
・調理方法等親切に教えてくれた印象がある。
・首都圏では、マイカーで行ける大きい観光牧場はいくらでもあるので、東北で勝負した方がよいと思う。

●仁賀保高原

○印象に残った点

歴史	風景	案内	その他	無回答
4	１１	7	0	0

○改善すべき点

案内標識	案内	道等の整備	コース設定	その他
3	1	1	5	2

○このまま旅行商品として

売れる	売れない	どちらとも言えない	無回答
5	2	1	9

○全体意見

・一般の人には、風景と絶景以外に共感が薄い。
・絶景スポットはマップやガイドブックに載せるだけでよいのではないか。
・コース設定、環境整備が必要。
・ひばり荘はどんな施設なのかがよくわからなかった。温泉や宿泊できる施設であると良い。
・日本海と鳥海山を眺める絶景スポットとして紹介し、各自が好きな時間に行ってもらえるようにすれば。

●二日目の全体的な感想

・トレッキングはとても良かった。フィトンチッド効果体験を採り入れ、5 分間だけ寝転んで目を閉じ、耳を澄ますなどの演出は都会人には最高の演出なのではないでしょうか。また目覚めに伏流水を提供するのもよいかも。
・獅子ヶ鼻湿原は素晴らしいのでさらに宣伝告知を、仁賀保高原は磨きが必要。

●まとめ

○今回の行程バランスについて

ちょうど良い	長い	短い	無回答
2	2	5	8

○旅行代金について（全行程　27,000 円）

高い	妥当	安い	無回答
3	5	1	8

○全体意見

・全部を一度に体験するツアーは、体力も気力ももたないので、ターゲット×コンテンツ（資源）×演出方法（楽しみ方）で検討してみては如何でしょうか。
・量的バランスは問題がないが、テーマがバラバラである。
・少しハードな内容でした。
・歩く時間が長かったと思います。
・万人を対象としたコースは大体当たらないので、客層を選定することが必要であるが、マニアック過ぎるのも危険である。
・自然、食、歴史・・・をそのまま切り取っても、日本の各地には同じような資源が多くあり、できるだけ安く、近距離の場所」である地域に優位性があります。ただ現在は WEB の SNS 等口コミの伝播もありますので、どんなターゲットの指向性にマッチさせるか、何をブランディングし訴求するか次第で可能性は無限大でもあります。「選ばれるためにどこを尖らせるか」が誘客の肝となりますので、そこをトライ＆エラーでいろいろとやってみることが必要と思いました。来て頂いた後、「満足度を高く帰って頂くことへのおもてなし」とともに整理して磨き上げてほしい。
・山の涼しさや鳥のさえずりを聞きながらのトレッキングは楽しめたものの、かつてにかほ市にあった油田の話や市についての話をされても、多くの人が辛そうに見えました。年に 2,3 回訪れるためのコースづくりをして頂けたらなと思いました。
・観光のキャッチコピーを考えて周知を図ってください。

・旅先での交流が楽しみなので、一般市民の方にももっと観光に関心をもってもらいたい。
・ターゲット設定、コースの見所を明確にしてほしいが、資料は難しくなく簡単な分かりやすいものがよい。
・実際に商品化ということであれば、ターゲット・テーマを絞りにかほ市内で完結するか広域にまで発展させなければならないと思う。
・観光素材が豊富であることはわかったが、キラーコンテンツの設定が必要である。その上でコンセプトやストーリーを再構築する必要があるのではないでしょうか。
・視野を広げると、由利地域全体として一双グレードアップした企画も可能です。
・庄内空港や秋田空港から道の駅までのアクセスの確保が急務です。
・旅館組合の女将さんたちも、笹乃井さんの指導の下で共同料理メニューの開発など知恵を出し続けて頂ければと思います。
・何を見て旅をする人が多いかなどを調べて、インターネットや旅行本など様々な情報発信を研究して下さい。
・今後は、ねむの丘と宿泊施設の送迎も含めて検討して下さい、
・にかほを選んでもらうためには、相当のインパクトサプライズが必要であるため、平均点を並べるよりも突出したものを作り出す必要を感じた。
・27,000 円＋航空券では、相応のクオリティが必要である、その上でターゲットを意識した複数コースがあると自信をもって勧めることができるのではないか。
・九十九島は、整備次第ではもっとメジャーな観光地になると思います。鳥海山だけで来る旅行者は少ないと思うので、近隣のメジャーな観光地と連携し一体となってアピールすることも必要。
・7 月から 10 月のシーズンは宿泊予約も取りにくいこともあるので、施設整備に力をいれてほしい。
・接客も自己満足にならないよう気をつけたい。
・食材は地元産に限定せず、山形くらいまでの食材を加えたほうが、もっとバラエティに富むのではないだろうか。

事前調査事業では都市部からの有識者と地域からの宿泊業者や観光業者が参加したが、当日手配されたバスを利用した地域の者は殆どおらず、都市部からの有識者と観光課職員が数名乗車したのみであった。また全行程に同行した地域の者が少なく、どの地点からも参加できる一方どの地点からも離団できるため、殆どはマイカー利用であった。可能であれば、地域からも多くの人数がバスに乗り込み、バスの中でも意見交換ができるように工夫すればよかったという声が多かった。特に地域では、一般施設の見学よりも深度のある地域資源が奏功する場合が多い。何気なく地域の人が通っている店や日常の中で利用している温泉情報などは、地域の人々の口から発せられることが多いため、できる限り多くの都市と地域との接点の場づくりが求められる。
その一方、招聘した専門家や各参加者からの声は、地域にとって大きな効果があった。特に「象潟街歩き」や「九十九島」については主催者の地域側と参加者との間に「景観」における大きな温度差があり、提起された課題は、10 月に設定するモニターツアーの実施までに対応を図ることとした。

4-3　市民集会

市民集会の目的はモニターツアーに際し、地域の高齢者を中心としたボランティア組織を作ることであった。そのための意識づけをこの市民集会に求めた。今後も継続して活動を行い、2014 年度の組成をめざすこととした。

●実施日程　平成 25 年 9 月 24 日（木）
●参加人数　100 名
●講師　　前田香保里（ANA 総合研究所）
●タイトル　「にかほ市観光市民集会　市民ホスピタリティ講演　おもてなし講習会」
●対象　　地域宿泊業者、観光業者及び地域住民
●内容　　「観光産業の地域への波及効果」「人が創る地域の価値」をテーマに、波及効果を生む観光交流、がっかりする場所と感動する場所、記憶に残る場所からまた訪れたい場所へ、口コミの重要性、目に見えない、予測できない「地域の人が創る価値」について講演を行った。

4-4　おもてなし研修会

にかほ市観光課が主体となり、2 つのおもてなし研修会を実施した。1 回目と 2 回目は小規模旅館の女将を対象に「料理によるおもてなし」を開催、地域食材を使いどのような料理を提供できるかについて地元料亭笹乃井の主人、斎藤金悟氏を講師に招いた。3 回目から 6 回目までは、秋田県下で「マナー講座」を展開する社員教育アドバイザー佐藤孝子氏（秋田県小売商業支援センター専門員）を講師に招き、旅館の女将に加え、その他の宿泊業者、観光業者を対象に延べ 4 日間の講習会を実施した。いずれもモニターツアー参加者に提供するサービス向上を目的として実施した。

【料理によるおもてなし研修】
●実施日程　平成 25 年 6 月 13 日（木）、21 日（金）
●参加人数　各回 8 名
●講師　　斎藤金悟氏

●参加者からの感想

・にかほ市の旬の素材や特産品を利用して、他の飲食店や旅館と共通の地域料理の創作をしたのは初めてだった。料理についての情報交換や夏期のにかほ「おもてなし料理」の基本を学ぶことができた。

・色々な方の意見を集結し、「にかほ市おもてなし料理」の基本的な考え、メニュー構成を基に行った試食会は、とても勉強になった。ただ、ここで作った料理が「にかほ市のおもてなし料理」となるには、まだまだ「食材の供給」や「レシピの共有」など、クリアすべき課題は多くあると思う。

【マナー講座】

●実施日程　平成 25 年 9 月 25 日（金）、26 日（土）、30 日（水）、10 月 1 日（木）

●参加人数　各回 20 名

●講師　　佐藤孝子氏

●参加者からの感想

・市の観光振興に向けて、市民全体（特に観光事業者）の「おもてなし」技術取得は不可欠と思っていた。この講座により、「にかほ市」ファンの増加及びリピーター・口コミが広まれば良いと感じた。

4-5　ルートサイン制作

当初、計画にあったサイン数を九十九島の散策コースにおける回遊効率を上げる観点から見直し、計 18 個のサインを設置した。デザイン及び制作は地元業者に依頼した。

（設置した看板写真）

蚶満寺をスタート地点に、眺望の素晴らしい島や俳人に著名な島をコンパクトに周遊できるコースづくりを行った。

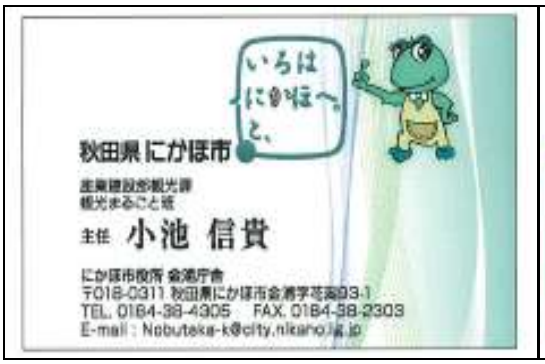
蚶満寺

（サイン設置コースは黄色のコース）

4-6　媒体制作

にかほ市観光課が秋田県で活躍するデザイン制作会社と連携し「蛙」のキャラクターを作った。そのキャラクターが登場するポスターやパンフレット、キャンペーンアイテムの他、DVD や WEB コマーシャルを制作した。また観光協会のホームページリニューアル及び予約システムの構築については、モニターツアーにおける募集準備機能も合わせるものとして製作する一方、リクルートじゃらん誌では 20 代の女性をターゲットとした地域情報を掲載した。

左：WEB コマーシャル
下：製作パンフレットと三浦織り
　　キャンペーングッズ
　　（にかほポータブルマップ）



蛙のイラストをマスコットとし、にかほ市職員の名刺をはじめ各媒

上：にかほの魅力ある地域資源ポスター3 種

【制作した媒体物の配布先と活用】

首都圏における認知度向上を目的として、都内関係先に配布した他、秋田県内における集客施設、にかほ市近郊、にかほ市内の順に、集客施設へ配置した。また、JR 東日本を通じ、首都圏 JR 各駅でのポスターの貼付を依頼した。

＜配置場所＞

にかほ市役所内	仁賀保庁舎、象潟庁舎、仁賀保 SC、象潟 SC、観光課窓口、企画情報課、議会事務局、土地改良区、消防署
にかほ市内	商工会、観光協会、仁賀保公民館、スマイル、フェライトこども科学館、象潟体育館、象潟郷土資料館、象潟公民館、にかほ市勤労青少年ホーム、金浦公民館、白瀬南極探検隊記念館、富士タクシー、象潟合同タクシー、トヨタレンタカー、獅子ヶ

	鼻湿原、中島台、仁賀保高原ひばり荘、土田牧場、土井冷菓、細谷喜盛堂、飛良泉、鉾立山荘、稲倉山荘、ビジターセンター、JR 仁賀保駅、JR 金浦駅、JR 象潟駅、JR 上浜駅、JR 小砂川駅、にかほ陣屋、くにまつ、佐藤勘六商店、ガーデンカフェタイム、レストラン一二三、大竹集落
にかほ市内（公園）	薫風苑、パオ、奈曽川河川公園、三崎公園、栗山池公園、バーベキューハウス
にかほ市内宿泊施設	松島屋旅館、ホテルエクセルキクスイ、いちゑ、佐藤旅館、温泉保養センターはまなす、斎藤旅館、金浦温泉、山形屋旅館、たつみ寛洋ホテル、ホテルシティパレス、しなの旅館、サンねむの木、ろふう草日本海、海苑蕉風荘、象潟シーサードホテル、ホテル＆コテージ潮さい、白滝旅館、鶴泉荘、清水屋旅館、松本旅館
由利本荘市内	JR 由利本荘駅、JR 岩城みなと駅、JR 西目駅、由利高原鉄道、カダーレ、由利地域振興局、由利本荘市役所、航空写真家工藤義孝
秋田県内	秋田県観光振興課、秋田県観光連盟、秋田市観光案内所、秋田県東京事務所、NEXCO 秋田事務所、トヨタレンタカー、秋田空港、大館能代空港、大仙観光情報センター、NEXCO 十和田、秋田駅、道の駅（にしめ、東由利、象潟、岩城、おおうち）、清水の里・鳥海郷、イオン御所野、エリアなかいち、秋田ふるさと村、秋田県賑わい交流館、NHK 秋田放送局、秋田放送、秋田朝日放送、秋田テレビ、FM 秋田
秋田県外	ANA 総研、リクルート、阪急交通社、浅草アンテナショップ、松島町役場、休暇村羽黒、ラテラインターナショナル、食のイベント列車、au、ハタハタフェスティバル

○にかほ市観光協会ホームページのリニューアル

イラスト、動画、予約システムを加え、視覚性、機能性、情報性でグレードアップを図った。

予約画面：
各旅館のサイトから特定施設を選択すると、その内容と空室照会が可能となった。

○じゃらん 9 月号掲載

ターゲットを 20 代～30 代前半の女性とした。

ポスターについては、首都圏 JR 各駅での貼付を依頼、その他の媒体もモニターツアー実施旅行会社の店頭及び各関係機関への送付し都市部における訴求を行った。

○にかほ市観光協会 facebook

○タビカレホームページの展開

左：にかほ市のサイトトップ

下左：最終的に 345 の行きたいポイント

下右：最新情報に三浦織パンフレットを記載

ふるさとの温もり・にかほット！
島めぐり

4-7　モニターツアー開催

全ての設定内容に共通したターゲット設定を行い、20 代～40 代の女性及び子育て世代の夫婦、シニア層の誘客に取り組んだ。本事業の活動レベルを判断するモニターツアーでは、企画造成に着手する直前まで議論が継続したこともあり、十分な企画性を盛り込むことができないままに募集を開始したが、設定した 5 本のツアーのうち、3 本を催行することができた。その一方で、首都圏をターゲットとした個人旅行を目的としたモニターツアーには申込みが無く、再度事業プロセスの見直しを急務とする結果となった。

それぞれのツアーに対しては、目的を区別し設定を行ったが、以下のうち、先の 3 つが催行、後の 2 つが募集人数未達による催行中止となった。

	対象	形態	ターゲット	種別	旅行会社	免許	出発日	帰着日	人数
1	河北新報会員	組織内募集	家族層・シニア層	団	河北新報トラベル	2	10 月 23 日(水)	10 月 24 日(木)	27
2	トラピックス会員	メディア募集	シニア層	団	阪急交通社	1	10 月 5 日（土)	10 月 7 日（日)	43
3	仙台リビング購読者及び松島町住民	一般･メディア	シニア層	団	たびのレシピ	2	10 月 19 日(土)	10 月 20 日(日)	10
4	ANA グループ	組織内募集	20 代から 40 代の女性	個	たびのレシピ	2	10 月 19 日(土)	10 月 20 日(日)	0
5	街道研究会会員	組織内募集	シニア層	団	にかほ市観光協会	3	10 月 5 日（土)	10 月 6 日（日)	0

【モニターツアーの実施内容】

4-7-1　河北新報トラベル（株式会社河北新報普及センター）による主催

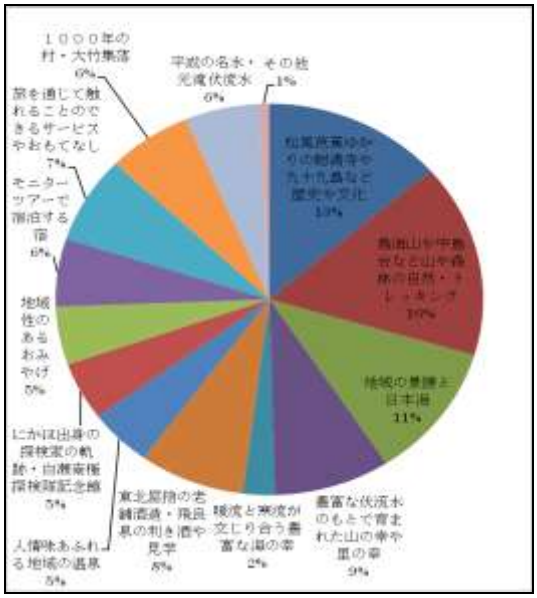
- 日程　　平成 25 年 10 月 23 日（水）～24 日（木）1 泊 2 日
- 催行人数　27 名（目標人数　40 名）※　アンケート回収枚数　27 枚
- 販売価格　17,000 円（1 部屋 2 人以上で利用する場合）

日次	内容（全行程バスプラン）
10 月 23 日（水）	仙台駅西口――仙台宮城 IC――酒田 IC――たつみ寛洋ホテル（昼食）――獅子ヶ鼻湿原――元滝伏流水――ねむの丘（入浴）――はまなす（泊）
10 月 24 日（木）	はまなす――蚶満寺～九十九島散策～蚶満寺――飛良泉（酒蔵見学と試飲）――大竹集落（昼食）――白瀬南極探検隊記念館――仙台駅西口

企画、造成、手配、実施の流れがスムーズに運び、募集開始より僅かの期間で一定の人数が確保できたものが、本ツアーであった。過去に一度にかほ市を対象にツアーを実施した際は、集客不足により催行されなかったが、その時の反省を踏まえ、今回は見学箇所の選定に女性が関心を持ちそうな場所を加える等の工夫を行った。結果的にシニア層の夫婦参加が殆どであったが、高齢化に伴い今後交通弱者が増える傾向が見込まれるシニア層に対し、バスの有効性と販売価格設定が適当だったものと思われる。

【アンケート結果】

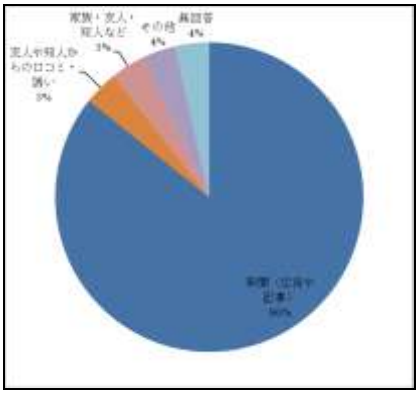
Q1　ツアー前に魅力を感じたこと



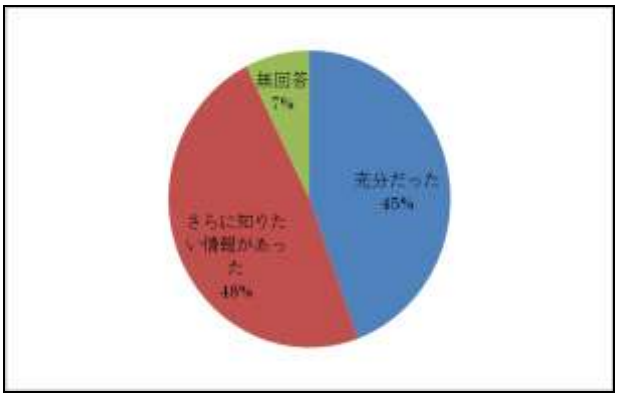
Q2　ツアーに対する期待度

	とても期待していた	期待していた	やや期待していた	どちらともいえない	あまり期待していなかった	期待していなかった	全く期待していなかった	無回答
（1）旅行先　（秋田県にかほ市）	9	14	1	1	1	1	-	-
	33.3	51.9	3.7	3.7	3.7	3.7	-	-
（2）体験内容	7	8	4	1	1	-	-	6
	25.9	29.6	14.8	3.7	3.7	-	-	22.2
（3）ツアーのメニュー構成	6	12	6	3	-	-	-	-
	22.2	44.4	22.2	11.1	-	-	-	-
（4）ツアーの行程（タイムスケジュー	4	10	6	4	-	-	-	3
	14.8	37.0	22.2	14.8	-	-	-	11.1
（5）ツアーガイドの案内（知識）	4	13	5	2	2	-	-	1
	14.8	48.1	18.5	7.4	7.4	-	-	3.7
（6）オプショナルツアー　※記入不要	-	-	-	-	-	-	-	27
	-	-	-	-	-	-	-	100.0
（7）食事	6	11	4	2	3	-	-	1
	22.2	40.7	14.8	7.4	11.1	-	-	3.7
（8）宿泊施設	1	13	4	4	2	-	-	3
	3.7	48.1	14.8	14.8	7.4	-	-	11.1
（9）ツアー以外での旅行先での滞在	3	7	2	6	-	-	1	8
	11.1	25.9	7.4	22.2	-	-	3.7	29.6
（10）地域の人々との交流	3	4	6	7	2	-	1	4
	11.1	14.8	22.2	25.9	7.4	-	3.7	14.8
（11）コストパフォーマンス	1	8	4	5	1	-	-	8
	3.7	29.6	14.8	18.5	3.7	-	-	29.6
（12）総合的に見て	3	16	5	1	-	1	-	1
	11.1	59.3	18.5	3.7	-	3.7	-	3.7

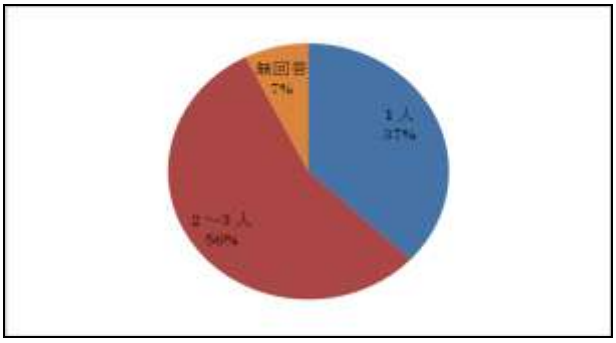
Q3　ツアーの情報源



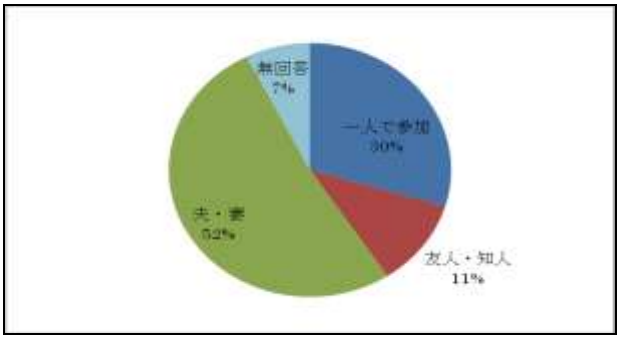
Q4　ツアー情報の熟度



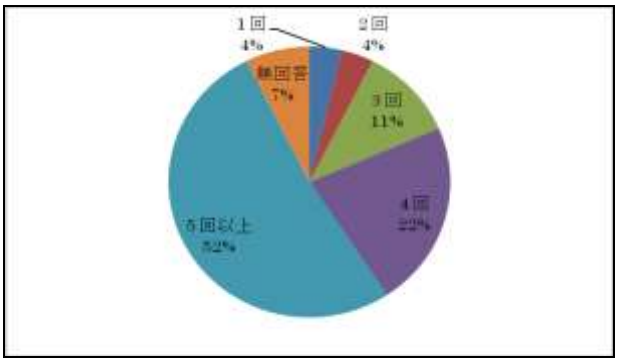
Q5　参加人数



Q6　今回のツアーの参加相手



Q7　年間の日帰り旅行回数



Q7　年間の宿泊旅行回数

Q7　昨年の宿泊数計

Q8　国内旅行での年間支払額

Q9　これまでに参加したことのある地域の観光等のプログラム・ツアー（左）

今後参加してみたいと思われる地域の観光等のプログラム・ツアー（右）

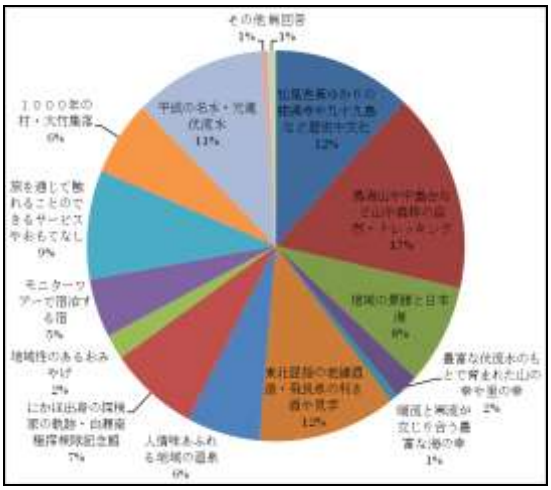
調査数	1）地域の自然、気候を活かしたスポーツ参加を目的としたプログラム	2）趣味のスポーツに関係のある地域の気候の合った地域の合宿プログラム	3）自然のフィールドでのカヌーキング・登山などのツアー	4）自然の中での様々な体験を通して、自然を学ぶプログラム	5）地域の歴史をテーマに様々な遺跡などを巡るプログラム	6）地域の伝統的文化を楽しみながら学ぶプログラム	7）地域の伝統工芸等をガイドなどから学ぶプログラム	8）ワイナリーの訪問と地域の食などを楽しむプログラム	9）日本酒の酒蔵訪問と地域の食などを楽しむプログラム	10）地域の食材を楽しむプログラム	11）地域の伝統料理を楽しむプログラム
27	-	-	10	6	9	10	7	11	10	5	4
100.0	-	-	37.0	22.2	33.3	37.0	25.9	40.7	37.0	18.5	14.8

調査数	12）地域の地域の歴史・伝統・文化等を利用して、高齢者や障害者等を目的としたプログラム	13）豊かな自然環境の中でゆったりと過ごすリゾートプログラム	14）ヴェーガン・ヴィーガン料理などの癒し・健康増進プログラム	15）ローカル線などの鉄道を楽しむためのプログラム	16）カメラでの撮影を目的としたまち歩き等のプログラム	17）地域での文化・イベント等の企画と地域での観光を組み合わせたプログラム	18）農林漁村や田舎での生活体験プログラム	19）映画やドラマのロケ地・アニメのモデルとなったスポットを巡るプログラム	20）地域の産業の見学やビジネス・学術交流などを目的としたプログラム	21）地域再生や活性化を目的としたボランティアプログラム	22）地域の豊かな自然環境等を利用して、高齢者や障害者等を目的としたプログラム	無回答
3	2	3	7	1	4	-	2	-	-	1	3	4
11.1	7.4	11.1	25.9	3.7	14.8	-	7.4	-	-	3.7	11.1	14.8

調査数	1）地域の自然、気候を活かしたスポーツ参加を目的としたプログラム	2）趣味のスポーツに関係のある地域の気候の合った地域の合宿プログラム	3）自然のフィールドでのカヌーキング・登山などのツアー	4）自然の中での様々な体験を通して、自然を学ぶプログラム	5）地域の歴史をテーマに様々な遺跡などを巡るプログラム	6）地域の伝統的文化を楽しみながら学ぶプログラム	7）地域の伝統工芸等をガイドなどから学ぶプログラム	8）ワイナリーの訪問と地域の食などを楽しむプログラム	9）日本酒の酒蔵訪問と地域の食などを楽しむプログラム	10）地域の食材を楽しむプログラム	11）地域の伝統料理を楽しむプログラム
27	-	-	12	12	13	17	13	8	8	14	17
100.0	-	-	44.4	44.4	48.1	63.0	48.1	29.6	29.6	51.9	63.0

調査数	12）地域の地域の歴史・伝統・文化等を利用して、高齢者や障害者等を目的としたプログラム	13）豊かな自然環境の中でゆったりと過ごすリゾートプログラム	14）ヴェーガン・ヴィーガン料理などの癒し・健康増進プログラム	15）ローカル線などの鉄道を楽しむためのプログラム	16）カメラでの撮影を目的としたまち歩き等のプログラム	17）地域での文化・イベント等の企画と地域での観光を組み合わせたプログラム	18）農林漁村や田舎での生活体験プログラム	19）映画やドラマのロケ地・アニメのモデルとなったスポットを巡るプログラム	20）地域の産業の見学やビジネス・学術交流などを目的としたプログラム	21）地域再生や活性化を目的としたボランティアプログラム	22）地域の豊かな自然環境等を利用して、高齢者や障害者等を目的としたプログラム	無回答
10	12	17	8	4	12	2	7	3	3	4	2	2
37.0	44.4	63.0	29.6	14.8	44.4	7.4	25.9	11.1	11.1	14.8	7.4	7.4

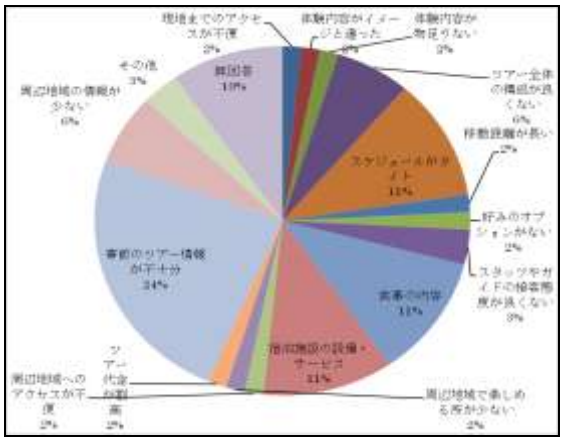
Q10　ツアーの内容で、満足された・良かったと思うもの



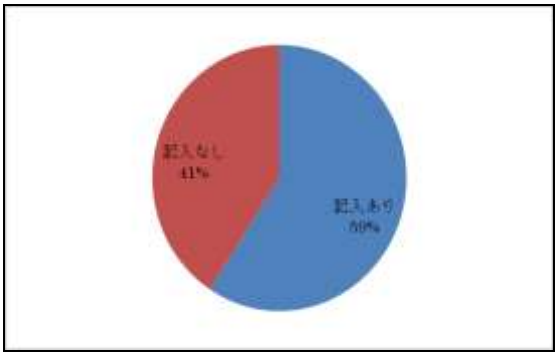
Q11　ツアーに対する満足度

	調査数	とても満足した	満足した	やや満足した	どちらともいえない	あまり満足しなかった	満足しなかった	全く満足しなかった	無回答
（1）旅行先（秋田県に決定） 100.0	27	8	15	1	1	-	-	-	2
		29.6	55.6	3.7	3.7	-	-	-	7.4
（2）体験内容 100.0	27	6	8	4	2	-	-	-	7
		22.2	29.6	14.8	7.4	-	-	-	25.9
（3）ツアーのメニュー構成 100.0	27	3	10	3	6	1	-	-	4
		11.1	37.0	11.1	22.2	3.7	-	-	14.8
（4）ツアーの行程（タイムスケジュール） 100.0	27	1	3	12	3	3	1	-	4
		3.7	11.1	44.4	11.1	11.1	3.7	-	14.8
（5）ツアーガイドの案内（知識） 100.0	27	9	15	3	1	-	-	-	1
		33.3	55.6	11.1	3.7	-	-	-	3.7
（6）オプショナルツアー　※記入不要 100.0	27	-	-	-	-	-	-	-	27
		-	-	-	-	-	-	-	100.0
（7）食事 100.0	27	1	11	6	3	3	-	-	3
		3.7	40.7	22.2	11.1	11.1	-	-	11.1
（8）宿泊施設 100.0	27	-	6	10	7	2	1	-	1
		-	22.2	37.0	25.9	7.4	3.7	-	3.7
（9）ツアー以外での旅行先での滞在 100.0	27	-	4	3	7	-	-	-	13
		-	14.8	11.1	25.9	-	-	-	48.1
（10）地域の人々との交流 100.0	27	1	7	6	6	1	-	-	6
		3.7	25.9	22.2	22.2	3.7	-	-	22.2
（11）コストパフォーマンス 100.0	27	1	5	5	5	-	-	-	11
		3.7	18.5	18.5	18.5	-	-	-	40.7
（12）総合的に見て 100.0	27	-	15	6	1	1	-	-	4
		-	55.6	22.2	3.7	3.7	-	-	14.8

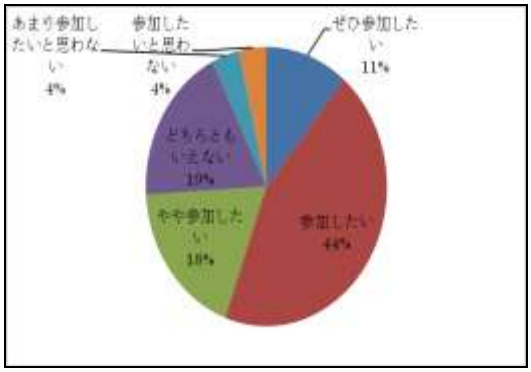
Q12　ツアーで満足しなかった点



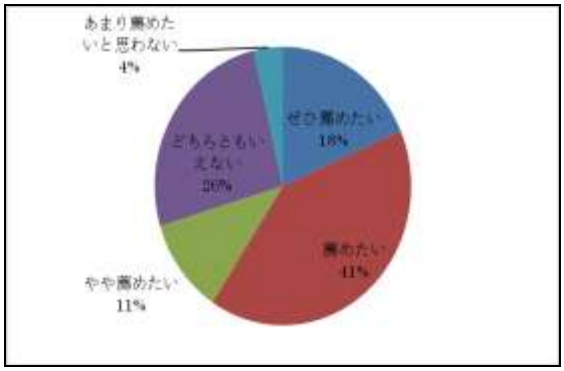
Q13　ツアーへの意見



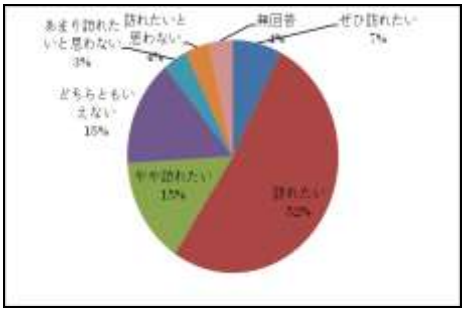
Q14　ツアーへの参加意向



Q15　今回のツアーへの推薦意向



Q16　地域への再訪意識



Q17　ツアー中に支払った金額

①飲食費（ツアーに組み込まれたもの以外）

調査数	平均	最小値	最大値
21 100.0	1028.6	0.0	5000.0

②ツアー内で購入したもの

調査数	平均	最小値	最大値
10 100.0	3756.6	0.0	10000.0

③土産・買い物など（ツアー以外で購入したもの

調査数	平均	最小値	最大値
16 100.0	4894.4	0.0	20000.0

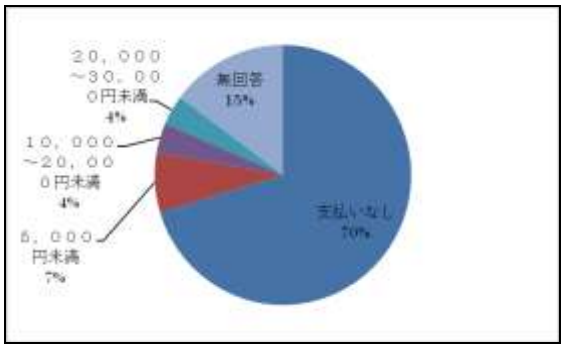
④交通費

調査数	平均	最小値	最大値
18 100.0	932.2	0.0	2000.0

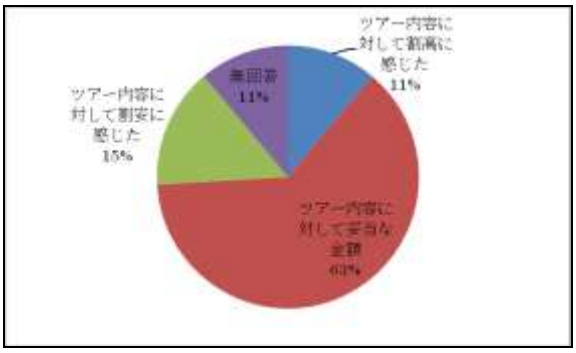
⑤その他

調査数	平均	最小値	最大値
4 100.0	62.5	0.0	150.0

Q18　ツアーに際し事前にかかった費用



Q19　ツアー代金の値頃感



Q20　今後同様のツアーに参加した場合のツアー代金について

①このツアーについて、いくら位から「高い」と感じはじめるか（円）

調査数	平均	最小値	最大値
21 100.0	19904.8	15000.0	25000.0

②このツアーについて、いくら位から「高すぎて買えない」と感じ始めるか（円）

調査数	平均	最小値	最大値
20 100.0	22400.0	18000.0	30000.0

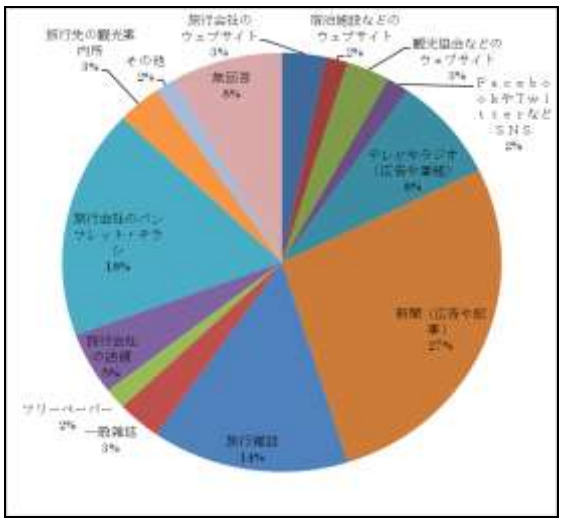
③このツアーについて、いくら位から「安い」と感じはじめるか（円）

調査数	平均	最小値	最大値
21 100.0	14095.2	10000.0	20000.0

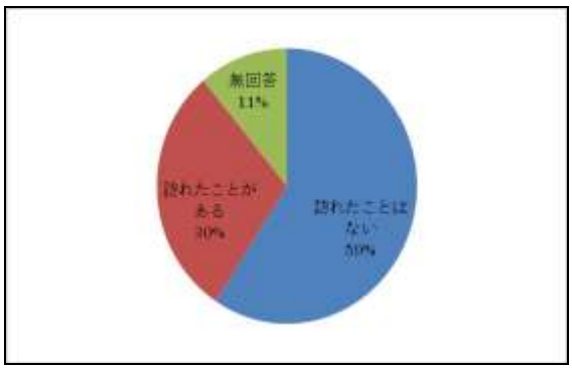
④このツアーについて、いくら位から「安すぎて少し不安」と感じ始めるか（円）

調査数	平均	最小値	最大値
20 100.0	11050.0	5000.0	15000.0

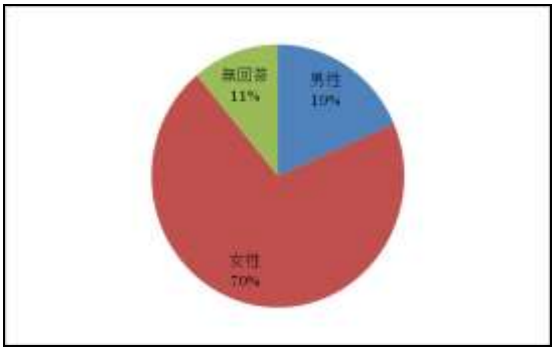
Q21　ツアー情報源で適切と思うもの



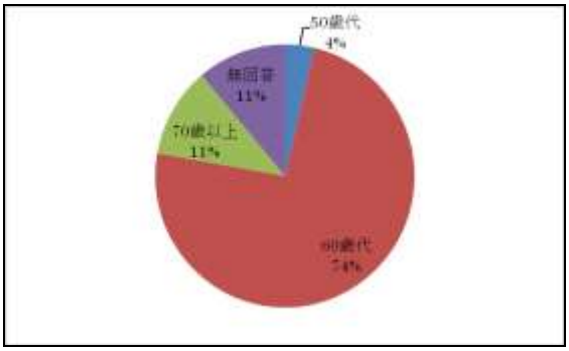
Q22　以前に当該地域への訪問経験



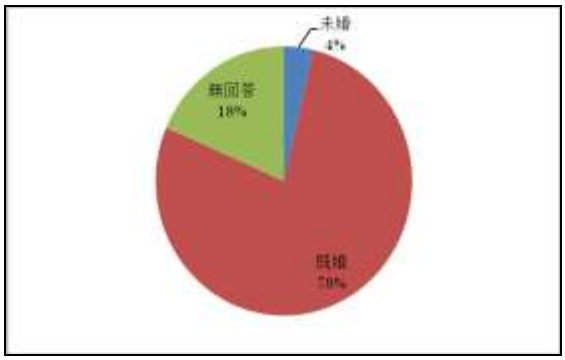
Q22　性別



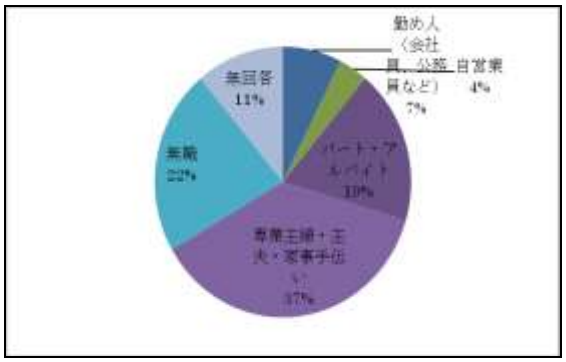
Q22　年齢



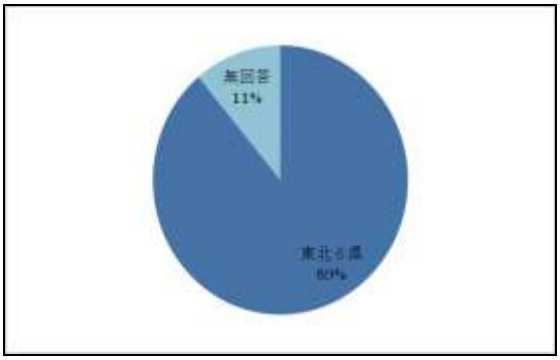
Q22　未既婚



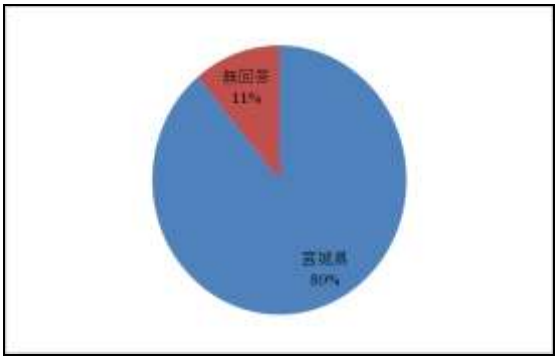
Q22　職業



Q22　居住地



Q22　住所



【アンケート自由意見】

- 獅子ヶ鼻湿原、鳥海マリモ、燭台、元滝伏流水の自然の素晴らしさ
- 鳥海山の山を眺め、日本海の海を同時に眺められ、日の入を見られたこと
- 自然の森林の中をトレッキングしたこと
- 九十九島の歴史や文化を見聞したこと
- にかほ市で力を入れていることを伝え切れていない。仙台でも宣伝に力を入れた方が良いと思います（ポスター等)。
- 自然が素晴らしくこのよな所を歩きたいと憧れていました。新緑の季節もいいでしょうね。
- にかほ市観光協会さんの親切なおもてなし、わかりやすい説明、大変良かった。また来てみたいです。2 日間ありがとうございます。
- 地域の食と文化の独特なところ
- トレッキングの打合せさえしっかりしていれば、ウェルカムの精神が行き届いた旅行でした。添乗員さんへ、自信をもって笑顔と余裕で引率して下さい。
- 個人旅行では観光地を巡るだけですが、ガイド付きはとても充実していてよかったです。
- 自然とのふれあいは非常に良い経験ですので、すすめたいと思います。
- 森の中をトレッキング、新緑の時はまた来たいと思うし、友人と一緒に来たいと思う。
- 蚶満寺・九十九島等の歴史・文化を訪ねる。
- 燭台、森林のトレッキング、元滝伏流水のトレッキング
- トレッキング、地元食のような普段食べられない料理とか、とても美味しかったところ。
- あがりこ大王、元滝伏流水、九十九島、蚶満寺、白瀬南極探検隊記念館等を薦めたいと思っています。
- 初めての行き先でしたが、このように素晴らしい場所があることを皆に知らせてあげたい。

- なかなか普通のツアーでは行けない場所に案内された。自然の大切さを伝えたい。
- ガイド付の案内により、より興味深くトレッキング、見学ができました。改めて様々な地域にまだまだ文化があるのだと実感しました。
- 主人は、にかほ市なんて何もないと間違った先入観がありますので、是非今度薦めて一緒に来たいと思います。
- 獅子ヶ鼻湿原が良かった。是非友人に薦めたい。伏流水も良かったし、このパンフレットを見せて薦めます。
- 出発時間は、8 時で帰着時間は 19 時というのが良い。昼食は地元産食料を使った手作り感のある内容が良い。
- 接客がサービスに慣れていないように感じました。
- 湿原の 1 グループの案内人の歩く速さが速すぎます。危険です。最初に時間とルートを計算して歩く距離を考え、カットするルートを決め、ゆっくり案内する必要があります。2 グループの案内人の判断が正しかった。
- 白瀬南極探検隊記念館ではもっと時間を取り、ゆっくり見たかった。大竹集落ではもう少し短い時間でも良かった。
- 宿泊施設について、はまなすの一室 5 名利用は多いと思います。
- 団体ガイドの音声が届かず、ガイドさんも苦労している様子なので設備面で改善が必要か。
- １、2 班に分けていましたが、同じ内容で周った方がよかったと思います。夕陽をみたいという気持ちを大事にするのでしたら、最初のトレッキングで 1 班は 2 班と同じに、次のトレッキングは 1 班に合わせて 2 班も動くべきだったと思います。スタッフの事前打合せをしっかりとしていれば結果がどうであれ、同じ気持ちで納得できたと思います。
- 獅子ヶ鼻湿原はもう少し時間がほしかった。
- ねむの丘の展望台からの景色はとても良かった。
- 蚶満寺のガイド説明があり良かった。
- はまなすの接客はもう少し勉強してほしいです。
- トレッキング時の、ツアーガイドとトレッキングガイドのタイムスケジュールの認識が、あってないと思います。
- 夕食時、飲み物注文受けの時間が遅い。
- 1000 年の集落は何が 1000 年なのかがわからない。
- 2 班に分かれてガイドさんがつきましたが、2 班の方は物静かで前方のガイドさんに気を使い、周っていましたが、前方のガイドさんはマイペースすぎていました。2 人のガイドさんがつく場合は、もう少し気を使ってもいいのでは。
- 昼食等の施設では、椅子などの食事であれば助かります。また普通の弁当ではなく、当地での売りの食事があるとよい。
- 日の入りを見たかったので、トレッキングの歩きのスピードを上げるのではなく、出発をその分早くして、30 分前には海に沈む太陽が見ることができたらと思いました。
- もう少しゆっくりしたかった。スケジュールの時間がいっぱいいっぱいで忙しかった。3 時間ものトレッキングのときはもう少しゆっくり歩きたい。
- 送って頂いた予定表の中で宿泊先の住所、電話の文字が小さすぎる。できれば宿泊の時は家族用にもう 1 枚ほしい。はまなすのごはんはとても美味しかった。味も良かった。ただ男性に茶碗蒸し、デザートがつ

かないのがおかしい。女性に対してのサービスだったにしても、あまり感じが良くなかった。蕎麦の汁が少ししょっぱかった。

- 運転手さんももっと愛想がよければ満足でした。
- 出発前にまったく連絡がなかった。申し込みから出発までの日数があったので連絡があってもよかったのでは。
- 運転手さんの態度が悪かった。
- 夕食のときに男女に差をつけるのはおかしいと思った。
- 体験型で何かを作ったり、地元の方々とふれあったりしたらもっと楽しめるのではないかと思います。
- 史跡や神社仏閣、街道歩き等がしてみたい。
- 場所場所での説明があり、より一層その地域のことを知ることができ、当地ガイドは必要だなと思いました。
- いろいろ詳細に説明案内して頂き、またもてなしの気持ちも十分に伝わって楽しめた 2 日間でした。
- スケジュールがタイトすぎる。
- 誘導があまりスムーズに行かなかったような気がする。
- 何よりこのアンケート内容が煩雑すぎて協力したいというつもりはあったが、ストレスになった感がある。
- スケジュールの組み方、時間の配分等に不慣れな点が見受けられたが、2 日目になり地元の方々の郷土を愛する気持ちとそれを他地域の人たちに伝えようとする気持ちと熱意が伝わって、1 日目のやや不満な気持ちも解消されました。温かいおもてなしをいただきました。
- ガイドの歩くスピードが速すぎて、まわりの木々や川のせせらぎを楽しむことができなかった。転ばないよう下を見て歩くのがやっとでした。
- 日没をみる時間が迫っていたので無理なことですが、もう少しスケジュールに余裕があればと思いました。でも温かいおもてなしはうれしかったです。
- 前日に確認の電話がほしい。
- スケジュールが忙しくもう少しゆっくり（せわしない）。
- 宿が線路のそばでうるさかった。スリッパがほしい。
- もっとゆっくり、食事（1 時間ぐらい）がしたい。
- 2 日目の昼食がとても美味しかった。
- 宿はもう少し違う場所がよい。4 人部屋で狭くゆっくりできなかった。
- 露天風呂が暗くて足元が危ない。

4-7-2　阪急交通社による主催

- 日程　　平成 25 年 10 月 5 日（土）～7 日（月）2 泊 3 日
- 催行人数　43 名　（目標人数　40 名）※　アンケート回収枚数　43 枚
- 販売価格　42,990 円（1 部屋 2 人以上で利用する場合）

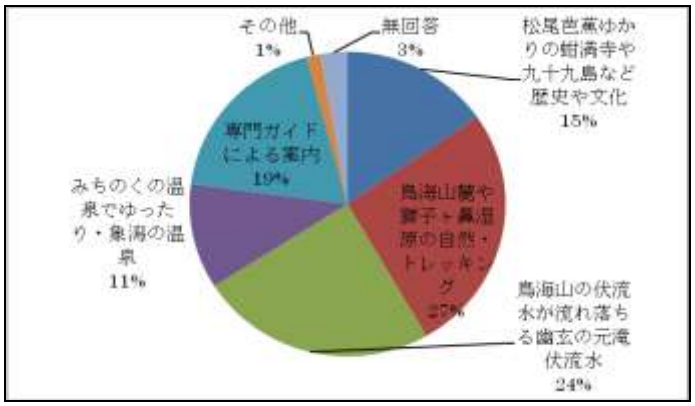
日次	内容（行程は列車＋バスプラン）
10 月 5 日（土）	東京駅――上野駅――大宮駅―（新幹線）―郡山駅――月山・弥陀ヶ原湿原散策（専門ガイド）――象潟（泊）
10 月 6 日（日）	象潟――元滝伏流水――九十九島・蚶満寺――獅子ヶ鼻湿原散策（専門ガイド）――最上川――鳴子温泉郷（泊）
10 月 7 日（月）	鳴子温泉郷――栗駒高原いわかがみ平――須川高原温泉・栗駒山荘入浴――郡山駅―――（新幹線）――大宮駅――上野駅――東京駅

阪急交通社が実施する東北ツアーのうち、獅子ヶ鼻湿原や元滝伏流水を周遊するコースを、立寄りから宿泊コースに変更し、にかほ市エリアを観光する部分をモニターツアーの対象とした。募集開始後、一定期間内に参加人数が 30 名に達し、以降はほぼ 35 名から 45 名の間で推移した。

獅子ヶ鼻湿原や元滝伏流水への評価に加え、九十九島に対する評価も一定の数を得たが、にかほ市内では 3 つほどしかない大型旅館のうち、今回選択した宿泊施設への評価が著しく悪かった点に、改善の余地が見られる。参加者の殆どは高齢者であった。

【アンケート結果】

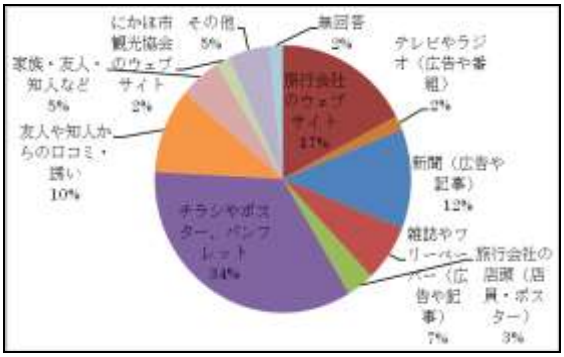
Q1　ツアー前に魅力を感じたこと



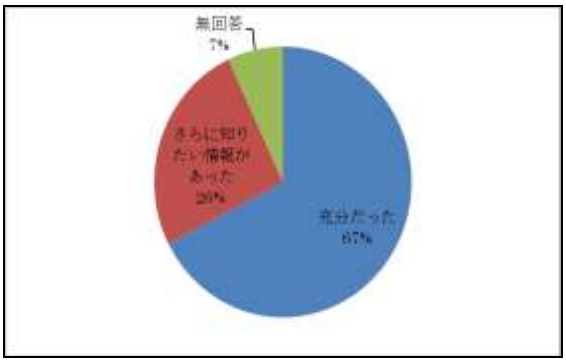
Q2　ツアーに対する期待度

	調査数	とても期待していた	期待していた	やや期待していた	どちらともいえない	あまり期待していなかった	期待していなかった	全く期待していなかった	無回答
(1) 旅行先（秋田県にかほ市）	43	6	22	4	5	3	-	1	2
	100.0	14.0	51.2	9.3	11.6	7.0	-	2.3	4.7
(2) 目的内容	43	7	12	8	6	1	-	-	9
	100.0	16.3	27.9	18.6	14.0	2.3	-	-	20.9
(3) ツアーのメニュー構成	43	8	19	10	4	-	-	-	2
	100.0	18.6	44.2	23.3	9.3	-	-	-	4.7
(4) ツアーの行程（タイムスケジュール）	43	4	19	9	5	-	-	-	6
	100.0	9.3	44.2	21.0	11.6	-	-	-	13.9
(5) ツアーガイドの案内（解説）	43	8	21	10	2	-	-	-	2
	100.0	18.6	48.8	23.3	4.7	-	-	-	4.7
(6) オプショナルツアー（記入者）	43	-	-	-	-	-	-	-	43
	100.0	-	-	-	-	-	-	-	100.0
(7) 食事	43	8	17	7	5	3	-	-	3
	100.0	18.6	39.5	16.3	11.6	7.0	-	-	6.9
(8) 宿泊施設	43	4	13	10	7	4	-	-	5
	100.0	9.3	30.2	23.3	16.3	9.3	2.3	-	11.6
(9) ツアーに対する総合的な満足度	43	2	4	3	7	8	1	-	18
	100.0	4.7	9.3	6.9	16.3	18.6	2.3	-	41.9
(10) 地域住民とのふれあい	43	-	3	9	11	4	1	-	15
	100.0	-	6.9	20.9	25.6	9.3	2.3	-	34.9
(11) コストパフォーマンス	43	-	3	8	4	3	-	-	25
	100.0	-	6.9	18.6	9.3	6.9	-	-	58.1
(12) 総合的に見て	43	8	19	9	8	-	-	-	1
	100.0	18.6	44.2	20.9	18.6	-	-	-	2.3

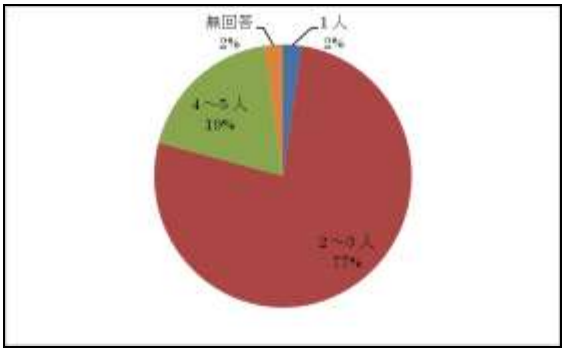
Q3　ツアーの情報源



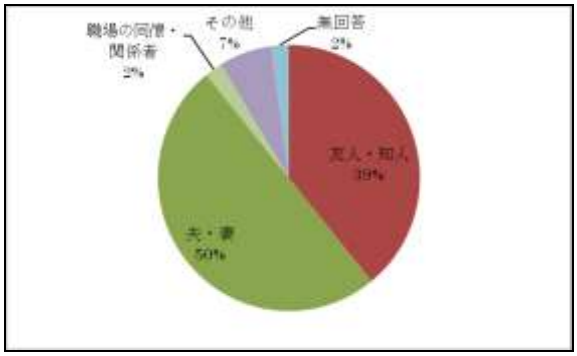
Q4　ツアー情報の熟度



Q5　参加人数



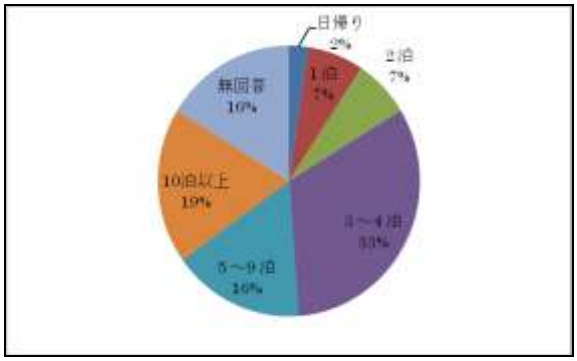
Q6　今回のツアーの参加相手



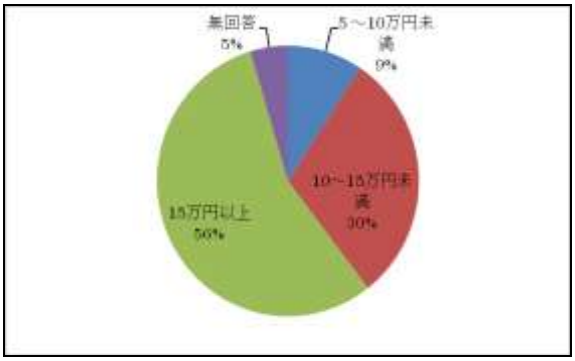
Q7　年間の日帰り旅行回数

Q7　年間の宿泊旅行回数

Q7　昨年の宿泊数計



Q8　国内旅行での年間支払額



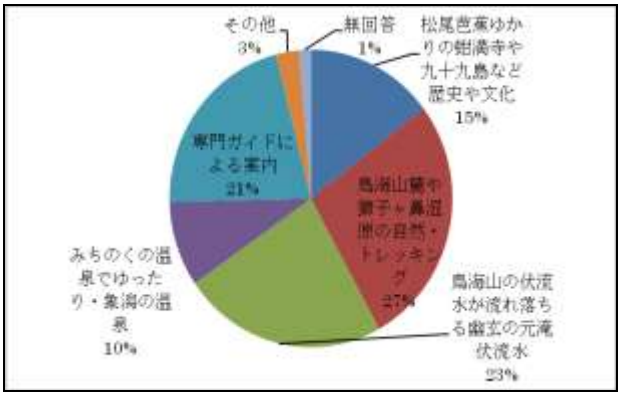
Q9　これまでに参加したことのある地域の観光等のプログラム・ツアー（左）

今後参加してみたいと思われる地域の観光等のプログラム・ツアー（右）

調査数	1）地域の自然・気候を活かしたスポーツ等の企画プログラム	2）地域の自然・風景や歴史・文化などを巡るプログラム	3）地域の食材を楽しむプログラム	4）地域の食などを楽しむ酒蔵訪問プログラム	5）地域の食などを楽しむ酒蔵訪問と地域の伝統的な文化を学ぶプログラム	6）地域の伝統的な文化を通して学ぶプログラム	7）地域の自然・歴史を巡るプログラム	8）自然の中での様々なプログラム	9）自然のフィールドでのトレッキング・登山などのガイドツアー	10）地域の食材を楽しむプログラム	11）地域の伝統料理を楽しむプログラム
43	-	2	17	14	17	8	20	18	17	19	11
100.0	-	4.7	39.5	32.6	39.5	18.6	46.5	41.9	39.5	44.2	25.6

調査数	1）地域の自然・気候を活かしたスポーツ等の企画プログラム	2）地域の風景や歴史・文化などを巡るプログラム	3）地域の食材を楽しむプログラム	4）地域の食などを楽しむ酒蔵訪問プログラム	5）地域の食などを楽しむ酒蔵訪問と地域の伝統的な文化を学ぶプログラム	6）地域の伝統的な文化を通して学ぶプログラム	7）地域の自然・歴史を巡るプログラム	8）自然の中での様々なプログラム	9）自然のフィールドでのトレッキング・登山などのガイドツアー	10）地域の食材を楽しむプログラム	11）地域の伝統料理を楽しむプログラム
43	-	2	17	17	13	18	9	18	17	14	10
100.0	-	4.7	39.5	39.5	30.2	41.9	20.9	41.9	39.5	32.6	23.3

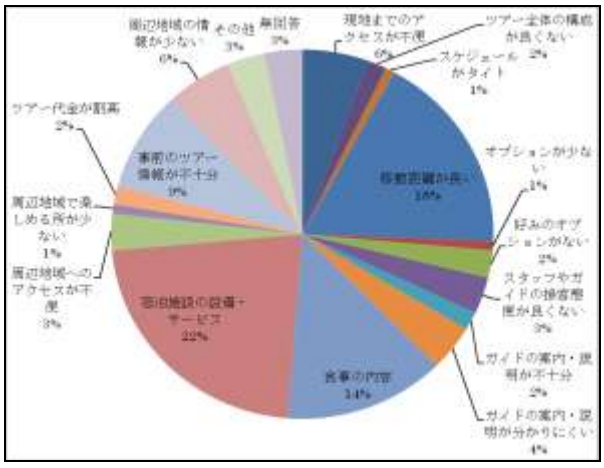
Q10　ツアーの内容で、満足された・良かったと思うもの



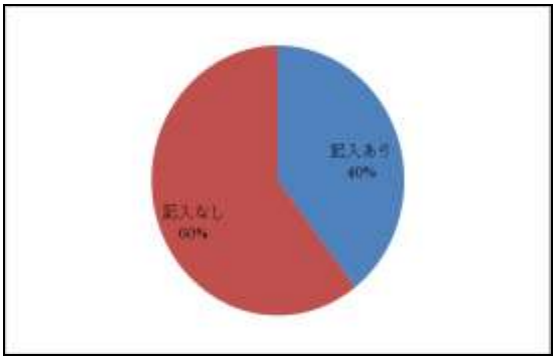
Q11　ツアーに対する満足度

	調査数	とても満足した	満足した	やや満足した	満足したもいえない	あまり満足しなかった	満足しなかった	全く満足しなかった	無回答
（1）旅行先（地域）に対する魅力	43	7	15	12	4	1	-	-	4
（2）体験内容	43	5	15	12	6	-	-	-	5
（3）ツアーのメニュー構成	43	5	14	12	7	1	-	1	3
（4）ツアーの行程（タイムスケジュール）	43	2	14	12	6	2	-	2	3
（5）ツアーガイドの案内（解説）	43	8	20	7	1	3	-	-	4
（6）オプショナルツアー（記入不要）	43	-	-	-	-	-	-	-	43
（7）宿泊	43	1	9	18	3	2	1	1	8
（8）宿泊施設	43	2	8	11	8	4	2	1	7
（9）ツアー日程中の飲食物の種類	43	-	5	9	4	-	-	-	25
（10）地域の人々との交流	43	-	4	9	10	1	-	-	19
（11）コストパフォーマンス	43	-	5	7	14	2	-	-	15
（12）総合的に見て	43	3	8	20	2	2	-	-	7

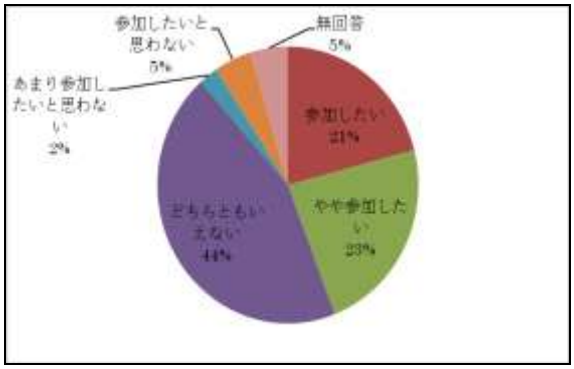
Q12　ツアーで満足しなかった点



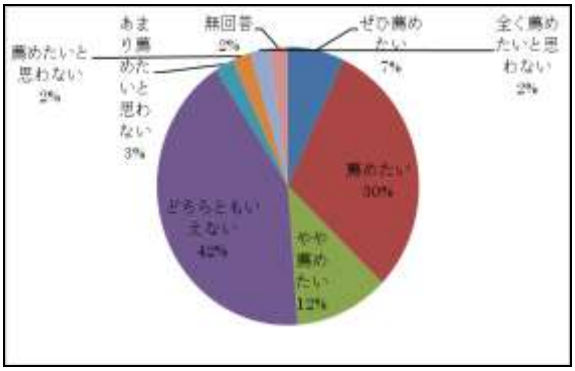
Q13　ツアーへの意見



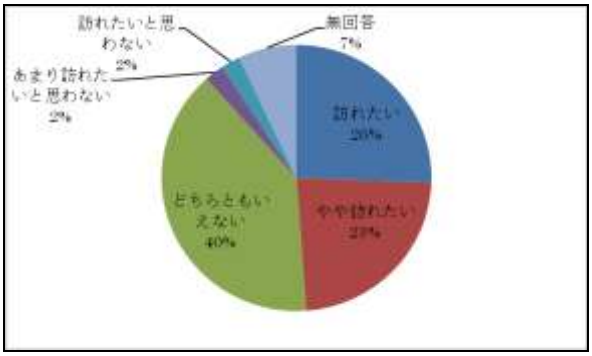
Q14　ツアーへの参加意向



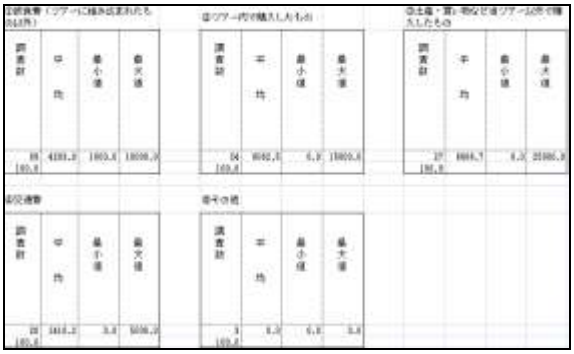
Q15　今回のツアーへの推薦意向



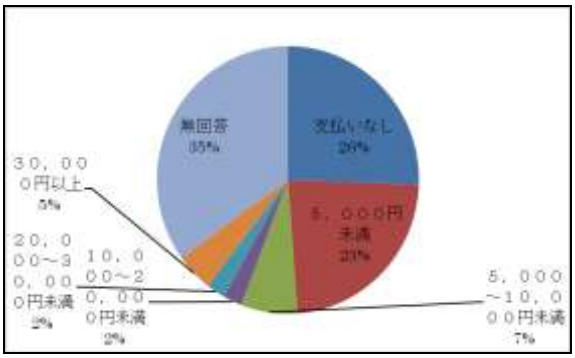
Q16　地域への再訪意識



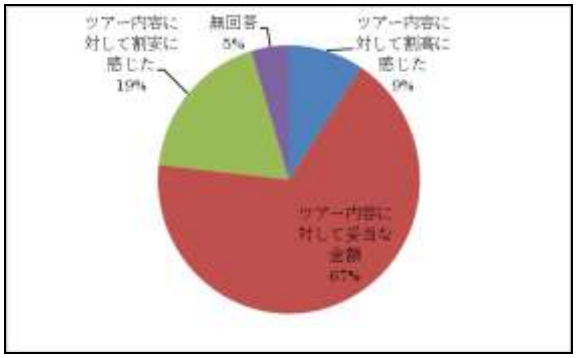
Q17　ツアー中に支払った金額



Q18　ツアーに際し事前にかかった費用



Q19　ツアー代金の値頃感



Q20　今後同様のツアーに参加した場合のツアー代金について

①このツアーについて、いくら位から「高い」と感じはじめるか（円）

調査数	平均	最小値	最大値
27 100.0	42325.9	4000.0	60000.0

②このツアーについて、いくら位から「高すぎて買えない」と感じ始めるか（円）

調査数	平均	最小値	最大値
22 100.0	48638.4	10000.0	80000.0

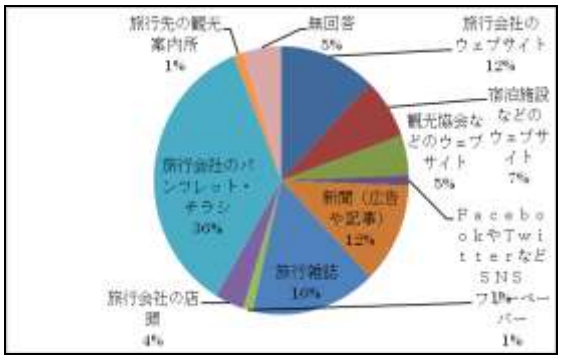
③このツアーについて、いくら位から「安い」と感じはじめるか（円）

調査数	平均	最小値	最大値
21 100.0	35333.3	30000.0	40000.0

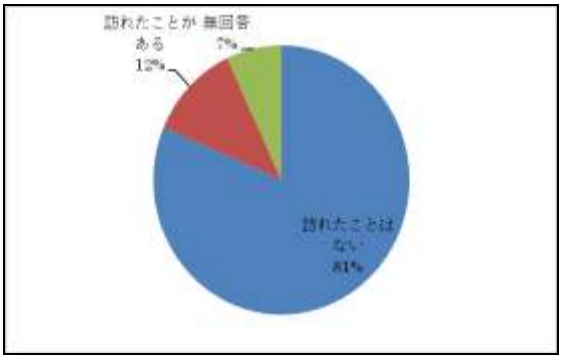
④このツアーについて、いくら位から「安すぎて少し不安」と感じ始めるか（円）

調査数	平均	最小値	最大値
17 100.0	30823.5	20000.0	40000.0

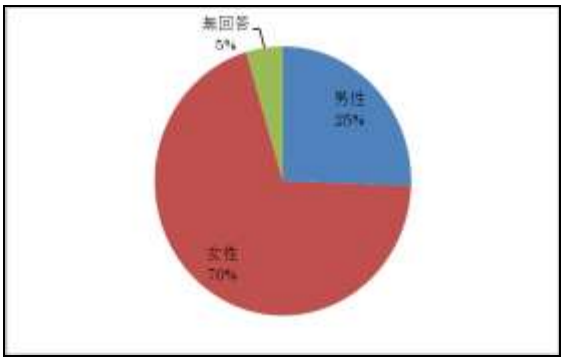
Q21　ツアー情報源で適切と思うもの



Q22　以前に当該地域への訪問経験

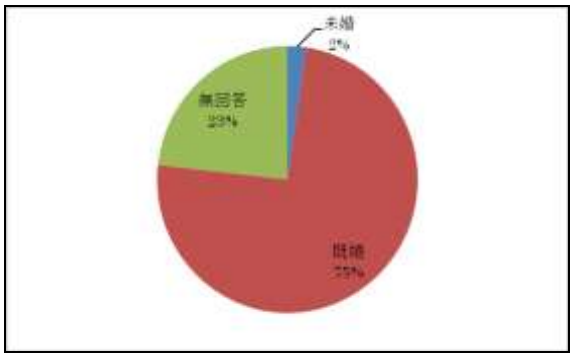


Q22　性別

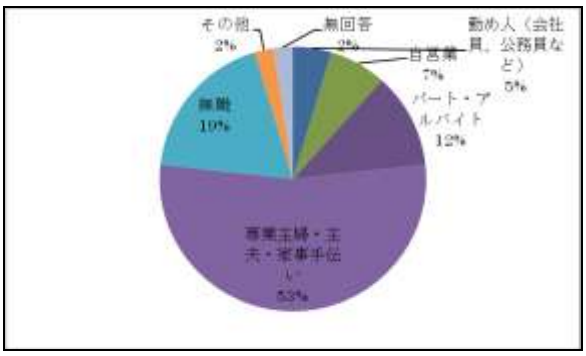


Q22　年齢

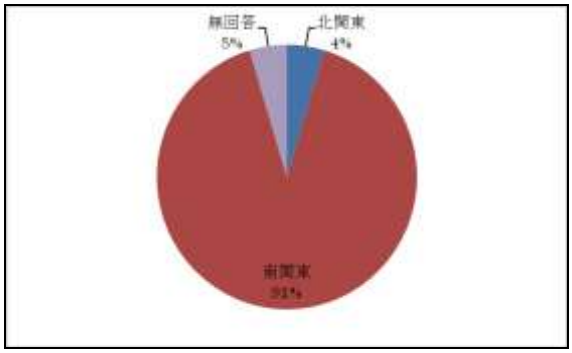
Q22　未既婚



Q22　職業



Q22　居住地



Q22　住所

【アンケート自由意見】

- ガイドが楽しかった。自然がいっぱいある。
- 鳥海山の自然がとても素晴らしい。象潟の日本海の夕陽がみたかった。到着が遅く残念。

- ガイドの案内で分かりやすく楽しかったこと。
- 自然の中で、空気やマイナスイオンが最高だったことを伝えたい。
- 景色の素晴らしさ、象潟のこと、にかほ市のこと、どこにあるのかも知らなかったので地域の歴史等を知り、びっくりしました。案内人さんの話が上手だったと思いますが、自然の素晴らしい場所を歩き、説明を聞きながら進むことで飽きを感じさせない。一度は行ってもらいたい雄大な山々。
- 旅費が安い、思わぬプレゼントもある。
- 東北地方の旅行の募集が少ないので、今回の内容の良さを伝えたい。
- 月山、鳥海山麓の自然はとても満足した。
- ガイドさんの説明がよかった。
- 鬼首温泉は薦めたいし月山、栗駒、鳥海山、獅子ヶ鼻湿原も良かった。
- 鳥海山の湧水と原生林、空気がとてもすがすがしくて気持ちがよいところ。
- 鳥海山の湧水と原生林、あがりこ大王、マリモの自然の力の素晴らしさ。
- 鳥海山麓や獅子ヶ鼻湿原の自然、トレッキング、鳥海山の伏流水が流れ落ちる幽玄の元滝伏流水が良かった。
- 月山の景色、鳥海山の素晴らしさに対し、ガイドが少ししつこい気がした。
- 鳥海山麓や獅子ヶ鼻湿原等は思ったとおりでよかったが、バスでの移動が長く疲れた。宿ももっと近くにないものかと思った。お土産を頂いたが内容を考えてもらいたい。重いもの、かさばるもので帰りの荷物になってしまった。
- 案内人の声が、20 名強のグループだと後の方まで声が届かず聞こえなかった。残念です。何か対策をしてほしいです。
- ホテルでの風呂、シャワーの温度が低すぎ、調整ができない。食事の内容が魚ばかりで野菜が少ない。
- お寺での時間が少なすぎる。
- ホテルのシャワーの水量、温度が不満。
- 食事が魚のみで野菜がほしかった。
- 部屋に着いたとき、一口の菓子があるとよかった。
- お風呂の温度、野菜が少ない、鳥海山地域のネーミングが付けられるとよい。
- 鳥海山では山登りのイメージ、例えば知床半島、裏磐梯、これだけでイメージがつかめる。
- 蚶満寺では時間がなくて残念でした。
- 月山でのガイド説明は木道のため声が聞こえない。
- 郡山からバスではあまりにも遠すぎる。バスの乗車時間が長く疲れる。バスがもっとゆったりしてほしい。
- 参加人数を集めすぎ。
- 夕食は魚などばかりで特に美味しいものはなく、メニューに工夫がほしい。今迄の経験上初めて経験した気持ちでした。

4-7-3　たびのレシピによる主催①　「仙台リビング及び松島町」を対象とした会員及び一般募集

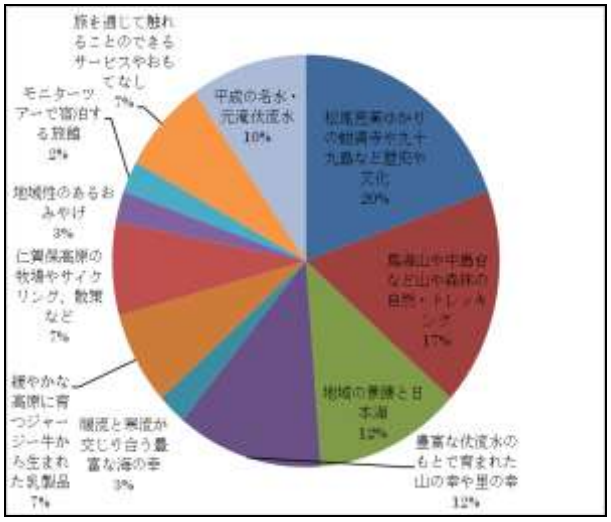
- 日程　　平成 25 年 10 月 19 日（土）～20 日（日）1 泊 2 日
- 催行人数　10 名　（目標人数　40 名）※　アンケート回収枚数　10 枚
- 販売価格　18,900 円（1 部屋 2 人以上で利用する場合）

日次	内容（全行程バスプラン）
10 月 19 日（土）	松島町――仙台駅――（車中弁当）――獅子ヶ鼻湿原――元滝伏流水――蛸満寺――ねむの丘――象潟（泊）
10 月 20 日（日）	象潟――象潟郷土資料館――蛸満寺・九十九島――仁賀保高原・土田牧場（昼食・サイクリング）――ねむの丘――仙台駅――松島町

にかほ市と姉妹関係を結んでいる宮城県松島町と、仙台リビング誌を対象とした募集型企画旅行を仙台に本拠を置く、たびのレシピの主催のもとで実施した。にかほ市の定番箇所を見所に日程を組んだが、人数は 10 名から 12 名の間で推移、結果 10 名に留まった。

【アンケート結果】

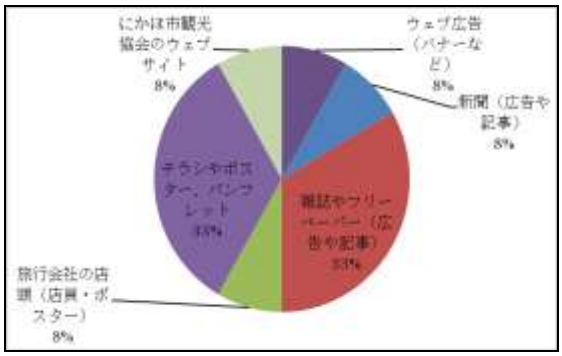
Q1　ツアー前に魅力を感じたこと



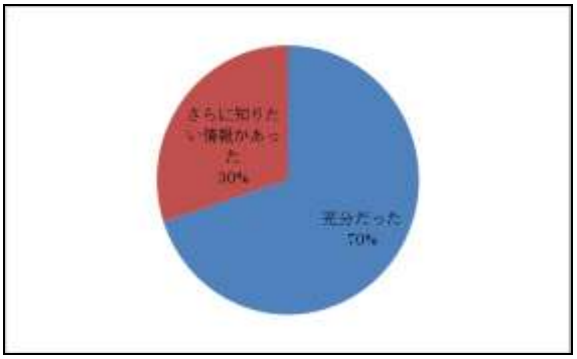
Q2　ツアーに対する期待度

	調査数	とても期待していた	期待していた	やや期待していた	どちらともいえない	あまり期待していなかった	期待していなかった	全く期待していなかった	無回答
（1）旅行先　（秋田県にかほ市）	10	5	4	－	1	－	－	－	－
	100.0	50.0	40.0	－	10.0	－	－	－	－
（2）体験内容	10	2	4	1	2	－	－	－	1
	100.0	20.0	40.0	10.0	20.0	－	－	－	10.0
（3）ツアーのメニュー構成	10	2	7	－	1	－	－	－	－
	100.0	20.0	70.0	－	10.0	－	－	－	－
（4）ツアーの行程（タイムスケジュール）	10	1	5	2	2	－	－	－	－
	100.0	10.0	50.0	20.0	20.0	－	－	－	－
（5）ツアーガイドの案内（説明）	10	3	3	2	1	1	－	－	－
	100.0	30.0	30.0	20.0	10.0	10.0	－	－	－
（6）オプショナルツアー　※記入不要	10	－	－	－	－	－	－	－	10
	100.0	－	－	－	－	－	－	－	100.0
（7）食事	10	1	2	4	2	－	－	－	1
	100.0	10.0	20.0	40.0	20.0	－	－	－	10.0
（8）宿泊施設	10	1	2	5	2	－	－	－	－
	100.0	10.0	20.0	50.0	20.0	－	－	－	－
（9）ツアー以外での旅行先での滞在	10	－	2	1	4	1	－	1	1
	100.0	－	20.0	10.0	40.0	10.0	－	10.0	10.0
（10）地域の人々との交流	10	1	－	2	7	－	－	－	－
	100.0	10.0	－	20.0	70.0	－	－	－	－
（11）コストパフォーマンス	10	1	3	－	5	－	－	－	1
	100.0	10.0	30.0	－	50.0	－	－	－	10.0
（12）総合的に見て	10	1	6	1	1	－	－	－	1
	100.0	10.0	60.0	10.0	10.0	－	－	－	10.0

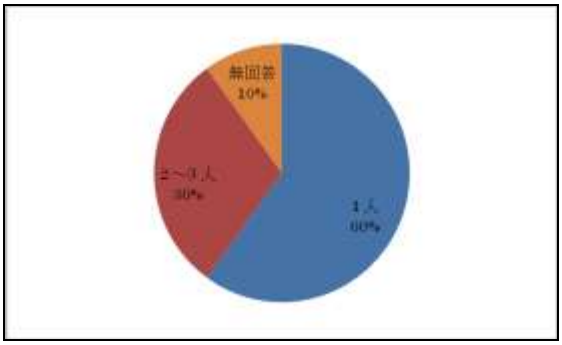
Q3　ツアーの情報源



Q4　ツアー情報の熟度

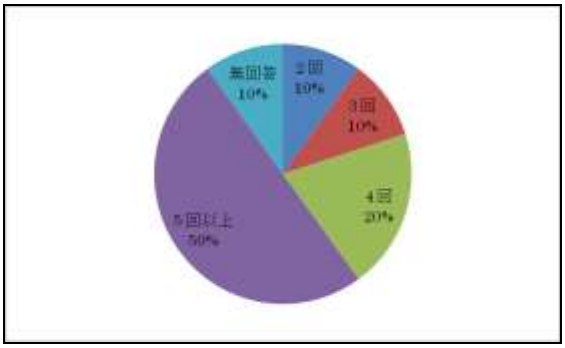


Q5　参加人数

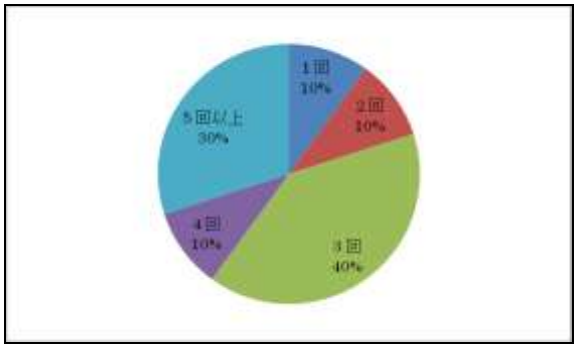


Q6　今回のツアーの参加相手

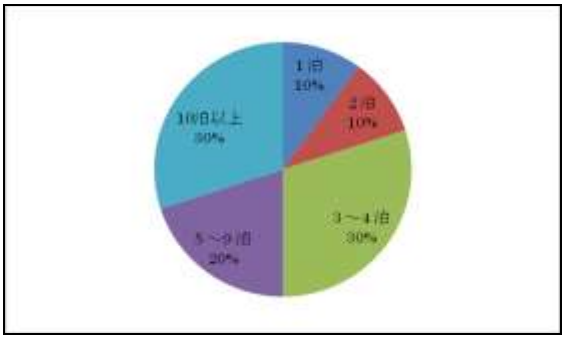
Q7　年間の日帰り旅行回数



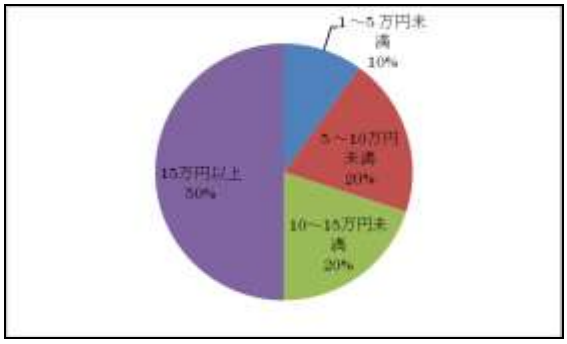
Q7　年間の宿泊旅行回数



Q7　昨年の宿泊数計



Q8　国内旅行での年間支払額

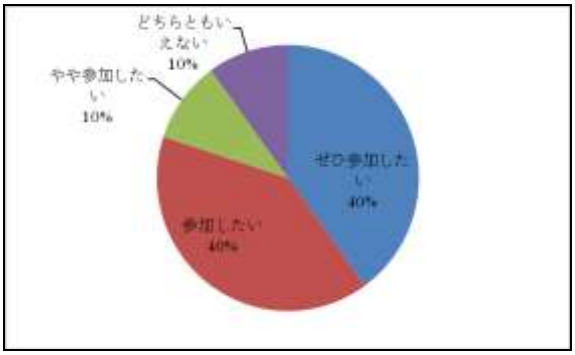


Q9　これまでに参加したことのある地域の観光等のプログラム・ツアー（左）

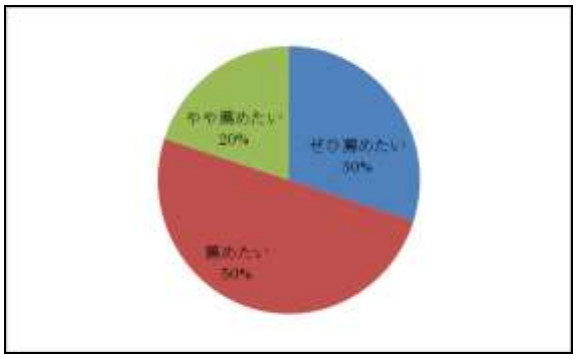
今後参加してみたいと思われる地域の観光等のプログラム・ツアー（右）

| 調査数 | 地域のお土産・特産品を使ったクッキング | 地域の歴史・文化を学ぶテーマ | 地域の食文化を通じて「地域の自然を学ぶ | 地域の自然・ガイドツアー（登山・ハイキングなど） | 地域の伝統・文化を伝承する人材を育成する | 地域の自然・ガイドツアー（海・川・湖・沼・滝・温泉など） | 地域の歴史・文化を学ぶ地域の伝統・文化を伝承する人材を育成する | 地域の歴史・文化を学ぶ地域の伝統・文化を伝承する人材を育成する | 地域の自然・ガイドツアー（農・牧場・畑・田・森・林・里山・里海など） | 地域の自然・ガイドツアー（農・牧場・畑・田・森・林・里山・里海など） | 地域の歴史・文化を学ぶ地域の伝統・文化を伝承する人材を育成する

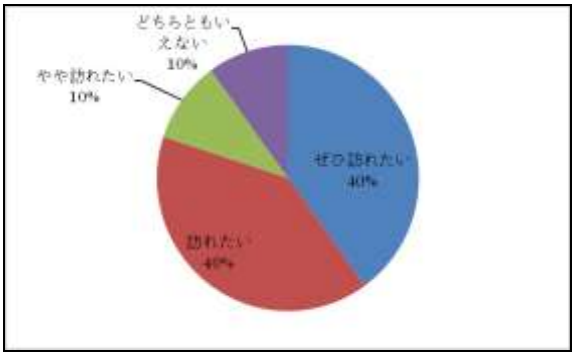
Q14　ツアーへの参加意向



Q15　今回のツアーへの推薦意向



Q16　地域への再訪意識

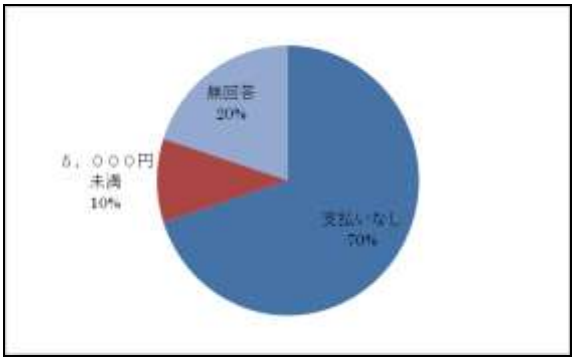


Q17　ツアー中に支払った金額

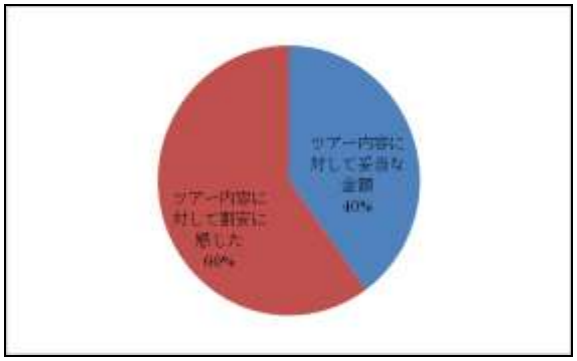
①飲食費（ツアーに組み込まれたもの以外）				②ツアー内で購入したもの				③土産、買い物など当ツアー以外で購入したもの			
調査数	平均	最小値	最大値	調査数	平均	最小値	最大値	調査数	平均	最小値	最大値
7 100.0	1771.4	1000.0	2800.0	6 100.0	5428.0	0.0	20000.0	6 100.0	4400.0	500.0	10000.0

④交通費				⑤その他			
調査数	平均	最小値	最大値	調査数	平均	最小値	最大値
7 100.0	802.9	0.0	5000.0	1 100.0	1000.0	1000.0	1000.0

Q18　ツアーに際し事前にかかった費用



Q19　ツアー代金の値頃感



Q20　今後同様のツアーに参加した場合のツアー代金について

①このツアーについて、いくら位から「高い」と感じはじめるか（円）

調査数	平均	最小値	最大値
9 100.0	23888.9	20000.0	30000.0

②このツアーについて、いくら位から「高すぎて買えない」と感じ始めるか（円）

調査数	平均	最小値	最大値
9 100.0	25333.3	3000.0	40000.0

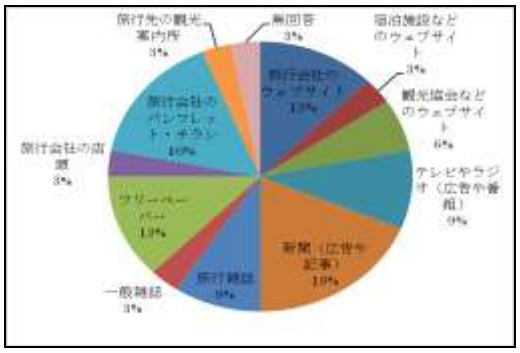
③このツアーについて、いくら位から「安い」と感じはじめるか（円）

調査数	平均	最小値	最大値
9 100.0	17000.0	15000.0	20000.0

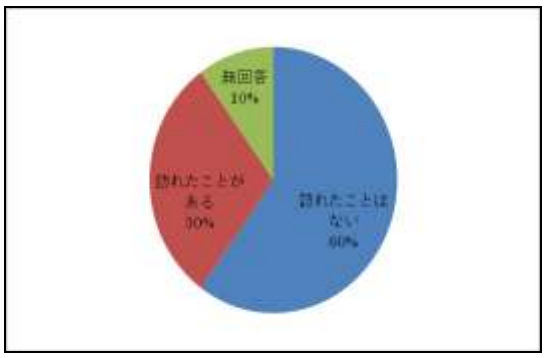
④このツアーについて、いくら位から「安すぎて少し不安」と感じ始めるか（円）

調査数	平均	最小値	最大値
9 100.0	12000.0	10000.0	15000.0

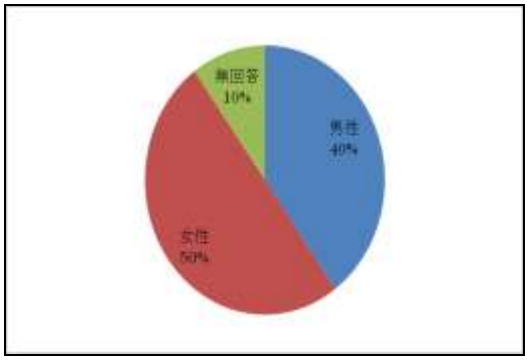
Q21　ツアー情報源で適切と思うもの



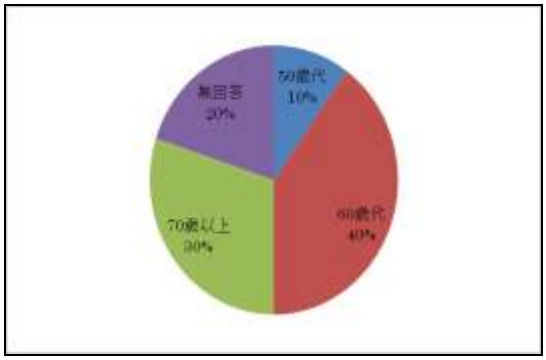
Q22　以前に当該地域への訪問経験



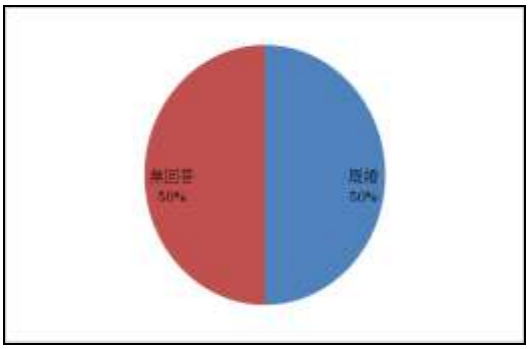
Q22　性別



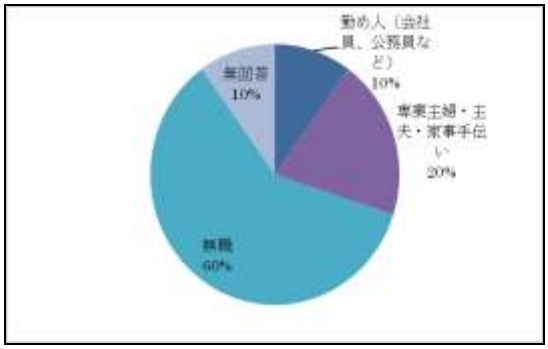
Q22　年齢



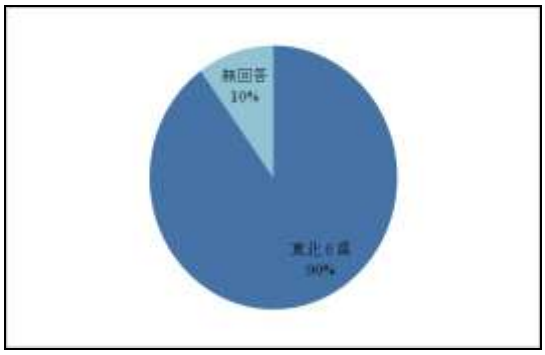
Q22　未既婚



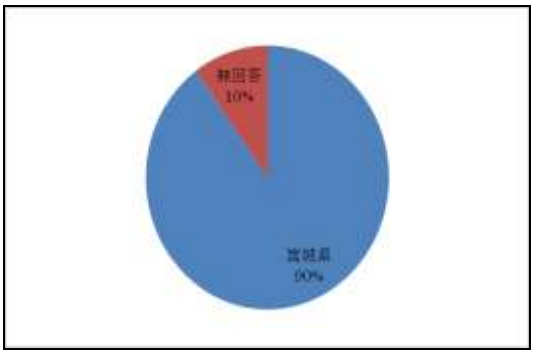
Q22　職業



Q22　居住地



Q22　住所



【アンケート自由意見】

・　大自然の中で木々との対話、豊富な水が溢れて心が豊かに癒される。若返りが図れそうな気持ちになる。 ・　360 度自然環境の素晴らしさ、その環境保持に努力してらっしゃる地元の方々の熱意、モニターツアーと

いうことである程度想像しておりましたが遥かに手厚い受入態勢でした。

- 自然が多く残っていて癒されました。異形のぶなの木にもびっくりしたので、友人にも是非みてほしいと思いました。
- 獅子ヶ鼻湿原の自然環境の素晴らしさと神秘的な面、地域の歴史、文化の面が印象に残った。
- 秋田のにかほ地方は、未知の場所で、今まで何も情報を持っていませんでした。そのため珍しいことが多く、楽しいことも多かったです。夕陽が少し雲に隠れて紅くなかったのが残念。でもお勧めです。
- 九十九島、蚶満寺、夕陽と日本海、伏流水、コーレン物語に興味。飛島に渡りたい。
- 天然記念物や名勝一日跡を訪ね、自然に触れることができ、心身ともに癒される旅だった。
- 散策で心が癒されるので、他の人たちも日頃の疲れを是非取りに行ってほしいです。
- 景観が良く、食事も美味しい。
- 訪問客の増加を図るのでしたら、最大の集客力のある首都圏をターゲットにすべきでしょうが、仙台からでさえ、太平洋から日本海へ山脈を越え、良い意味で遥々という感じです。
- 首都圏のどこがにかほに合い、アピールしやすいかを絞って勧めたらよいと思います。

4-7-4　たびのレシピによる主催②　「ANA グループ」を対象とした組織内募集（催行中止）

- 日程　　平成 25 年 10 月 19 日（土）～20 日（日）　1 泊 2 日
- 催行人数　0 名　（目標人数　10 名）
- 販売価格　15,000 円（レンタカープラン）　27,000 円（ハイヤープラン）

日次	内容（全行程レンタカープラン）
10 月 19 日（土）	秋田空港――ねむの丘～（ガイドツアー）――にかほ市内（泊） ※ガイドツアー①九十九島・蚶満寺コース or②仁賀保高原（風力発電）コース
10 月 20 日（日）	にかほ市内――（ガイドツアー）～ねむの丘――秋田空港 ※ガイドツアー①獅子ヶ鼻湿原コース or②大竹集落とガーデンコース

日次	内容（全行程ハイヤープラン）
10 月 19 日（土）	秋田空港――ねむの丘～（3 つのコースより選択）――にかほ市内（泊） ①　キッチン魚屋さん（昼食）―飛良泉酒造―仁賀保高原 ②　ボンボニエール（昼食）－郷土資料館―九十九島・蚶満寺 ③　大竹集落とガーデンめぐりとイチジク狩り体験
10 月 20 日（日）	にかほ市内――獅子ヶ鼻湿原――白滝旅館（昼食）――元滝伏流水・奈曽の滝――ねむの丘――秋田空港

唯一の個人旅行を対象とした組織内募集であったが、催行中止となった。ANA グループ内で募集を行った際も反応は見られず、そのまま推移した。今回個人旅行を企画するにあたり、中型バスを利用した場合に参加人数によって旅行単価が高くなってしまうことや、域内交通の未成熟性を鑑みレンタカープラン及びハイヤープランでの設定に至ったが、認知度が低い地域を対象とする場合、観光客は不明瞭な地域をレンタカーで周遊することにやや抵抗を感じることがわかった。ハイヤープランもまた料金設定の点より単価が高くなることから、敬遠された。今後旅行商品を企画するにあたり、課題が多く残る結果となった。

今回、ANA 総研が事務局であるにも関わらず、本モニターツアーについて集客に至らなかったことは、不徳の致すところである。認知度の低い地域への誘客に対しては、何よりも都市部における旅行者を含めた消費者の社会傾向性と地域個性を重ねたテーマからの訴求が必要であるが、今回のモニターツアーでは唯一の個人旅行であったため、二次交通対策や道の駅の拠点化等様々な地域課題への対応や意見を採り入れ、結果的に地域性の薄れた特徴のないプランを提供することとなった。この部分については反省し、今後の活動に生かしていきたい。

4-7-5　にかほ市観光協会による主催　街道研究会（催行中止）

- 日程　　平成 25 年 10 月 5 日（土）～6 日（日）　1 泊 2 日
- 催行人数　0 名　（目標人数　30 名）
- 販売価格　15,000 円（1 部屋 3 人以上で利用する場合）

日次	内容（全行程バスプラン）
10 月 5 日（土）	ねむの丘（にかほ市内）――三崎旧街道――象潟郷土資料館――九十九島・蚶満寺――はまなず（泊）
10 月 6 日（日）	はまなす――獅子ヶ鼻湿原――元滝伏流水――ねむの丘（にかほ市内）

九十九島を対象に松尾芭蕉の足跡を辿る街道めぐりを趣味とした組織に対し募集を実施した。にかほ市のねむの丘を出発地とし、観光協会が主催実施することができるツアーとしたが、催行中止となった。

以上のとおり 5 つの設定及び 3 つの催行内容を記述した。将来的な目標は、にかほ市観光課と観光協会が連携し、各旅行会社との企画調整及び造成、手配、実施、精算まで行うことができるようにすることである。にかほ市及び隣接市町村を対象に募集型企画旅行を実施するもの以外は、主催する旅行会社と役割分担を行い、ユニットで卸販売することや個別で手配することなど、汎用性の高い業務が発生する。今回は観光課及び目利きとして派遣されている ANA 総合研究所が中心となり各旅行会社と一連の業務を行ったが、今後は観光課と観光協会との補完関係を行いつつ、旅行業務の調整を行う必要がある。限られた時間の中での役割分担や分担に伴う各個人スタッフへのコーチングも実施しなければならない。

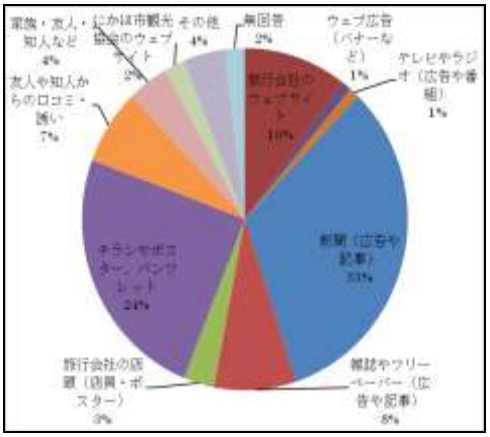
4-7-6　3 つの催行ツアー集計から

催行された 3 つのツアーを対象に、アンケート結果（80 名）を纏めたものは以下のとおりである。

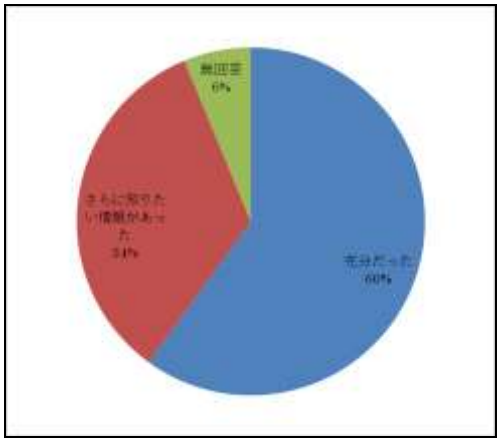
○ツアーに対する期待度

	調査数	とても期待していた	期待していた	やや期待していた	どちらともいえない	あまり期待していなかった	期待していなかった	全く期待していなかった	無回答
（1）旅行先　（秋田県にかほ市）	80	20	40	5	7	4	1	1	2
	100.0	25.0	50.0	6.3	8.8	5.0	1.3	1.3	2.5
（2）体験内容	80	16	24	13	9	2	-	-	16
	100.0	20.0	30.0	16.3	11.3	2.5	-	-	20.0
（3）ツアーのメニュー構成	80	17	34	16	8	-	-	-	5
	100.0	21.3	42.5	20.0	10.0	-	-	-	6.3
（4）ツアーの行程（タイムスケジュール）	80	9	33	13	15	-	-	-	10
	100.0	11.3	41.3	16.3	18.8	-	-	-	12.5
（5）ツアーガイドの案内（知識）	80	15	37	17	5	3	-	-	3
	100.0	18.8	46.3	21.3	6.3	3.8	-	-	3.8
（6）オプショナルツアー　※記入不要	80	-	-	-	-	-	-	-	80
	100.0	-	-	-	-	-	-	-	100.0
（7）食事	80	12	30	15	9	6	-	-	8
	100.0	15.0	37.5	18.8	11.3	7.5	-	-	10.0
（8）宿泊施設	80	6	28	19	9	6	1	-	11
	100.0	7.5	35.0	23.8	11.3	7.5	1.3	-	13.8
（9）ツアー以外での旅行先での滞在	80	5	13	9	12	5	1	2	33
	100.0	6.3	16.3	11.3	15.0	6.3	1.3	2.5	41.3
（10）地域の人々との交流	80	4	5	11	25	6	1	1	27
	100.0	5.0	6.3	13.8	31.3	7.5	1.3	1.3	33.8
（11）コストパフォーマンス	80	2	18	10	16	4	-	-	30
	100.0	2.5	22.5	12.5	20.0	5.0	-	-	37.5
（12）総合的に見て	80	8	41	15	6	-	1	-	9
	100.0	10.0	51.3	18.8	7.5	-	1.3	-	11.3

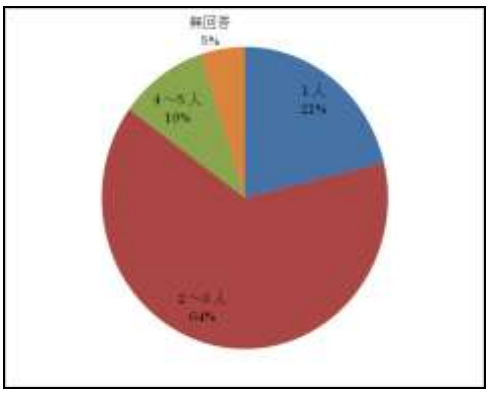
○ツアーの情報源



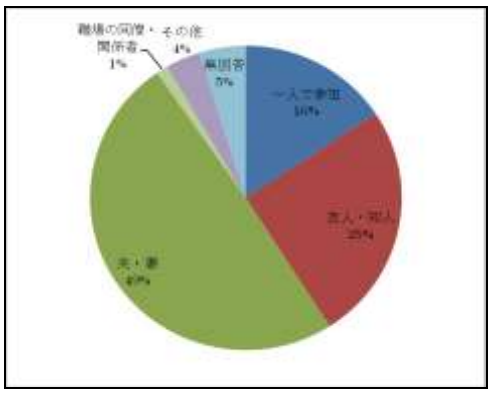
○ツアー情報の熟度



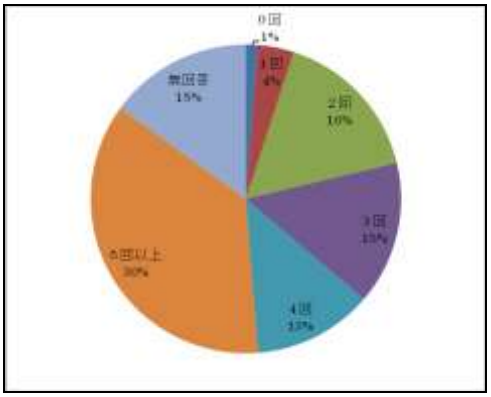
○参加人数



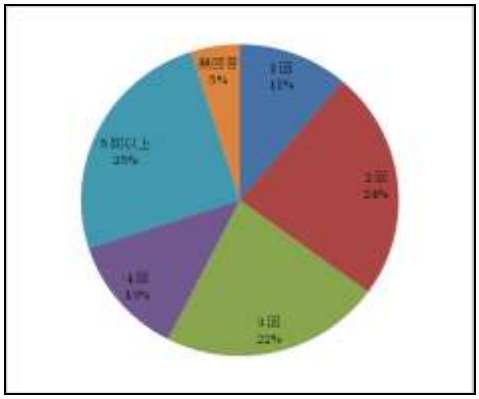
○今回のツアーの参加相手



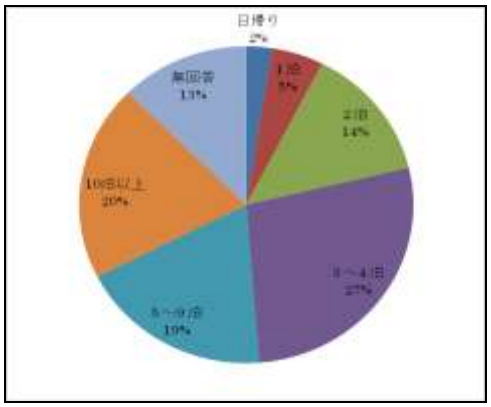
○年間の日帰り旅行回数



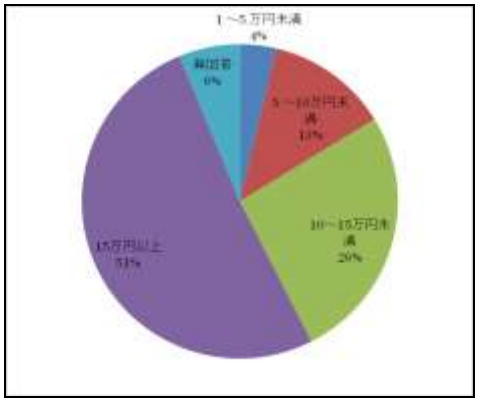
○年間の宿泊旅行回数



○昨年の宿泊数計



○国内旅行での年間支払額



○これまでに参加したことのある地域の観光等のプログラム・ツアー（左）

今後参加してみたいと思われる地域の観光等のプログラム・ツアー（右）

調査数		
88	100.0	
（1）地域の自然、気候を活かしたスポーツ参加を目的としたプログラム	-	-
（2）趣味のスポーツに縁のある地域や気候の合った地域での合宿プログラム	2	2.3
（3）自然のアイルランドでのトレッキング・登山などのガイドツアー	31	35.2
（4）自然の中での穏やかな体験を通して、自然を学ぶプログラム	28	31.8
（5）地域の歴史をテーマに建築の史跡などを巡るプログラム	38	43.2
（6）地域の伝統的文化を楽しむ歩きなどを通して学ぶプログラム	37	42.0
（7）地域の伝統工芸等をガイドなどの説明を聞いたりお話しながら学ぶプログラム	18	20.5
（8）ワイナリーの訪問と地域の食などを楽しむプログラム	35	39.8
（9）日本酒の酒蔵訪問と地域の食などを楽しむプログラム	27	30.7
（10）地域の食材を楽しむプログラム	15	17.0
（11）地域の伝統料理を楽しむプログラム	13	14.8
無回答		

調査数		
93	100.0	
（1）地域の自然、気候を活かしたスポーツ参加を目的としたプログラム	-	-
（2）趣味のスポーツに縁のある地域や気候の合った地域での合宿プログラム	4	4.3
（3）自然のアイルランドでのトレッキング・登山などのガイドツアー	39	42.0
（4）自然の中での穏やかな体験を通して、自然を学ぶプログラム	38	41.0
（5）地域の歴史をテーマに建築の史跡などを巡るプログラム	37	40.0
（6）地域の伝統的文化を楽しむ歩きなどを通して学ぶプログラム	47	51.0
（7）地域の伝統工芸等をガイドなどの説明を聞いたりお話しながら学ぶプログラム	29	31.2
（8）ワイナリーの訪問と地域の食などを楽しむプログラム	17	21.0
（9）日本酒の酒蔵訪問と地域の食などを楽しむプログラム	19	20.5
（10）地域の食材を楽しむプログラム	34	42.0
（11）地域の伝統料理を楽しむプログラム	33	41.0
無回答		

（1）地域の自然、気候を活かしたスポーツ参加を目的としたプログラム	-	-
（2）趣味のスポーツに縁のある地域や気候の合った地域での合宿プログラム	2	2.6
（3）自然のアイルランドでのトレッキング・登山などのガイドツアー	31	39.8
（4）自然の中での穏やかな体験を通して、自然を学ぶプログラム	28	35.9
（5）地域の歴史をテーマに建築の史跡などを巡るプログラム	34	43.6
（6）地域の伝統的文化を楽しむ歩きなどを通して学ぶプログラム	33	42.3
（7）地域の伝統工芸等をガイドなどの説明を聞いたりお話しながら学ぶプログラム	18	23.1
（8）ワイナリーの訪問と地域の食などを楽しむプログラム	32	41.0
（9）日本酒の酒蔵訪問と地域の食などを楽しむプログラム	27	34.6
（10）地域の食材を楽しむプログラム	15	19.2
（11）地域の伝統料理を楽しむプログラム	13	16.7
無回答		

（1）地域の自然、気候を活かしたスポーツ参加を目的としたプログラム	-	-
（2）趣味のスポーツに縁のある地域や気候の合った地域での合宿プログラム	4	5.1
（3）自然のアイルランドでのトレッキング・登山などのガイドツアー	34	43.6
（4）自然の中での穏やかな体験を通して、自然を学ぶプログラム	33	42.3
（5）地域の歴史をテーマに建築の史跡などを巡るプログラム	33	42.3
（6）地域の伝統的文化を楽しむ歩きなどを通して学ぶプログラム	41	52.6
（7）地域の伝統工芸等をガイドなどの説明を聞いたりお話しながら学ぶプログラム	29	37.2
（8）ワイナリーの訪問と地域の食などを楽しむプログラム	17	21.8
（9）日本酒の酒蔵訪問と地域の食などを楽しむプログラム	19	24.4
（10）地域の食材を楽しむプログラム	34	43.6
（11）地域の伝統料理を楽しむプログラム	33	42.3
無回答		

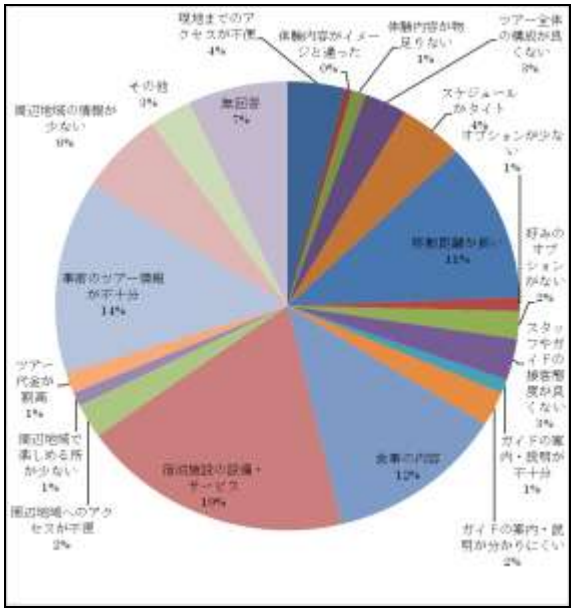
（1）地域の自然、気候を活かしたスポーツ参加を目的としたプログラム	18	12.5
（2）地域の豊かな自然環境等を利用して、美容や健康増進等を目的としたプログラム	31	21.5
（3）豊かな自然環境の中でゆったりと過ごすリゾートプログラム	38	26.4
（4）ヴィ湖沼などと温泉などを目的としたプログラム	32	22.2
（5）ローカル線などと鉄道のもの乗しむためのプログラム	31	21.5
（6）カメラでの撮影を目的としたまち歩き等のプログラム	4	2.8
（7）地域での文化・イベントの企画と地域での要求を組み合わせたプログラム	13	9.0
（8）農林漁村や田舎での生活体験プログラム	1	0.7
（9）乗馬やドラマのロケ地・アニメのモデルとなったスポットを巡るプログラム	5	3.5
（10）ゴルフ場などを利用した体験プログラム	1	0.7
（11）地域産業の見学やビジネス・学術交流などを目的としたプログラム	4	2.8
（12）地域産業生産性化を目的としたボランティアプログラム	1	0.7
無回答	17	11.8

（1）地域の自然、気候を活かしたスポーツ参加を目的としたプログラム	23	24.7
（2）地域の豊かな自然環境等を利用して、美容や健康増進等を目的としたプログラム	33	35.5
（3）豊かな自然環境の中でゆったりと過ごすリゾートプログラム	44	47.3
（4）ヴィ湖沼などと温泉などを目的としたプログラム	44	47.3
（5）ローカル線などと鉄道のもの乗しむためのプログラム	40	43.0
（6）カメラでの撮影を目的としたまち歩き等のプログラム	7	7.5
（7）地域での文化・イベントの企画と地域での要求を組み合わせたプログラム	29	31.2
（8）農林漁村や田舎での生活体験プログラム	12	12.9
（9）乗馬やドラマのロケ地・アニメのモデルとなったスポットを巡るプログラム	9	10.0
（10）ゴルフ場などを利用した体験プログラム	5	5.3
（11）地域産業の見学やビジネス・学術交流などを目的としたプログラム	7	8.0
（12）地域産業生産性化を目的としたボランティアプログラム	8	8.6
無回答	9	10.1

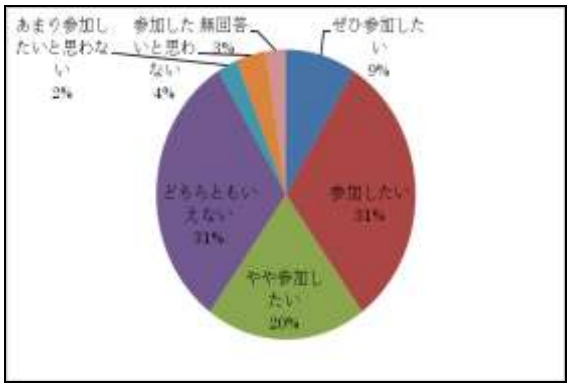
○ツアーに対する満足度

	調査数	とても満足した	満足した	やや満足した	どちらともいえない	あまり満足しなかった	満足しなかった	全く満足しなかった	無回答
（1）旅行先（秋田県に対する）	69	20	34	14	8	1	－	－	5
	100.0	29.0	49.3	17.5	8.3	1.3	－	－	7.5
（2）体験内容	69	13	29	12	8	－	－	－	10
	100.0	18.8	35.9	15.0	10.0	－	－	－	23.0
（3）ツアーのメニュー構成	69	13	29	18	9	2	－	1	8
	100.0	18.8	36.3	22.5	11.3	2.5	－	1.3	18.0
（4）ツアーの行程（タイムスケジュール）	69	5	23	26	9	5	1	1	10
	100.0	6.3	28.8	32.5	11.3	6.3	1.3	1.3	12.5
（5）ツアーガイドの案内（解説）	69	22	36	11	2	3	－	－	6
	100.0	27.5	45.0	13.8	2.5	3.8	－	－	7.5
（6）オプショナルツアー　※記入不要	69	－	－	－	－	－	－	－	80
	100.0	－	－	－	－	－	－	－	100.0
（7）食事	69	6	22	22	7	6	6	1	10
	100.0	8.0	27.5	27.5	8.8	7.5	10.0	1.3	12.5
（8）宿泊施設	69	3	14	18	15	12	5	6	7
	100.0	3.8	17.5	22.5	18.8	15.0	6.3	7.5	8.8
（9）ツアー以外での旅行先での滞在	69	－	11	11	13	1	1	－	43
	100.0	－	13.8	13.8	16.3	1.3	1.3	－	53.8
（10）地域の人々との交流	69	2	12	11	22	3	1	－	29
	100.0	2.5	15.0	13.8	27.5	3.8	1.3	－	36.3
（11）コストパフォーマンス	69	2	10	14	15	4	－	－	35
	100.0	2.5	12.5	17.5	18.8	5.0	－	－	43.8
（12）総合的に見て	69	4	19	20	8	3	－	－	12
	100.0	5.0	27.5	25.0	10.0	3.8	－	－	15.0

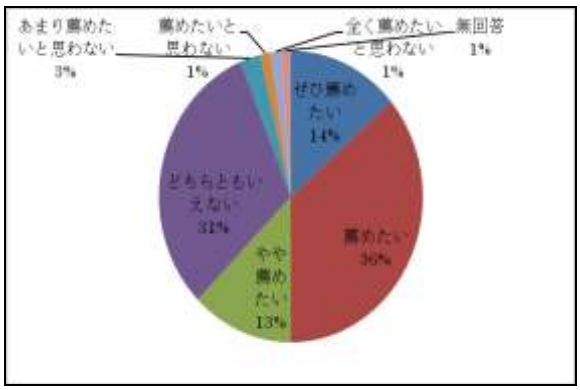
○ツアーで満足しなかった点



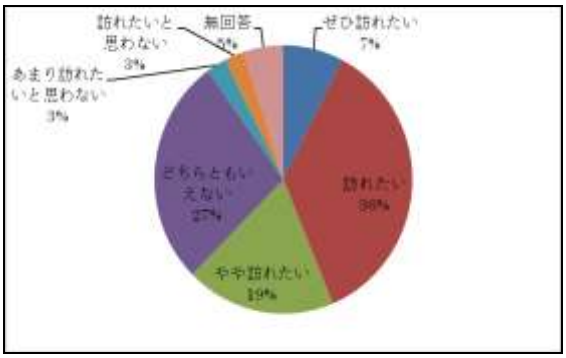
○ツアーへの参加意向



○今回のツアーへの推薦意向



○地域への再訪意識



○ツアー中に支払った金額

①昼食費（ツアーに組み込まれたもの以外）

調査数	平均	最小値	最大値
67	1100.0	0.0	1000.0
100.0			

②ツアー内で購入したもの

調査数	平均	最小値	最大値
58	500.0	0.0	2000.0
100.0			

③土産・買い物など（ツアー以外で購入したもの

調査数	平均	最小値	最大値
58	700.0	0.0	2500.0
100.0			

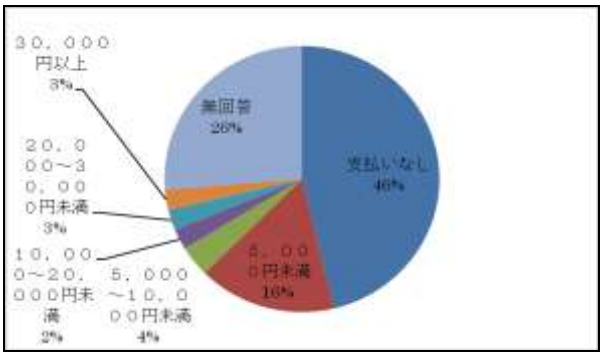
④宿泊費

調査数	平均	最小値	最大値
61	1172.1	0.0	5000.0
100.0			

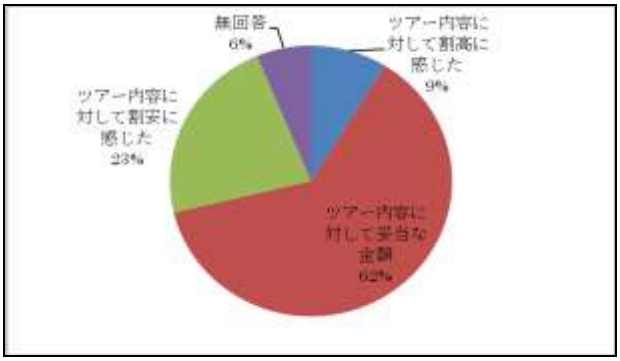
⑤その他

調査数	平均	最小値	最大値
1	100.0	0.0	100.0
100.0			

○ツアーに際し事前にかかった費用



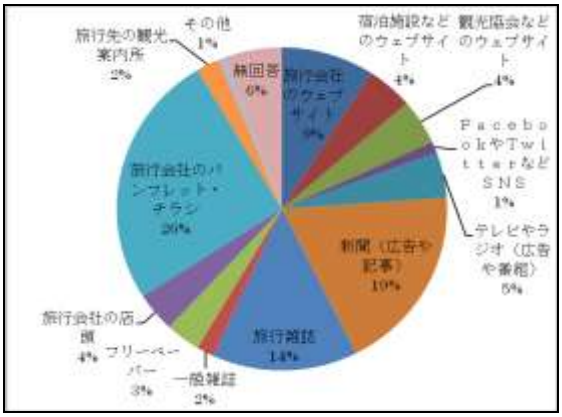
○ツアー代金の値頃感



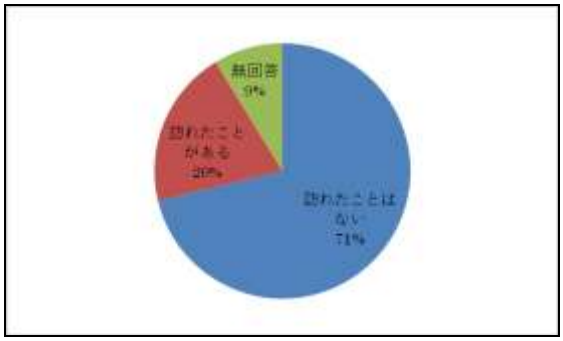
○今後同様のツアーに参加した場合のツアー代金について

①このツアーについて、いくら位から「高い」と感じはじめるか（円）				②このツアーについて、いくら位から「高すぎて買えない」と感じ始めるか（円）			
調査数	平均	最小値	最大値	調査数	平均	最小値	最大値
57 100.0	31430.6	4000.0	60000.0	51 100.0	34235.3	3000.0	80000.0
③このツアーについて、いくら位から				④このツアーについて、いくら位から			
調査数	平均	最小値	最大値	調査数	平均	最小値	最大値
51 100.0	23352.9	10000.0	40000.0	46 100.0	19543.5	5000.0	40000.0

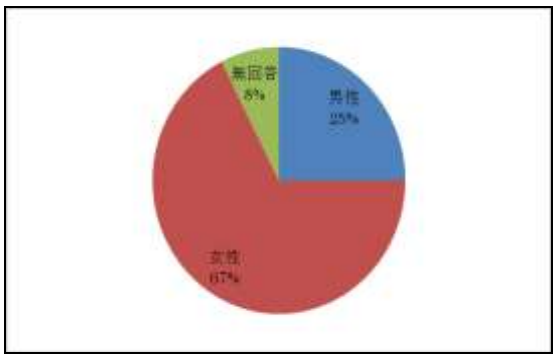
○ツアー情報源で適切と思うもの



○以前に当該地域への訪問経験

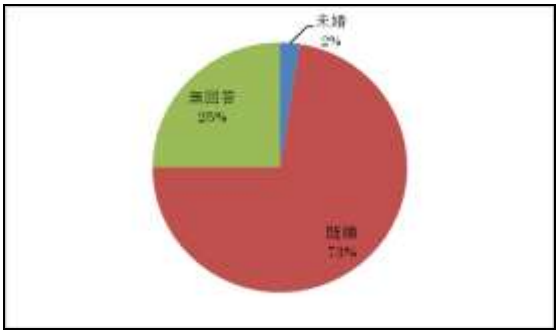


○性別

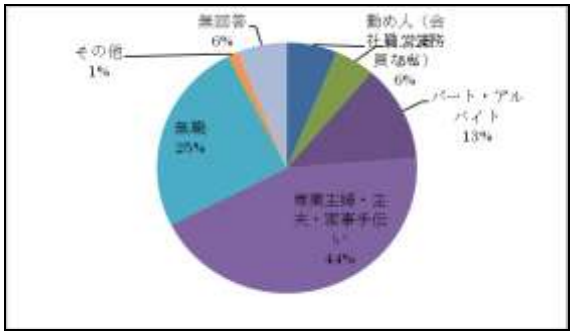


○年齢

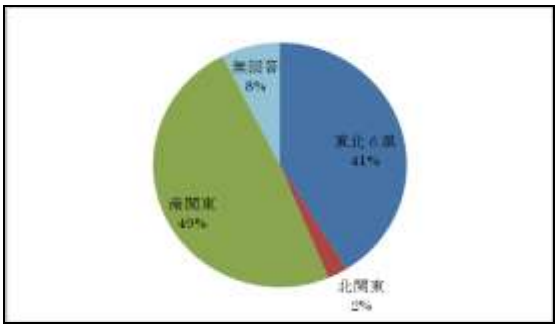
○未既婚



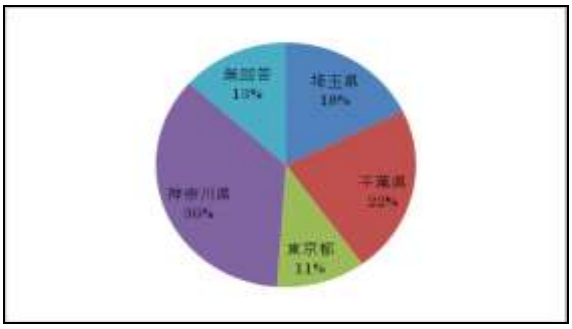
○職業



○居住地



○住所



今回の参加者が全員 50 歳以上となっており、ターゲットに掲げたシニア層については検証ができるが、20 代から 40 代の女性や子育て世代の夫婦などについては、結果を得ることができなかったため、女性については一般社会性からその傾向性をみることとしたい。

今回のツアーに際しては、6 割以上の参加者が告知段階から期待していたとされる。また結果的にも 7 割以上の参加者から満足した評価を得ることができ、地域全体への評価に繋げることができたと思われる。しかしながらツアー毎にみると、九十九島に一定の評価はありつつも、獅子ヶ鼻湿原を評価する数の方が上回る傾向が見られる。

また細部では、食事内容や宿泊施設でのサービス、到達時間の長さ、事前の情報提供を不十分に感じる層が 10%～20%ほどのシェアを占めているため、地域性のあるメニューの採用やおもてなし、到達系路上におけるコンテンツの検討、媒体を含み求められる情報の見直し等を図らなければならない。

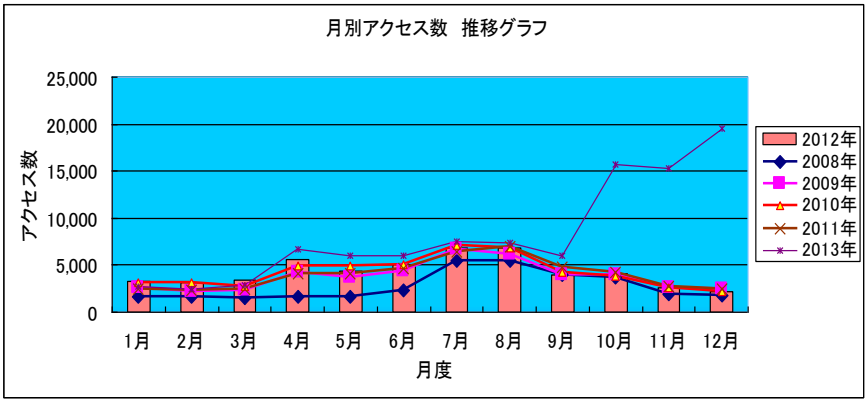
今回のモニターツアーでは、グラフ統計もさることながら、参加者が記述した内容に多くのヒントをみることができる。これらはシニア層に限定された内容ではなく、若年層が訪れても同様に感じたものと思われる内容である。誘客に関する基礎的事項を一つ一つ対応しなければ、発展事項に取り掛かることも難しい。

4-8　効果指標

モニターツアー事業を通じて告知を行ったが、主な指標は以下のとおりとなった。

●ツアー認知度の向上

○ホームページアクセス数



モニターツアー開始前のホームページリニューアル後にアクセス数が大幅に上昇。

○　本事業開始後の観光協会 facebook アクセス数の推移

事業開始後は夏から秋を中心にアクセス数が伸びた。

月	アクセス数	コメント数	月	アクセス数	コメント数
6	４８７	１７	１０	６０５	6
7	９１５	２４	１１	３８３	１２
8	５９８	２２	１２	３９７	１１
9	６０８	１０	計	３，９９３	１０２

○　タビカレホームページへのアクセス数

最終的なアクセス数は 345 となり、総合ランク 70 件中 58 位、行きたいランク 78 件中 33 位（東北運輸局管内では 12 件中 2 位）であった。

○　インターネットシステム導入（10 月）後の予約件数の推移（平成 24 年は電話予約対応）

インターネット予約システムの導入後は前年比 115%で推移しているものの、効果についてはもう少し経過をみる必要がある。

平成 24 年	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月
旅館はまなす	２４	１７	１７	9	１５
旅館サン・ねむの木	5	3	1	2	0
平成 25 年	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月
旅館はまなす	２６	３０	4	１９	１６
旅館サン・ねむの木	8	1	2	0	1

※　上記 2 施設以外でのインターネット予約件数は 1 件のみ

●入込客数の増加

モニターツアー実施後の 3 カ月で比較した場合、前年比 94.4%の入込となっているが、モニターツアーで選定したスポットの土田牧場、ひばり荘、蚶満寺、元滝等では大きく入込客数が伸びている。

観　光　客　数

	H24				H25				比較			
	10月	11月	12月	合計	10月	11月	12月	合計	10月	11月	12月	合計
土田牧場	5,000	1,000	150	6,150	15,000	2,000	100	17,100	10,000	1,000	-50	10,950
フェライト子ども科学館	2,926	3,423	1,239	7,588	0	0	1,275	1,275	-2,926	-3,423	36	-6,313
仁賀保運動公園	1,000	500	100	1,600	1,000	250	80	1,330	0	-250	-20	-270
ひばり荘	1,819	277	0	2,096	2,436	279	0	2,715	617	2	0	619
白瀬南極探検隊記念館	1,545	1,365	256	3,166	1,498	1,003	238	2,739	-47	-362	-18	-427
はまなす	11,379	13,300	13,989	38,668	11,760	13,245	15,964	40,969	381	-55	1,975	2,301
金浦温泉	6,174	5,183	4,712	16,069	7,124	3,593	3,372	14,089	950	-1,590	-1,340	-1,980
勝平公園・南展公園	800	600	400	1,800	750	500	360	1,610	-50	-100	-40	-190
TDKスポーツセンター(温水プール含)	2,771	1,562	660	4,993	2,750	1,434	650	4,834	-21	-128	-10	-159
鳥海ゴルフ	670	309	84	1,063	0	0	0	0	-670	-309	-84	-1,063
鳥海山・蚶立	35,000	0	0	35,000	23,275	0	0	23,275	-11,725	0	0	-11,725
元滝	3,500	1,000	500	5,000	8,000	900	400	9,300	4,500	-100	-100	4,300
象潟の白倉	2,500	800	500	3,800	2,550	800	400	3,750	50	0	-100	-50
金浦海岸	800	500	200	1,500	650	400	160	1,210	-150	-100	-40	-290
蚶満寺	2,000	600	300	2,900	4,300	1,000	240	5,540	2,300	400	-60	2,640
ビジターセンター	1,980	0	0	1,980	1,317	0	0	1,317	-663	0	0	-663
観光情報センター	58,996	38,170	26,694	123,860	50,593	32,339	27,451	110,383	-8,403	-5,831	757	-13,477
中島台レクリエーションの森	9,306	948	0	10,254	7,898	1,118	0	9,016	-1,408	170	0	-1,238
三崎公園	2,598	1,101	0	3,699	1,568	1,133	0	2,701	-1,030	32	0	-998
鳥山老公園	1,029	336	0	1,365	774	282	0	1,056	-255	-54	0	-309
象潟川河川公園	702	180	0	882	717	112	0	829	15	-68	0	-53
海洋センター	3,081	3,123	2,705	8,909	3,458	3,144	3,119	9,721	377	21	414	812
サンねむの木	1,460	1,992	1,959	5,411	1,274	2,152	1,441	4,867	-186	160	-518	-544
鮎原荘	1,541	1,497	1,194	4,232	1,575	1,569	1,401	4,545	34	72	207	313
ねむの丘	12,525	6,442	7,657	26,624	11,026	6,600	9,181	26,807	-1,499	158	1,524	183
	171,102	84,208	63,299	318,609	161,293	78,853	65,832	305,978	-9,809	-10,355	2,533	-17,631

（にかほ市資料　単位：人）

●宿泊者数の増加

モニターツアー実施後の 3 カ月で比較した場合、前年比 103.6%となっているものの、大幅に宿泊客数が減少している施設もある。

宿　泊　者　数

	H24					H25					比較			
	10月	11月	12月	合計		10月	11月	12月	合計		10月	11月	12月	合計
いち丸	849	538	402	1,789	いち丸	915	635	649	2,199	いち丸	66	97	247	410
ホテルエクセルキクスイ	849	627	508	1,984	ホテルエクセルキクスイ	1,035	786	577	2,398	ホテルエクセルキクスイ	186	159	69	414
松風荘別館	89	10	6	105	松風荘別館	18	31	7	56	松風荘別館	-71	21	1	-49
佐藤別館	39	13	108	160	佐藤別館	97	377	104	578	佐藤別館	58	364	-4	418
金峰荘 学校の宿	393	194	161	748	金峰荘 学校の宿	412	286	132	830	金峰荘 学校の宿	19	92	-29	82
齊藤別館	20	182	17	219	齊藤別館	18	136	29	183	齊藤別館	-2	-46	12	-36
農業体験センター(はまなす)	829	536	818	2,183	農業体験センター(はまなす)	860	770	553	2,183	農業体験センター(はまなす)	31	234	-265	0
たつみ観光ホテル	511	464	434	1,409	たつみ観光ホテル	628	447	279	1,354	たつみ観光ホテル	117	-17	-155	-55
山形屋別館	80	67	43	190	山形屋別館	40	23	18	81	山形屋別館	-40	-44	-25	-109
ホテルシティパレス	165	86	48	299	ホテルシティパレス	104	42	48	194	ホテルシティパレス	-61	-44	0	-105
しなの別館	78	58	53	189	しなの別館	85	44	65	194	しなの別館	7	-14	12	5
魚屋シーサイドホテル	682	404	221	1,307	魚屋シーサイドホテル	644	192	251	1,087	魚屋シーサイドホテル	-38	-212	30	-220
サン・ねむの木	440	255	276	971	サン・ねむの木	376	310	179	865	サン・ねむの木	-64	55	-97	-106
海鮮茶屋庄	426	385	208	1,019	海鮮茶屋庄	447	391	321	1,159	海鮮茶屋庄	21	6	113	140
ホテル＆コテージ潮騒い	212	233	119	564	ホテル＆コテージ潮騒い	209	244	98	551	ホテル＆コテージ潮騒い	-3	11	-21	-13
ろふう荘日本海	42	0	0	42	ろふう荘日本海	25	0	0	25	ろふう荘日本海	-17	0	0	-17
青水屋別館	5	1	4	10	青水屋別館	1	1	10	12	青水屋別館	-4	0	6	2
松本別館	41	27	5	73	松本別館	37	39	31	107	松本別館	-4	12	26	34
白倉別館	294	130	17	411	白倉別館	93	35	12	110	白倉別館	-201	-95	-5	-301
鎌見庄	181	86	78	345	鎌見庄	182	93	87	362	鎌見庄	1	7	9	17
	6,195	4,206	3,526	14,017		6,196	4,882	3,450	14,528		1	586	-76	511

（にかほ市資料　単位：人）

●送客したツアー客による地域での消費額や支出対象の広がり

道の駅「ねむの丘」の実績では、売上が前年比 93.4%となっており、消費額の増加にはさらなる工夫が求められる。

	10月	11月	12月	合計
H24	59,421,379	39,386,569	25,776,127	124,584,075
H25	52,014,694	37,319,867	27,084,980	116,419,541
差額	▲ 7,406,685	▲ 2,066,702	1,308,853	▲ 8,164,534

（にかほ市資料　単位：円）

●ターゲット層の増加

今年度、20 代~40 代の女性、子育て世代の夫婦、シニア層については実績を取ることができなかったため、次年度は、いずれのターゲットにも共通する「女性」をテーマにその属性を調査することで、対応を図りたい。

●新規ツアーやイベント等の造成件数

新規ツアーの設定はなく、従来の実施イベント 3 件を比較したところ、前年比 117.0%の入込となった。

イベント名	日にち	H24	H25	差
鳥海山グルッと一周MTBサイクリング	10月13日	3,500	6,200	2,700
白瀬中尉をしのぶ集い	1月28日	2,000	750	▲ 1,250
掛魚まつり	2月4日	6,000	6,500	500
合計		11,500	13,450	1,950

（にかほ市資料　単位：人）

4-9　観光庁事業（タビカレ学園祭）への出展

●実施日程　平成 25 年 2 月 1 日（土）~2 日（日）

●参加人数（ブースへの訪問者数　約 700 名、地域の概要説明を行った人数　約 300 名）

日本の各地域で行われている事象の多くは当該地域よりも優位にみえたが、そのこと自体が、にかほ市にとって大きな刺激となり糧となった。時間距離の長さを補完するだけの魅力、企画の深度、提供するプログラムメニューと社会傾向性の重なる部分、イベントにおける演出方法など様々な部分が新鮮に映った。

そのような中で、時間の長短はあるものの、約 300 名の来場者に対し対面でにかほの紹介ができたことは大きな成果であった。にかほという地名を知らない人々が殆どであったが、言葉や画像、動画などの媒体を駆使して魅力を伝えることから生まれた来場者との対話は、殆どが、にかほの魅力を肯定するものであったことから、地域から参加したスタッフにとっては大きな自信に繋がったと思われる。

【旅行会社からのアプローチ】

2 日間で、旅行会社からの相談を受けた件数は 1 件であった。

相談期日：平成 25 年 2 月 1 日（土）

旅行会社：（株）びゅうトラベルサービス

代表取締役社長　内山尚志

市場・観光開発室長　波多腰　実

市場・観光開発室マネジャー　黒川　真

相談内容：7 月以降に実施する「大人の休日」モニターツアーに協力要請。

※募集人員 20 名（15,000 円～25,000 円の販売価格、添乗員同行。

4-10　ANA マルシェへの出展

●実施日程（羽田空港）平成 25 年 2 月 18 日（火）　14:00～19:00　約 100 名が購買

（汐留オフィス）　平成 25 年 2 月 19 日（水）　17:30～19:00　約 120 名が購買

左・中：ANA 羽田マルシェ　右：ANA 汐留マルシェ

タビカレ学園祭より約 3 週間後の平日に開催だったため、にかほ市観光課及び関係機関はかなり多忙な中での実施だった。連日盛況な中初日、2 日目ともに 10 万円以上の売上があり、販売単価が 500 円未満のなかでは地域、ANA 総研共々満足の行く内容であった。中でも製造元と秋田空港に限定販売される「あつみのかりんとう」や三浦米太郎商店の発酵食品「はたはた寿司」は人気があり、やや固めの細打ち麺が特徴の「象潟うどん」も試食を交え好評であった。この他にも、にかほ市には酒造「飛良泉」など評判のある品が揃っている。今回は、全品がほぼ完売に近い状況であったので、地域から参加したスタッフにとっても大変自信に繋がった。次回はさらに工夫を凝らし挑戦したいという声と、首都圏の住民に対する地域認知度と流通のしくみを考えたいとの声が多かった。

５．旅行商品化へ向けた取組み（ワークショップと勉強会の実施）

●実施日　ワークショップ　平成 25 年 7 月 19 日（金）10:00～12:00　13:00～14:00（観光協会内）

●参加者　観光協会スタッフ 5 名及び、にかほ市観光課 1 名

●実施日　勉強会　平成 25 年 8 月 8 日（木）13:00～15:00（観光協会内）

●参加者　観光協会スタッフ 5 名

当初の計画にはなかったが、旅行業人材の育成を目的に、にかほ市観光協会のスタッフに対し、目利きを担当する ANA 総研・衣幡氏によるワークショップと勉強会を各 1 回実施した。

既述のとおり、観光協会は平成 25 年 4 月に第 3 種旅行業を取得したものの、鳥海山へのトレッキング客を対

象とした地域内発着のハイヤープラン商品の取り扱い以外は、地元祭事への参加に活動が限定されており、都市部と地域とを結ぶ旅行商品の開拓分野においては未知であった。
そのため、都市部から地域への誘客が必要な理由や地域における旅行会社の役割、地域資源の見つけ方やその方法を１回目はワークショップで、2回目は勉強会として行った。

【ワークショップ】
最初に、参加スタッフ各自が旅行者に薦めたいスポットをピックアップし、その特徴を紹介したが、市内の施設ばかりが目立つ傾向にあった。その中に１名、トレッキングに詳しいスタッフがおり、にかほ市をはじめ、東北の山々を旅していることがわかったため、そのスタッフから山についての知識を紹介してもらった。
その一方で、持参した複数のライフスタイル誌を参加者に見てもらい、傾向性を感じてもらった。
この2つの要素を組み合わせることにより、単なる施設ばかりをプランに組み込むのではなく、個人の趣味やライフスタイルを、にかほ市の地域資源と重ねるようなプランが求められていることを伝え、さらに興味を引くようなコンテンツをピックアップして、コンテンツについてディスカッションした。
また、地域資源は、日常の中で自分の足で探すこと、地域の人々からヒアリングし、ヒントとすること、スタッフ皆でワーキングすることの必要性を説いた。

【勉強会】
モニターツアーの行程を考える上で、以下に掲げるステップ①と②を説明し、すぐにはできなくても時間をかけて考え、行動することの必要性を説いた。

今回のワークショップと勉強会の実施により、モニターツアーへの即効性はないが、今後の旅行商品化については、にかほ市観光協会が実施する事業を柱としていかなければならない。何よりもまず、旅行商品を作る過程やその目的の共有化が求められる。そのためのプロセスとして以下を引用する。

【ステップ①　観光行動を意思決定する心理的動機】

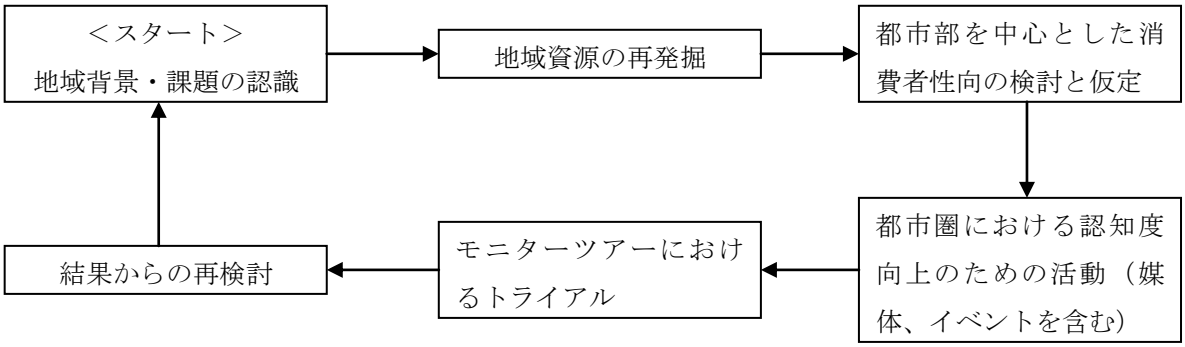
１．心情的動機・・・「思郷心」「交遊心」「信仰心」
２．精神的動機・・・「知識欲求」「見聞欲求」「歓楽欲求」
３．身体的動機・・・「治療欲求」「保養欲求」「運動欲求」
４．経済的動機・・・「買物目的」「商用目的」
⇒これら4つの動機から観光行動を想起させる3つの要素が「時間」「金銭」「情報」である。
（前田勇氏資料より）

【ステップ②　旅行商品を作るための必須項目とプロセス】

1．消費者（旅行者特性）
　ライフスタイル、社会・経済的特性、パーソナリティ（価値観、欲求）
2．旅行者のモチベーション
　旅行の一般的動機、旅行者の社会的役割、旅行経験
3．旅行の意思決定過程
　具体的な旅行に関する情報の収集と比較、目的地に関する知識・情報、目的地のイメージと認知的魅力、目的地や旅行手段の選択決定過程
4．旅行の実行行為
　目的地内での行動、往路・復路での行動、他の旅行者との関係、ホストや地域住民との関係
5．旅行後の評価と関連行動
　目的地・旅行手段に関する評価、全体的な満足・不満足、事後の派生的活動、事後のコミュニケーション活動
6．目的地・通過地への影響
　社会的影響、経済的影響、生態・環境的影響
7．旅行者行動の類型論
　消費者（旅行者）セグメンテーション、旅行行動の分類、目的地の類型
8．旅行商品の特性
　旅行商品の構成要素、商品コンセプト、サービス

（佐々木土師二著　旅行者行動の心理学より抜粋）

ステップ②と重なる部分があるが「観光のための地域づくり」ではなく、「地域づくりのための観光」を目指す場合、以下のサイクルを考えたい。

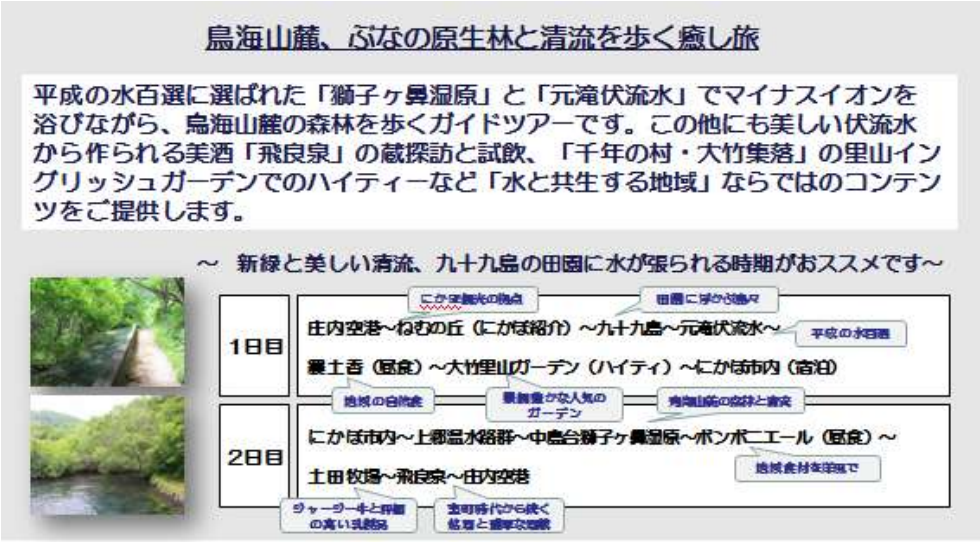


ステップ①において、にかほ市の地域資源と心理的動機の各項目が重なる部分を検討する必要があり、その上で、ステップ②のプロセスに沿って「想定」を行い、商品化をめざすことが必要である。今回の通称「タビカレッジ」からも連想されるように、「観光」とは本来、「光や輝きに相当するめずらしいもの」を求め、「学び取る、自己成長に繋げる」といった目的をもっている。「地域観光を通じた学びによる部分」によって、旅行者に何かがもたらされなければならない。特に、慰安型の団体旅行から個人型旅行に移行する過程の中では、本来の目的に立ち返ることも必要と思われる。
にかほ市観光協会については、募集型企画旅行を実施する旅行会社及び一般旅行者を対象とした企画行程サン

プルを作成し、その蓄積を目指すことを薦めたい。にかほ市の地域資源と都市圏の旅行者意識が重なる提案ができるようにするため、地域で活動する様々な人々へのヒアリングや写真の収集を行い、企画や媒体へのスキルアップをめざす一方、地域が必要とする着地型観光に対する背景や旅行業としての実務を理解する。
以下は、タビカレ学園祭で対旅行業者向けに作成したサンプルコースである。このようなコースを多く蓄積し、関東圏及び南東北圏の旅行会社に提案できる「にかほ旅の提案集（仮題）」の作成をめざす。
旅の提案集の作成をめざしつつ、対象となる旅行会社との関係構築も求める。大手中小を問わず、個性的なコアツーリズムの旅行づくりを実施する 2 種以上の免許をもつ旅行会社を対象に、にかほ市観光課やその他観光から派生する機関がもつコネクションを利用しながら、マネジメントとマーケティングを実施する。

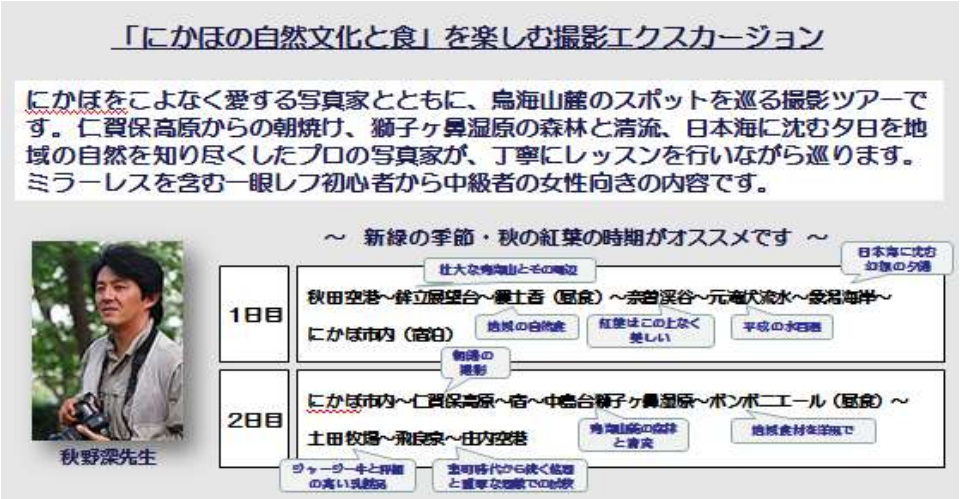
● 鳥海山麓、ぶなの原生林と清流を歩く癒し旅

国土交通省「水のめぐみとふれあう水の里の旅」で 2013 年に奨励賞を受賞したプランをもとに、観光協会がアレンジしたもの。



● 「にかほの自然文化と食」を楽しむ撮影エクスカージョン

鳥海山をこよなく愛する写真家から一眼レフの使い方を学びながら、にかほの自然を楽しむ写真女子を対象としたプラン。



左：羽田マルシェ
右：タビカレ学園祭
次年度の商品化を目指し、秋野先生撮影の「にかほ」の景観をリアルな写真から訴求。

● 「庄内・にかほ・秋田」旬を味わう日本海・美食街道

周辺地域の魅力を組み込むことで、にかほの地域性の訴求をめざしたもの。日本人の旅行はショートトリップが多く、第一印象を良いものにする工夫が求められるため、各地域での良いものだけを 3 日間に盛り込んだプランとした。一般観光的な要素が強い。

都市部の旅行会社との連携も同様に構築を行う。具体的なコンテンツは、連携の延長上で相互検討を行うが、この場合、にかほ市観光協会がユニット等で仲介するかどうかは定めない。場合によっては全ての企画、造成、手配、催行を主催する一つの旅行会社が完結する場合も想定される。その時点の状況に併せて対応を図ることとしたい。この活動については 2014 年 1 月よりスタートしており、次年度の商品化に向けた調整を継続する。

6．次年度以降の課題とその対応

観光が活性化されている地域は、行政と観光協会、物産協会等の機能分化が十分に図られている一方で、いずれかの機能が弱い場合でも相互補完のバランスが働いていることがわかる。本来観光協会はソフト事業を担当し、多くの提案を行政に上げ、その結果ハードを担当する行政と連携する流れが理想である。
旅行業免許をもたない観光協会であれば、ゆるやかな地域活動を行い、誘客結果に対する責任はある程度で許されるであろうが、免許を持った以上その機能に求められる責任は大きくなる。未だ全国各地でも成立していない着地型観光の活動と共に売上が求められる点では、一般の旅行会社以上のものが求められる。

地域観光への取組みが未成熟であり、地域認知度も低いなかでは相応の努力が必要である。地域内での相互補完関係、連携機能が働かなければ到底誘客には結びつかない。

6-1　顕在化された課題

都市圏旅行者の消費性向、関心傾向を前提とした地域資源の見直しや都市と地域との意識共有の他、地域社会や経済、環境を背景にした地域課題の理解、近隣地域、都市圏とのネットワーク構築と差別化、認知度向上のための媒体研究やイベントの実施、さらにはモニターツアーによる現状の力を知るためのトライアルなど様々な取組み求められる中、何よりもまず、にかほ市で行われなければならないことは、にかほ市観光協会が着地型旅行会社としての育成である。

いきなり旅行商品を企画するというよりはむしろ地域背景を知り、地域が旅行業を必要としていることを認識し各個人が責任感を有することが必要である。そのためには行政の協力も必要であり、地域観光に携わるスタッフの質的向上のためのワークショップや勉強会などの場を恒常的に作るべきと思われる。

殆どの観光協会スタッフの雇用形態が緊急雇用となっていることがしばしば指摘されるが、緊急雇用でも成果を上げている地域はある。藤枝市と藤枝市観光協会の連携活動例等など参考となる事例も存在する。

一方、行政としての観光活動も途上にある。どのような人をにかほ市に呼びたいか、その手段はどのようなことが想定されるかなどについて、地域団体や地域住民等と意見を出し合う場が求められる。地域観光は地域から発信するもの、短絡的に旅行会社に依頼すれば完了するといったものではないことは、今回タビカレ事業に参加していた団体の各活動からも見ることができる。

6-2　にかほ市における地域観光への取組みについて

本年度は「九十九島」をテーマに考え、ターゲットを女性、シニア、小さな子供をもつ夫婦としたが、今後は「女性」を中心にテーマに据えることとしたい。シニアについても、ライフスタイルを牽引するのは夫ではなく、妻が中心であり、子育てや食の安心・安全を意識するのも女性の意識が先行している。都市圏で変わり始めた女性意識を誘客に生かすことについては後述するが、女性の関心から、にかほ市の地域資源を見た場合、獅子ヶ鼻湿原や元滝伏流水といった森林と水辺から伺える清涼感は、女性の感性を刺激する可能性がある。現に昨年度販売された女性誌 CREA の「癒しの森旅」特集をはじめ、森林や水辺をテーマにした旅番組などでも紹介された。ミラーレス一眼レフカメラをもつ女性が増えている点と、鳥海山の自然を求める姿は重なるものがあり、写真をテーマにしたスクーリングもトライアルできる。従来から和食一辺倒だった地域の食材提供にも、洗練性を売りにするお洒落な居酒屋や旬の魚や肉をカジュアルなフレンチで提供するレストランが現れ、都会の女性層に注目され始めている。

健康をテーマにすれば、森林浴の他に「発酵文化」を訴求できる食材が揃っている。伝統のはたはた寿司については、秋田を代表する店として紹介される商店や、作家内舘牧子が紹介した牧場で作られる個性的なチーズの他、500 年以上続くにかほ市屈指の酒造も存在する。この他にも無名ながら地域に伝わる漬物など多くの発酵食材があり、鳥海山の伏流水と共に地域の魅力を作り出している。健康は森の中を歩くだけでも、地域観光に繋げることができる。森林セラピーの申請こそしていないが、獅子ヶ鼻湿原に広がるブナの原生林は、戦後の植林さえなければ白神山地に匹敵する植生をもっているという。

「何もない」と諦めかけていた地域でも、これほどまでの魅力を秘めているのである。

その一方で、女性を対象にした場合の課題も多く見られる。日本を旅する上で最も重きを置かれるのが自然・景観である中で、自然の恵みを多く感じられるにかほ市であるが、街中を歩くと広告看板あり、雑草ありと旅を無機質に感じられる場所が目を引く。特に、歴史文化の象徴となる蚶満寺をめざす場合の象潟駅や、ねむの

丘からのアクセスルートは、街路樹もなく昔ながらの家並みもない。女性に地域への深い印象を感じてもらうためには、無頓着な地域の景観に手を加える必要がある。
女性意識を前提に、今後も様々な観光地域づくりが期待できる地域がにかほ市である。九十九島の価値を追求すると同時に、都市住民の消費者性向に対応した地域価値の訴求が求められる。

（左：CREA　癒しの森旅　「鳥海山　中島台の森」、右：BRUTAS　日本再発見の旅と本　「象潟の岩牡蠣」　）

6-2-1　地域認知度の向上

地域認知度の向上には、感性に届く訴求力をもった媒体と、それを告知する場所の 2 つが大きな要素となっている。facebook や twitter については様々に展開されているため、ここでは多くを述べないが、その一方でホームページや紙媒体の魅力はまだまだ訴求できる余地がある。
また、都市においても地域を紹介する場所や活動は未だ少ないが、最近では地域情報に対する感度の高い人々が増えているように思える。
媒体については、従来の指定業者任せから脱却する時期に来ている。写真、紙質、フォントなど地域を訴求できる魅力を媒体に乗せる取り組みは、地域内でも、或いは都市圏の人々と地域の人々との連携の中からも生まれることが多くなった。手作り感と意識の高さを媒体に込め、都市圏で活動する様々な場所へ届けるのである。事前にその場所もまた想定しておかなければならない。

6-2-2　サードプレイスの機能

都市部、地域内に限らず注目される機能に「サードプレイス」がある。サードプレイス（第 3 の場所）とは、職場や学校、家庭に次いで寛ぐことのできる場所をさし、多くはカフェ、本屋、ファーマーズマーケットといわれている。心の癒される場所を求めて人が集まる空間、そして交流が生まれやすい場所を意味する。
地域での機能としては、このサードプレイスが情報発信交流拠点となり、地域づくり活動を始め、地域内サービスの提供を受けられる場所として期待する声がある一方、都市部ではブックカフェやオーガニックマーケット等に人が集まる傾向にある。こうした場所は社会感度や地域感度の高い人が集まる傾向が伺え、1 枚のフライヤーであっても感度が高いため、受け手が関心をもって捉える可能性が高いのである。

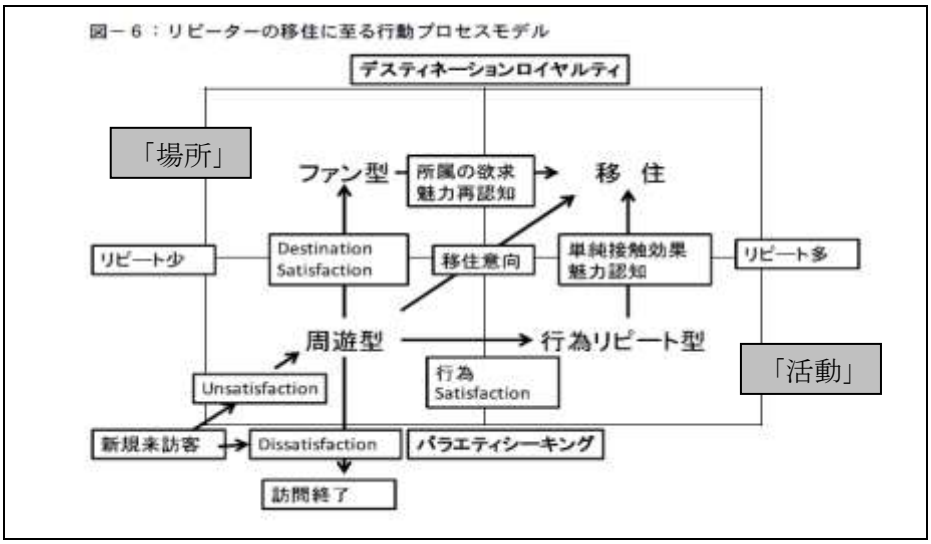
6-2-3　地域感度の高い女性層

女性を地域観光の対象にする場合、「リゾート性」が強いテーマにあったが、その場合でも著名な地域に限られていた。もともと地方への旅行は地方都市までが主流であり、その先にある地域を訪ねる場合、多くの交通費を掛けていく目的を見つけることは厳しかった。
しかしながら昨今の社会性の変化により、幅広い女性が地域を訪ねる目的が少しずつ見えてきている。ただ交通費の少ない近距離に限る傾向があるため、遠距離への旅には目的の複合化が求められている。

第一に上げられるのが「ゆるキャリ」とよばれる女性層である。管理職を求めないワークライフバランスを重視する女性が増え、週末は趣味や週末農業のため自分に合った地域を訪ねるという層である。一定収入があるため多少交通費を掛けることも可能であるが、「自分に合った」ものと地域資源を共有するための工夫が求められる。第二には「ステップアップ世代」である。現在の自分からステップアップを図るための準備期間に地域を訪ねることを目的とする。地域に定住する場合もありえるが、地域を特定するまでの期間や、年々増えている親元から地域を訪ねる場合等、通いで地域観光が発生する場合も生まれる。
第三には「郊外に住む主婦層」が大自然を求める場合である。もともと広い土地を求め郊外に住んだ主婦層が想像していたよりも広い土地に住めず、改めて自然豊かな場所を求める傾向である。この場合も定住目的が含まれるが、定住が決定するまでの間の旅行が発生しうるのである。
第四にあげられるものは、「おひとり様」である。少し前から浸透しているが、女性一人旅のシェアは少しずつ広がっている。年々未婚率は上昇しており、女性ひとりというライフスタイルはさらに広がることが予想される。
4 つのカテゴリーで地域感度が期待できる女性層を上げたが、最近では夫婦における男女の年齢差も縮小する傾向にあり、夫婦の中でも女性が意思決定する場合も多い。
この他にも、女性を想定すると地域産品やホスピタリティもイメージしやすいのではないだろうか。旅の土産は、その地域への旅を良否する大きな判断材料になり、旅先で親切にされたという印象は、他に特別な出来事がなかった場合でも、その旅自体が良かったものとして意識の中に残る。

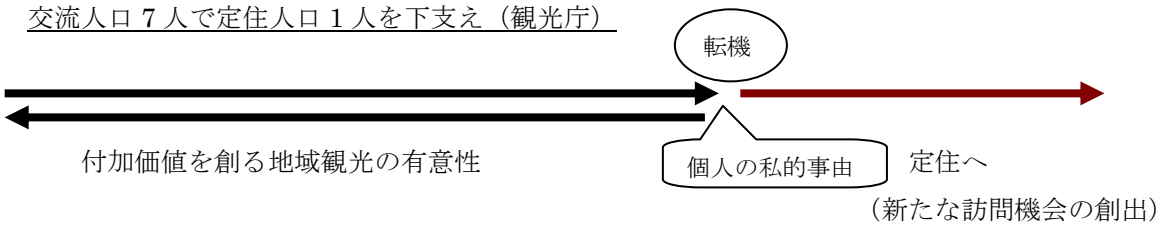
6-2-4　定住促進に繋げるための地域観光

「地域づくりのための観光」という概念のもとで、観光から定住への流れにも注目したい。地域観光を考える場合、地域愛着意識の醸成は「場所」と「活動」を入口に、その後の再訪活動によって育まれるというものである。小原満春氏によると「場所」への選好だけでは再訪意識が継続することが難しく、「活動」もしくは「場所」と「活動」が両立する選好が必要と説いている。



（小原満春氏資料より）

定住に至るかどうかは、ある転機においてその個人の理由によるところとなるが、その転機を迎えるまでの間の地域に対する意識が大きな判断材料になる。



○リピートによる地域愛着意識の醸成

※　旅レベルで留まるかもしれないが定住へ引き継がれる可能性もある。
　　しかし旅レベルでも地域にとっては力強いファンとなる。

○定住後も観光を促進する機会が生まれる

※　定住後はその個人を訪ねる第三者（友人・知人等）に対し、地域を訪問する
　　機会提供が生まれる。

７．おわりに

今回の事業は、にかほ市観光振興プロジェクトチームのもとで一連の活動を実施した。事業の核はモニターツアーの成功であり、80 名の集客はできたものの 5 つの商品のうち催行できたものは 3 つに留まった。
コンテンツであった「九十九島」の訴求をはじめ、脇役である魅力ある地域資源を都市住民に訴求するためのプロセスについてはいくつかの課題を残したが、地域では改めてその可能性を強くしている。
本報告書の中で次年度における方向性や方法を掲げているが、そのプロセスに加え、次年度は観光収入のための手段も含めなければならない。にかほ市の交流拠点としての機能が期待される「道の駅・ねむの丘」についても、ソフト機能の整備に着手することが既に発表されている。隣接する由利本荘市との誘客における連携も強化する方向である。
以下に掲げる項のステップアップをめざして、活動を進めることとしたい。

地域内事業	地域外事業
１．にかほ市観光プロジェクトチームの機能見直し ２．観光課と観光協会の役割分担 ３．旅行業務からみた観光協会の人材育成 ４．地域内連携を作るためのワークショップの定例化 ５．都市圏消費性向（マーケティング）の理解を促進する（ワークショップへ取入れる） ６．継続的な地域資源の再発掘活動 ７．旅行企画提案集の作成 ８．訴求性のある媒体製作 ９．食農観グループとの深度あるテーマ作りと観光収入基盤づくり	１．首都圏、京阪神、秋田、庄内における旅行会社の選定と関係構築 ２．地域外での認知度向上（ワークショップやマルシェ） ３．Fecebook を使った継続的な情報発信 ４．大学生連携チームとの地域観光の促進 ５．都市住民を対象としたモニターツアーの実施

以上